

卒業まで保管

2020

履修のガイド

—2020年度入学生（1年生）対象—



北海道情報大学

2020年度 学年暦

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
				STP	入学式	STP
5	6	7	8	9	10	11
	STP	STP	STP	①	②	③
12	13	14	15	16	17	18
	①	①	①	②	②	月②
19	20	21	22	23	24	25
	③	②	②	③	③	
26	27	28	29	30		
	④	③	③	④		

3日 入学式

2日～8日 前期STP

9日 前期 授業開始
18日 月曜授業日

29日 通常授業日

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					④	
3	4	5	6	7	8	9
創立記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日	火④	⑤	水④
10	11	12	13	14	15	16
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	
17	18	19	20	21	22	23
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑦	
24	25	26	27	28	29	30
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑧	
31						

7日 火曜授業日

9日 水曜授業日

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑨	
7	8	9	10	11	12	13
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑩	
14	15	16	17	18	19	20
	⑩	⑩	⑩	⑩	⑪	⑪
21	22	23	24	25	26	27
	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	
28	29	30				
	⑫	⑫				

4日 前期前半 授業終了

5日 前期後半 授業開始

10日 創立記念日

19日～20日 体育祭

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			⑫	⑫	⑬	
5	6	7	8	9	10	11
	⑬	⑬	⑬	⑬	⑭	
12	13	14	15	16	17	18
	⑭	⑭	⑭	⑭	⑭	
19	20	21	22	23	24	25
	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	
26	27	28	29	30	31	
	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	

23日 通常授業日

24日 通常授業日

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	合同試験	合同試験				
9	10	11	12	13	14	15
	山の日					
16	17	18	19	20	21	22
				夏集中	夏集中	夏集中
23	24	25	26	27	28	29
	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中
30	31					
	追再試験					

3日、4日 合同試験

5日～ 夏季休業期間

20日～29日 夏期集中授業期間

31日～ 前期追再試験期間

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		追再試験	追再試験	追再試験	追再試験	追再試験
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	秋分の日	STP	①	①	
27	28	29	30			
	①	①	①			

～5日 前期追再試験期間

～22日 夏季休業期間

23日 後期STP

24日 後期 授業開始

	月	火	水	木	金
授業回数	16	16	16	16	16
内休日 授業			1	1	1
内他 曜日	1	1	1		

：前期、後期前半授業期間

：合同試験日

：集中授業日

：前期、後期後半授業期間

：スタートアッププログラム

：追再試験日

○：他の曜日の授業実施日

◇：大学行事

※下記の日程は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で一部変更になっております。必ず別紙又は大学ホームページなどで新しい日程を確認してください。

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				②	②	
4	5	6	7	8	9	10
	②	②	②	月③	授業休業	学祭
11	12	13	14	15	16	17
	③	③	③	③	③	
18	19	20	21	22	23	24
	④	④	④	④	④	保護者
25	26	27	28	29	30	31
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	

8日 月曜授業日

9日 授業休業日

10日～11日 蒼天祭

12日 授業休業日

24日 保護者と教員の懇談会

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	⑥	文化の日	⑥	⑥	⑥	
8	9	10	11	12	13	14
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	
15	16	17	18	19	20	21
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	
22	23	24	25	26	27	28
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	
29	30					
	⑩					

24日 後期前半 授業終了

25日 後期後半 授業開始

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		⑩	⑩	⑩	⑩	
6	7	8	9	10	11	12
	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	
13	14	15	16	17	18	19
	⑫	⑫	⑫	⑫	⑫	
20	21	22	23	24	25	26
	⑬	⑬	⑬	⑬	⑬	
27	28	29	30	31		
	⑭					

29日～ 年末年始休業期間

1月(令和3 (2021) 年)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					元日	
3	4	5	6	7	8	9
	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	
10	11	12	13	14	15	16
	成人の日	⑯	⑯	⑯	⑯	センター
17	18	19	20	21	22	23
	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	
24	25	26	27	28	29	30
	⑱	⑱	月⑩	合同試験	合同試験	
31						

～4日 年末年始休業期間

5日 授業開始

16・17日 センター入試 登校禁止

27日 月曜授業日

28日、29日 合同試験日

30日～ 春季休業期間

2月(令和3 (2021) 年)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		一般1期	一般1期			
7	8	9	10	11	12	13
	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中
14	15	16	17	18	19	20
	追再試験	追再試験	追再試験	追再試験	追再試験	追再試験
21	22	23	24	25	26	27
		天皇誕生日				
28						

8日～13日 冬期集中授業期間

15日～20日 後期追再試験期間

3月(令和3 (2021) 年)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
			学位記			春分の日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

18日 学位記授与式

	月	火	水	木	金
授業回数	16	16	16	16	16
内休日 授業					
内他 曜日	2				

建学の理念

北海道情報大学は、平成元年に我が国の情報化社会の黎明期に情報教育の新しい扉を拓いた、学園創立者松尾三郎博士によって、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念として開学した大学です。

本学の使命・目標

IT社会の到来を告げる国際情報化の幕開けに先駆け、「情報」を大学名に取り入れて開学した北海道情報大学は、「産学協同の精神の下、豊かな国際性、創造力ある人間性を涵養し、実学に裏付けられた実践的な専門教育を通して、我が国の国際情報通信社会の進展に貢献する高度情報通信技術者を育成する」ことを使命としています。

本学は、北海道開拓のシンボル・野幌原生林の豊かな自然につつまれたキャンパスを研究・教育の創造的なふれあいの場として、あるいは先端的な通信教育により全国に展開されている学びの場において、「情報」を核にその応用範囲を広げていく「情報の総合大学」としてIT社会の発展に寄与するために、以下のような機能を果たすことを目標としています。

- 情報を核とする高度な専門職業人養成機能
- 国際性と豊かな人間性を育む教養教育機能
- 情報に関わる通信教育の拠点機能
- 地域貢献・産学連携機能

教育目的

21世紀において、われわれを取り巻くすべての社会構造は今やIT抜きでは成り立ちません。このような状況に鑑み、本学の教育では、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度IT技術者を育成することを目標に掲げています。また、国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間力に優れた人材を育成することを目指しています。

- 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成する自己啓発教育
- IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身につける実践教育
- 国際感覚やモラルなど豊かな人間性を養う人格教育
- コミュニケーションとプレゼンテーション能力を涵養する自己表現啓発教育
- 自ら問題を見つけ出し、その解決のために自身で工夫できる問題発見・解決能力育成教育
- 知識のみではなく生きるための知恵を啓発する全人教育

本学の特色

- 現代社会の全てのコア技術であるITを基盤とした各種専門分野のカバー
- 最先端の研究と教育を可能にする産・学・研トライアングル
- e-Learningや遠隔授業を含む最新の通信教育システム
- 全国の情報専門学校との提携による情報教育ネットワーク
- 公開講座活動や施設開放による地域に開かれた大学

北海道情報大学における卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

主体性を持った高度ITプロフェッショナルの育成を目標として、以下のコンピテンシー（知識・スキル・心構え）を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に対して学位を授与します

- ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
- ② IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
- ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性
- ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力
- ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
- ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵

目 次

履修について	1
1. 単位制度	1
(1) 履修とは	1
(2) 単位について	1
(3) 単位の認定	1
(4) 修得済科目の単位認定について	1
2. 授 業	2
(1) 授業期間・授業時間	2
(2) 科目担当教員	2
(3) 出席数	2
(4) 公認欠席・特別欠席	3
(5) 休講及び振替授業	4
(6) 補 講	4
(7) 集中授業	4
(8) 授業時間割表	4
(9) クラス分け	4
(10) 授業評価アンケート	4
3. カリキュラム	5
(1) カリキュラムとは	5
(2) カリキュラム改正について	5
4. 履修登録	6
(1) 登録上の留意事項	6
(2) 履修登録の時期と流れ（変更になる場合があります。掲示等により別途指示します。）	6
(3) 科目の区分	7
(4) 履修できる科目・できない科目	7
(5) 履修登録の確認	7
(6) 履修単位数の上限値について	8
(7) 修得単位数の目標	9
5. 試験および成績	10
(1) 試験の種類	10
(2) 受験資格	11
(3) 試験に関する注意	11
(4) レポート等の提出	11
(5) 成績評価	12

6. 卒 業	13
7. 教職課程	13
8. その他の留意事項	14
(1) 修業年限・在学年限	14
(2) 学生への連絡と掲示	14
(3) 卒業見込証明書の発行	14
(4) 教務課窓口取り扱い時間	14
教 育 課 程	15
1. 学部・学科の概要と履修モデル	17
カリキュラム編成の考え方について	17
経営情報学部	17
医療情報学部	18
情報メディア学部	19
共通教育の概要	20
先端経営学科	30
システム情報学科	39
医療情報学科	55
情報メディア学科	70
2. 卒業に必要な履修科目と修得単位	97
3. 授業科目一覧表	100
教職課程履修要項	115

単 位 制 度
授
業
カリ キュ ラム
履 修 登 録
成 試 験 お よ び
卒
業
教 職 課 程
留 意 の 事 他 項 の
履 修 モ デ ル
習 得 単 位
卒 業 に 必 要 な
一 授 業 科 目 表 目
一 年 次 配 当 科 目 表 目

履修について

1. 単位制度

(1) 履修とは

ガイダンスが終了すると、授業が始まり、決められた科目を履修しなければなりません。

履修とは、各学科に定めている学科目を習い修めることをいい、所属している学科の授業科目を受講し、必要単位を修得することによって卒業の要件を満たしていくことになります。

(2) 単位について

大学における教育課程は、「大学設置基準」に定められた単位制に基づいて行われます。

単位とは、一つの授業科目の学修に要する時間を表す基準であり、卒業要件を満たしていく上での最も基本的な事項です。

単位制とは、各年次に配当されている所定の科目の履修を一定以上積み上げることで卒業できる制度のことです。

授業科目の単位数は、1単位の授業科目につき標準として45時間の学修を必要とする内容で構成され、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮し、次のように計算されます。

	単位	授業時間
講義	1	15時間
演習	1	15時間または30時間
講義及び演習	1	15時間または30時間
実験、実習及び体育実技	1	30時間

(3) 単位の認定

履修した科目の単位認定は、原則として前期末・後期末に行う科目試験に合格したときに行われます。試験方法は、筆記試験、レポート等ありますが、科目によっては平常の成績をもって試験成績にかえることもあります。

また、単位の認定に際し、出席日数が不足していたり、あるいは途中で受講を放棄したような場合は、当該科目の単位は認められません。

卒業論文、卒業研究の授業科目については、学修の成果を評価して、単位を授与することが適切と認められる場合には単位を認定します。

(4) 修得済科目の単位認定について

編入学、転学部、転学科した学生、また通信教育部から通学へ転籍した学生は、すでに修得済みの科目の単位を本学の規定に基づき認定します。（認定されない科目もあります。）この場合、単位認定を受けた科目の成績評価はすべて「認定」として成績表および単位修得・学業成績証明書に記載します。

2. 授 業

(1) 授業期間・授業時間

① 授業期間

本学の学期は、前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～翌年3月31日）の2期に分けられています。

② 授業数・授業時間

授業科目には、前期あるいは後期で終了する半期科目と1年間にわたる通年科目とに分けられ、半期科目の場合15回＋科目試験、通年科目の場合30回＋科目試験となります。

授業1回あたりの授業時間（1講時）は90分で行い、これは通常2時間として換算されます。

なお、授業は原則として1日6講時で構成され、各講時の区分は次のとおりです。

	1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時	6 講時
開始時刻	9 : 00	10 : 40	12 : 55	14 : 35	16 : 15	17 : 55
終了時刻	10 : 30	12 : 10	14 : 25	16 : 05	17 : 45	19 : 25

③ 休業日

- ・日曜日
- ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ・春期休業
- ・夏期休業
- ・冬期休業
- ・臨時の休業日および休業日変更は、そのつどこれを定めて掲示します。

※土曜日は休業日ではありません（窓口業務は行っていません）。

特別な科目の集中講義や他の曜日の授業（月曜日授業実施日など）、休講となった授業の振替授業、補講などを実施します。

(2) 科目担当教員

科目担当教員には常勤教員と非常勤教員がいます。非常勤教員は、本学専属の教員ではありませんが、原則として担当科目がある日の時限は大学にいます。

科目担当教員に用事がある時は、以下の方法で問い合わせてください。

常勤教員 研究室に直接行ってください。オフィスアワー（学生からの疑問、質問、相談等を受けるために設定している時間）は、原則として研究室にいます。

非常勤教員 担当科目がある日時の前後に非常勤講師室（本部棟2階）や教室へ行って問い合わせしてください。基本的にそれ以外の方法での問い合わせには対応していませんので、早めに対応するよう心がけてください。

(3) 出席数

原則として科目試験を受験するためには、講義については授業実施時間総数の3分の2以上の出席、実験実習、実技および演習については授業実施時間総数の5分の4以上の出席が必要となります。

遅刻及び早退は、両方又はいずれかの合計2回で1回の欠席となります。

出欠管理については、学生証・ICカードにより自動化して行っています。操作法等については、掲示でお知らせします。

(4) 公認欠席・特別欠席

公認欠席

- ① サークル等の部活動において、全道大会またはこれに準ずる行事等に本学を代表して参加する場合。ただし各教科年2回までとし、顧問の承認印を要する。
- ② 本学が組織するセンターの活動の一環として、本学を代表して行事に参加する場合。各センター長の承認印を要する。
- ③ 就職活動。学生サポートセンターの承認印を要する。
- ④ 教育実習期間・介護体験期間および、教育実習校・介護等施設への訪問の場合。なお、必要な移動日も含む。教務課の承認印を要する。
- ⑤ 学外で行う授業への出席の場合。または、授業・Jゼミの一環として、学外で行われる学会・コンテスト・大会などの行事に参加する場合。ただし各教科年2回までとし、当該科目の担当教員の承認印を要する。
- ⑥ ①から⑤にかかわらず、各学部教務委員会が事前に承認した行事等に参加する場合。教務課の承認印を要する。

●公認欠席届の受付および科目担当教員への提出期間について

○課外活動、学外授業、教育実習など

教務課への提出	欠席日の3日前まで
科目担当教員への提出	欠席日当日まで※

○就職活動

教務課への提出	欠席日から1週間以内※
科目担当教員への提出	欠席日から2週間以内※

※原則として定めます。

※公認欠席届の再発行はできませんので取扱いには十分注意してください。

特別欠席

・忌引き

父母、兄弟等の親族（2親等以内）に不幸があつて授業を欠席する場合には、特別欠席として扱うことができます。

取扱い日数	1 親等・・・7日以内
	2 親等・・・3日以内

・感染症に伴う出席停止

所定の感染症に罹患した学生が医師の指示で一定期間出席停止となった場合は、指示を受けた期間中の連続7日間（土日祝日含む）まで、特別欠席の対象としますので、教務課にて所定の手続きを行ってください。

※対象となる感染症の種類については、保健センターまたは教務課にお問い合わせください。

●特別欠席届の受付および科目担当教員への提出期間について

教務課への提出	事由発生後すみやかに
科目担当教員への提出	当該授業科目の開講期間内 ※

※原則として定めます。

※特別欠席届の再発行はできませんので取扱いには十分注意してください。

(5) 休講及び振替授業

授業科目の担当教員がやむを得ない事由により、授業を休むことがあります。このようなときは、事前に休講通知を掲示します。（大学公式ホームページと携帯電話から休講情報の検索も出来ます。）また、急に休講となったときは、掲示するとともに授業の教室へも通知します。

なお、休講通知の掲示がなく、担当教員が授業開始時刻から30分経過しても教室に来ないときは、休講となりますが、必ず教務課で授業の有無を確認してください。

授業が休講となった場合は、振替授業を行います。振替授業は、履修者が他の授業と重ならない時間帯に実施し、通常の授業時間帯で実施できない場合は、6講時や土曜日の午前中などに実施します。

(6) 補 講

授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合は、担当教員の判断でこれを補うための補講を行います。補講は履修者が他の授業と重ならない時間帯に実施し、通常の授業時間帯で実施できない場合は、6講時や土曜日の午前中などに実施します。掲示には十分注意してください。

(7) 集中授業

授業科目の中には、あらかじめ定められた期間（夏期・冬期休業期間等）に連続して授業を行う科目がいくつかあります。これらの科目は事前に実施予定を掲示等で周知します。

(8) 授業時間割表

授業を受けるためには、その科目が開講されている学科、学年、曜日、講時、教室および担当教員等を知らなければなりません。そのため年度始めごとに授業時間割表を配布します。この授業時間割表からそれぞれの履修計画にそって、履修登録を行うことになります。

(9) クラス分け

授業時間割表には、同一の科目で複数の授業を開講している科目があります。このような科目は、クラス別に編成している場合がありますので、授業時間割表に従って必ず指定されたクラスの曜日、講時で受講してください。

(10) 授業評価アンケート

授業をより良くするために「授業評価アンケート」を実施し、結果を公開しています。授業内容の向上につなげるため、率直な意見を記載してください。

3. カリキュラム

(1) カリキュラムとは

カリキュラムとは、教育目標の達成のために、編成された教育内容の計画のことです。

カリキュラムは入学年次のものが卒業まで適用されるため、時間割には学年に応じて複数のカリキュラムが存在します。

1 年次入学年度に対するカリキュラムは次のカリキュラムが適用されます。

入 学 年 度	カリキュラム
2020年度～	カリキュラム ('20)

(2) カリキュラム改正について

カリキュラム改正が行われると、科目の配当年次に応じて、新カリキュラムへ切り替わります。所属する学年より下の配当年次の科目を履修する場合は、切り替わった新カリキュラムの科目を履修する事になります。新旧の対比は、カリキュラム改正が行われると配付する「科目読み替え対比表」で確認できます。また、履修には次のとおり注意が必要になります。

① 読み替えについて

カリキュラム改正により、切り替わった新カリキュラムの科目を履修する場合、科目の読み替えが行われます。単位修得した新カリキュラムの科目を入学年度に応じたカリキュラムへ読み替えて成績が付与されます。

② 科目の廃止について

カリキュラム改正により廃止になる科目があります。

これらの科目は、新カリキュラムへ切り替わると履修できなくなります。

- ・読み替え対応する科目なし
- ・単位数減少により読み替え不可
- ・科目結合の片方の科目を修得済み

4. 履修登録

履修登録とは、授業を受けて単位を修得するために、年度の始めにその年度に履修しようとする授業科目を決められた期間にあらかじめ登録する手続きのことです。年度の始めに行われるガイダンスおよび履修説明会には必ず出席し、それぞれの説明をよく聞いて、履修登録を行ってください。

(1) 登録上の留意事項

- ・当該年度に履修する科目は、すべて年度始めに登録してください。
ただし、集中授業については、掲示等により別途指示します。
- ・指定された期日までに履修登録を行わなかった場合は、当該年度の履修をすべて放棄したものとみなし、単位は認定されません。
- ・間違った履修登録をした場合には、当該科目について、授業を受けることも、試験を受けることもできないため、単位は認定されません。

(2) 履修登録の時期と流れ（変更になる場合があります。掲示等により別途指示します。）

前期

- ① **履修登録仮登録（1回目）（教務情報Webシステムからの登録）※当該年度履修科目をすべて登録**

前期スタートアップ期間（4月）

履修登録（1回目）
履修登録（1回目）結果確認期間、エラー呼び出し
履修登録（1回目）終了

- ② **履修変更登録仮登録（2回目）（教務情報Webシステムからの登録）**

各曜日の授業1回目以降 3日間

履修変更登録（2回目）
履修変更登録（2回目）結果確認期間、エラー呼び出し
履修変更登録（2回目）終了

- ③ **履修取消削除（教務情報Webシステムからの登録）**

各曜日の授業4回目以降 3日間

履修取消
履修取消結果確認期間、エラー呼び出し
履修取消終了

後期

- ① **後期科目履修変更登録仮登録（1回目）（教務情報Webシステムからの登録）**

後期スタートアップ期間（9月）

後期科目履修変更登録（1回目）
後期科目履修変更登録（1回目）結果確認期間、エラー呼び出し
後期科目履修変更登録（1回目）終了

- ② **後期科目履修登録取消（教務情報Webシステムからの登録）**

後期の各曜日の授業4回目以降 3日間

後期履修取消
後期履修取消結果確認期間、エラー呼び出し
後期履修取消終了

※前期後半科目、後期後半科目の取消期間も設けます。

※各々授業科目の試験期間前までに、履修中止申請期間があります。

(3) 科目の区分

科目には次の区分があります。

区分	内 容
必修科目	単位の修得が義務づけられている科目。卒業するためには必ず単位を修得しなければならない。
選択科目	各自の意思により修得する科目。単位修得の義務はないが、卒業要件に算入される科目。各学科の卒業要件等に十分注意すること。

(4) 履修できる科目・できない科目

① 配当年次

授業科目には、配当年次があります。したがって、決められた年次に履修しなければなりません。やむを得ずその年次に履修することができなかった場合は、自分の年次より下の年次で開講している科目に限り履修することができます。(自分の年次より上の年次で開講している科目は履修することはできません。)

② 再履修

不合格となった科目は、次年度以降に再び履修（再履修）することができます。
(一部後期に再履修できる科目があります。)

科目によっては、再履修者のためのクラスを設けていることがあります。この場合は、そのクラスで履修しなければなりません。

③ 履修制限

科目によっては、施設・設備等の関係により履修者を制限することがあります。履修登録時には、必ず講義概要（シラバス）やその科目の担当教員、または教務課の指示に従ってください。

また、教職課程関連科目（教職に関する科目、教科に関する科目の一部）については、教職課程受講登録者に限り履修できる科目となっています。したがって、教職課程受講登録者ではない学生が誤ってその科目を履修登録した場合は、教務課でその科目について履修を強制的に削除します。

(5) 履修登録の確認

履修登録が行われた後、教務課では登録内容に誤りがないかチェックします。履修登録の確認については、後日掲示でお知らせします。この確認をしっかりと行わないと、異なる科目で登録されたり、不備等により科目を削除されその科目の履修ができないなど、1年間の履修計画が崩れ、卒業ができないなどの重大な問題になることがあります。

なお、履修登録の内容が登録したものと違う場合、履修する科目を変更する場合、履修登録に不備があった場合には、修正期間を設けますので掲示により日時等を確認して修正を行ってください。また、履修取り消しの期間も設けます。

履修登録の不備となる内容には、次の事項があります。

- ・ 同一時限の二重登録
- ・ 同一科目の二重登録
- ・ 通年科目の半期のみの登録
- ・ 履修対象科目以外の登録
- ・ 対象カリキュラム以外の登録
- ・ 自分の年次より上の年次で開講している科目の登録
- ・ 既修得科目の登録

※ 集中授業科目については、別途、履修登録期間を設けますので、授業時間割表および掲示で確認してく

ださい。集中授業科目の履修登録は、修正期間を設けませんので、登録の際は十分注意してください。

(6) 履修単位数の上限値について

1年間の履修登録については、無計画な履修による過重負担を避けるため、以下のとおり履修単位数の制限を行います。

【2019年度入学生～】

前年度 累積GPA	1年	2年	3年	4年	計
3.5以上		48	48	48	188
2.6以上	44	46	46	46	182
2.6未満		44	44	44	176

〈上限に含めない科目〉

【2019年度入学生～】

・全学科
「教職課程における科目等卒業案件外科目」、「健康とスポーツ」、「夏期・冬期集中授業で設定される科目」、「本学と協定を結んだ他の大学等で履修する科目」、「本学通信教育課程で履修する科目」
・医療情報学科 診療情報管理専攻は、更に以下の科目を除く
「病理学」、「病院管理論」、「臨床医学Ⅰ」、「診療情報管理学Ⅰ」、「臨床医学Ⅱ」、「診療情報管理学Ⅱ」、「医療統計学」、「臨床医学Ⅲ」、「臨床医学Ⅳ」、「病院実習」、「医療安全管理学」、「診療情報管理学Ⅲ」、「国際医療統計分類Ⅰ」、「国際医療統計分類Ⅱ」

(7) 修得単位数の目標

4年間で卒業する為に、以下のとおり単位修得を目標にしてください。

先端経営学科，システム情報学科
医療情報学科 診療情報管理専攻
情報メディア学科

学年	1年生	2年生	3年生	4年生
目標	40単位	40単位	40単位	卒業に必要な 残り単位数 + α

医療情報学科 臨床工学専攻

学年	1年生	2年生	3年生	4年生
目標	44*単位	44*単位	32単位	卒業に必要な 残り単位数 + α

※3年生の後期後半は臨床実習のみの科目履修しかできませんので、必ず目標単位数を修得してください。

修得単位が少ないと、次のとおり支障が出る場合があります。

- ・希望するゼミに入れない
- ・卒業論文，卒業研究の作成時間の確保ができなくなる。
- ・目標の資格の受験資格が得られない（例：臨床工学士）
- ・就職活動が制限される
- ・4年の4月に卒業見込み証明書が発行されない
- ・奨学金が停止される可能性がある
- ・4年間で卒業できない

注意してください。再試験をレポートで行う場合には、表紙に受験票のコピーを添付してください。

- ・再試験受験票がない場合は、原則として再試験を受験できません。
- ・再試験に合格した場合の成績評価は、すべて「可（60点）」です。

※ 再試験の追試験および再試験は行いません。

(2) 受験資格

次のいずれかに該当する者は、受験資格がありません。

- ・履修登録をしていない科目
- ・受験無資格となった科目
- ・学生証を所持していない者
- ・追試験および再試験で受験票の交付を受けていない試験科目

※ 学生証を紛失した場合は、学生サポートセンター事務室で学生証の再発行を申請してください。この発行には1日（土・日・祝を除く）かかりますので十分注意してください。

なお、学生証を忘れた者は、**年間2回**までに限り、学生証に代えることができる「仮受験票」の発行を教務課で受けることができます。仮受験票は、発行日のみ有効です。

(3) 試験に関する注意

- ・平常の授業において欠席の多い者には、試験の受験を認めないことがあります。
- ・受験にあたっては、監督者の指示に従わなければなりません。
- ・遅刻者の入室は、当該試験開始時刻後20分までとします。
- ・試験室からの退室は、当該試験開始時刻後30分からとします。ただし、科目によっては退室を認めないことがあります。
- ・試験開始時刻前に、特別に持ち込みを許可していないものは、かばん等に入れ椅子の下に置いてください。
- ・学生証は、受験票として扱いますので、監督者から指示される所定の位置に呈示してください。
- ・学生証を忘れたときは、教務課で仮受験票の交付を受けてください。ただし、仮受験票の交付は年間2回までです。
- ・答案は、たとえ白紙であっても、学籍番号および氏名等を明記し、必ず提出しなければなりません。
- ・答案に学科、学年、クラス、学籍番号、氏名の記入のないものは、受験が無効となることがあります。
- ・試験室では、必ず携帯電話、スマートウォッチ等の電源を切ってください。これらを時計として使用することはできません。
- ・試験中に不正行為を行った者は、ただちに受験停止のうえ当該科目の単位が不認定となり、学則により懲戒されます。
- ・再試験を受験するときは、学生証のほかに手続時に交付する受験票が必要となります。

(4) レポート等の提出

レポート等の提出による試験の場合は、指定された期間に指定されたところへ提出してください。**指定場所が教務課の場合は**、教務課前の該当するレポートボックスへ投函してください。**指定期間以外の提出は、一切受理しません。**

また、**期間内であっても窓口受付時間以外は受付できません**ので、十分注意してください。窓口取り扱い時間は、**午前9時から午後5時**までです。

(5) 成績評価

・履修科目の成績評価は、次表のとおりです。

評価	GP	点数	合否
秀	4	100～90	合格
優	3	89～80	
良	2	79～70	
可	1	69～60	
不可	0	59～0	不合格
未評価	対象外	———	その他
履修中止			

「未履修」

授業教員担当が、成績評価の前提を満たしていないと判断した場合の評価になります。

「履修中止」

学生が、定められた期間に所定の手続きに従い、直接教員へ申し出て受理された場合の評価になります。

手続き方法、期間は掲示等で確認してください。

履修中止となった科目は、履修上限に含まれますので注意してください。

成績評価指標のひとつとして、GPA（Grade Point Average）を導入しています。

GPAは、「秀」、「優」、「良」、「可」などの成績を、単位数の重みをかけて点数化したもので、一般的に学習指導、進級・卒業判定、奨学金選考、成績優秀表彰などに活用されているものです。

本学では当面、学習指導の基礎資料や成績表への記載などの限定した利用とします。（成績証明書には記載しません。）

計算方法は、次のとおりです。

【GPA 算出方法】

○成績を次の基準で点数化したものを科目の GP とする。

秀＝4、優＝3、良＝2、可＝1、不可＝0

○上記の科目のGPを使用し、GPAを算出する。卒業要件外の科目は算出しません。

学期別GPA（学期単位での算出）

$$GPA = \frac{(\text{科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{履修登録単位数の総和}}$$

年度別GPA（年度単位での算出）

$$GPA = \frac{(\text{科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{履修登録単位数の総和} - \text{再履修で合格した科目の年度内の不可の単位数}}$$

現在GPA

$$GPA = \frac{(\text{科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{履修登録単位数の総和} - \text{再履修で合格した科目のこれまでの不可の単位数}}$$

※成績訂正の時期により、現在GPAの算出に成績訂正が反映されない場合があります。

・履修科目の成績表は、次表のとおり各自に配布します。なお配布日時等は掲示でお知らせします。また、Webからも確認することができます。

前期終了科目	後期開講後（9月下旬～10月上旬）
通年科目・後期終了科目	翌年度4月上旬

※ 成績評価に疑問のある場合は、直接、科目担当教員に確認してください。

6. 卒業

本学を卒業するには、本学に**4年以上在学（休学期間は除く。）**し、所定の科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。卒業認定は4年次終了時に行い、卒業を認めた者には、学位記を授与し、**学士の称号**を与えます。

「卒業に必要な履修科目と修得単位数」（卒業要件）は、入学年度、学部・学科により異なります。

卒業に必要な履修科目と修得単位数（卒業要件）を確認してください。

7. 教職課程

教職課程は、教育職員免許法に基づいて、高等学校の教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得するための課程です。

教育職員免許状を取得したい学生は、教職課程履修ガイダンス（時期は掲示等により発表）に必ず出席してください。このガイダンスを欠席すると教職課程の登録および履修ができなくなりますので注意してください。

また、教育職員免許状を取得するには、卒業に必要な単位数のほかに教職課程の単位を修得しなければなりません。本学で取得できる免許状の種類および教科は次のとおりです。

学部	学科	免許状の種類	免許教科	
経営情報学部	先端経営学科	高等学校教諭一種免許状	商業	情報
	システム情報学科	中学校教諭一種免許状	数学※	
		高等学校教諭一種免許状	数学※	情報

※教科「数学」では、高等学校教諭一種免許状と中学校教諭一種免許状の同時取得が可能です。

8. その他の留意事項

(1) 修業年限・在学年限

大学に入学し、教育課程を終了するために必要な最小限の在学すべき年数が法律で定められています。これを修業年限といいます。

また、学生が大学の修業年限を超えて在学できる年数の限度を在学年限といいます。

なお、本学の**修業年限は4年**、**在学年限は休学期間を除いて8年**です。1度の休学期間は原則として1年以内で、通算して3年を超えることはできません。この休学期間を超えた場合や在学年限を超えた場合は、学則により除籍となります。

(2) 学生への連絡と掲示

大学から学生への通知や連絡は、**すべて掲示によって行います**。休講、補講、教室変更、学生呼び出し、緊急を要すること等が掲示されますので、掲示板を常に見て確かめる習慣をつけてください。

掲示板は、校舎棟1号館2階のホールにあり、掲示期間は原則1週間です。**掲示の見落としによって受ける本人の不利益等については、一切責任を負いませんので、十分注意してください。**

(3) 卒業見込証明書の発行

4学年に対する「卒業見込証明書」の発行時期について、**3学年終了時の単位数が一定の単位数を満たす者に対しては、4月より発行します。**

また、全対象者について、履修登録の結果当該年度内に、新たに**卒業に必要な履修科目と修得単位数を満たすと判定された時期（5月中旬）より発行します。**発行時期が確定しましたら掲示により発表します。

(4) 教務課窓口取り扱い時間

レポート、履修届等で教務課に提出するよう指示のあるものは、掲示により期限等を確認したうえで提出してください。

なお、**電話等による問い合わせ（行事予定、試験、休講等）や保護者、友人等からの学生の呼び出し依頼については、一切取り扱いできません。**必ず本人が掲示で確認するほか、窓口で直接問い合わせてください。

平日	午前9時～午後5時
次に記載する日は、窓口業務を行っていません。 また、臨時に休業日、取扱時間を定める場合があります。この場合は、掲示によりお知らせします。 ・土曜日 ・日曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日 ・本学創立記念日《6月10日》またはその振替日《学年暦により定めた日》 ・入学式《学年暦により定めた日》 ・夏期休業日《掲示により連絡》 ・年末年始休業日《掲示により連絡》 ・学位記授与式《学年暦により定めた日》	

教 育 課 程

1.学部・学科の概要と履修モデル

1.学部・学科の概要と履修モデル

カリキュラム編成の考え方について 経営情報学部

経営情報学とは、企業等の組織が抱える課題を把握・分析する上で必要な情報を的確に収集・処理し、如何に解決に結びつけるかを追究する比較的新しい学際的な分野です。北海道情報大学の経営情報学部は、1989年（平成元年）の本学創設以来、この学問分野について先駆的な研究・教育を推し進めてきました。

経営情報学部が目指すのは、幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えているとともに、情報処理の知識・技術を核として、専門領域（経営、システム）に関わる実践的な力を備えた人材です。専門の学問のみを学ぶことに甘んずることなく、人間として社会人として必要な素養を磨くために、4年間に渡って教養科目が用意されています。さらに、専門教科においては、現代の職業人として、単一の専門領域に止まらず、複合的に広く学ぶことが成功への道であるとの考えでカリキュラムが組まれています。

このような意味から、先端経営学科は、経営分野のみに偏らず、情報の知識技術を身につけた将来の経営管理者たる人材の育成を目標に掲げています。システム情報学科では、情報技術はもとより、経営の知識を備えた情報技術者の育成を目標に掲げています。

これらの目標を実現するために、経営情報学部のカリキュラムは以下の特徴を備えています。

- カリキュラムは、教養教育系科目と二分野の専門科目（経営学系科目、情報学系科目）によって編成しています。
- 学生の個性を生かすために、選択科目（あるいは必修選択科目）を多く配置しています。
- 専門科目では、経営学および情報学に関する科目の多くを、システム情報と先端経営両学科共通に履修可能な科目として配置しています。
- 4年間を通して、次のような少人数のゼミナール・プロジェクト形式の科目を配置し、コミュニケーション力を伸ばすこと、個性と能力に応じてスキルアップと研究活動に取り組むことを目指しています。

先端経営学科

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 1年生 | ビギナーズセミナーⅠ・Ⅱ（前期・後期）
自己発見ゼミナール（後期） |
| 2年生 | プロジェクトゼミナールⅠ・Ⅱ（前期・後期） |
| 3年生 | ゼミナールⅠ・Ⅱ（前期・後期）
プロジェクトトライアル（前期後半） |
| 4年生 | ゼミナールⅢ（前期）、卒業論文（後期） |

システム情報学科

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 1年生 | ビギナーズセミナーⅠ・Ⅱ（前期・後期） |
| 2年生 | 情報専門演習（後期） |
| 3年生 | ゼミナールⅠ・Ⅱ（前期・後期）
プロジェクトトライアル（前期後半） |
| 4年生 | ゼミナールⅢ（前期）、卒業論文（後期） |

科目が多いため、選択に迷うことがあると思いますので、皆さんが自分の履修科目を選ぶ指針として、各学科ともコースを用意しています。スタートアッププログラムなどのガイダンスには必ず出席して、後で悔むことのないようにしてください。

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要習
履
卒
修
業
に
必
要
な
単
位
と
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
置
当
科
表
目

医療情報学部

医療情報学部は、2013年（平成25年）より設置された、北海道情報大学の中で最も新しい学部です。学部構成は、医療情報学科単学科・2専攻・3コースで、医療情報に関わる多くの分野に対応できるとともに、社会のニーズにも応えられるように、幅広いカリキュラム構成となっています。

医療情報学部が目指すのは、幅広い教養、専門性の高い医学・医療情報の知識、実践的な高度情報処理や生命維持管理に関する技術を修得し、国際社会においても活躍できる人材を育成するために、専門的知識・技術の活用力、自律的な問題発見・解決力、人間性・倫理観、コミュニケーション能力、社会貢献を修得・涵養し、それらを総合的に活用できる人材を養成するためのカリキュラムが組まれています。

医療情報学科の具体的な構成として、医療事務、診療情報管理、医療情報技術、食を中心とした健康科学などを主体とする診療情報管理専攻と、臨床工学技士養成を主体とする臨床工学専攻の、2つの専攻が設けられます。診療情報管理専攻には診療情報管理コースと健康情報科学コースが用意されています。ただし、1～2年次にはコース別のクラス編成をとらず、一律、医療情報学科としての教育体制にて講義・実習・演習を行います。3年次の専門ゼミナール選択に際して各コースを選び、いずれかのコースに属することになります。臨床工学専攻には臨床工学技士コースが用意されています。診療情報管理専攻の学生は、全ての開講科目が選択対象となりますので、いずれのコースに所属しても、科目選択は自由です。したがって、学科で薦めている各種の資格受験については、必要な科目の単位を取得さえすればよく、在学中にコース間を越えた複数の資格を有することができます。臨床工学専攻の学生は、国家試験を意識した独自の教育カリキュラムおよび本学ならではの情報科目を履修することになります。以上から、医療情報学部のカリキュラムは以下の特徴を備えています。

- (a) カリキュラムは、共通・教養教育系科目（外国語、人文科学、社会科学、自然科学、保健体育等科目）と、専門科目（医学・医療科目、医療情報システム科目、情報科目、演習科目）によって編成されています。
- (b) 学生の個性を生かすために、選択科目（あるいは必修選択科目）を多く配置しています。
- (c) 専門科目では、医療と情報の両分野にわたり、必要最大限の科目を配置しています。
- (d) 少人数のゼミナール・プロジェクト形式の科目を配置し、コミュニケーション力を伸ばすこと、個性と能力に応じてスキルアップと研究活動に取り組むことを目指しています。

科目が多いため、選択に迷うことがあると思います。スタートアッププログラムなどのガイダンスやオリエンテーションには必ず出席し、説明を聞いて、的確なカリキュラム選択をしてください。

単位 制度 授
業 カリ キュ ラム
履 修 登 録
成 試 験 お よ び 績 び
卒
業 教 職 課 程
留 そ 意 の 事 他 項
履 修 モ デ ル
卒 履 修 得 単 位 と な
一 授 業 科 表 目
一 年 次 配 当 科 目 表 目

情報メディア学部

情報メディア学部情報メディア学科では、進展する情報化社会の中で必要不可欠な存在となっているICT（情報通信）基盤技術分野、この基盤の上で動作する多種多様なシステムの構築、およびインターネット上で社会が共有すべきデジタルコンテンツの創造と制作に関する分野の専門的な知識と技術を学習します。幅広い分野を体系的に学べるように、メディアデザインとメディアテクノロジーの二つの専攻を設置しています。

メディアデザイン専攻では、映像、動画像、画像、音声などで表現されたデジタルコンテンツを制作するのに必要な知識、手法、技術を習得します。

メディアテクノロジー専攻では、映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを体系的にコンピュータに格納し、それらを必要に応じて高速に検索・加工するための知識と技術、およびこのようなコンテンツをインターネット上で共有するために必要な技術を習得します。

上記の学習目標を実現するために、情報メディア学部のカリキュラムは下記の特徴を備えています。

- (a) 授業科目には、教養科目と専門科目があります。
- (b) 教養科目は、メディアデザインとメディアテクノロジー専攻に共通です。
- (c) 各専攻のカリキュラムは、それぞれの目標を達成するために必要な独自の科目体系で構成されています。さらに、将来就きたい職業あるいは学びたい専門領域に対応した履修モデルとして、メディアデザイン専攻、メディアテクノロジー専攻それぞれ5コースが設定されています。また、所属する専攻とは異なる専攻の科目も一部選択することができます。
- (d) 4年間を通して、少人数のゼミナール形式科目や講義を配置し、コミュニケーション力を伸ばすこと、個性と能力に応じたスキルアップと研究活動に取り組むことを目指しています。

選択科目が多いため、履修科目に迷うこともあると思います。オリエンテーションやガイダンスなどの説明会には必ず出席して説明を聞いてください。

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および

卒

業教職課程

留そ意の事他項の

学部教育課程履修モデル

習履卒履修得単目必要とな

一授業科目表

一年次配当科目表

共通教育の概要

1. 共通教育で学ぶこと

共通教育では、みなさんが教養を身につけるための教育を行います。それでは、教養とはなんでしょう。また、北海道情報大学の教養教育は、どのようなものでしょうか。先に結論をいえば、みなさんが生きていく中で直面する様々な困難な問題を解決していく力のことを教養といいます。それでは、少し長くなりますが、詳しく説明しましょう。

みなさんは、もう選挙権をもつ社会人です。大学に進学せずに、社会にでる道もありましたが、大学に進学しました。もっと色々な知識を獲得したかったから、社会人として有利な生活を送るために専門知識や技術を学びたかったから、資格を取りたかったから、あるいは、社会に出る前に、もっと自由に過ごす自分の時間をもちたかったから、などなど、理由は様々ですね。いずれにしても、せっかく大学に入ったのだから、少しステップアップして大学教育の意味を考えてみましょう。

みなさんは、卒業後、周りから「大学卒」という目でみられます。そして、「大学卒」のみなさんは、社会を担う役割が大きいと期待されます。古代から続く歴史の流れの延長に、未来という私たちが作り上げていく世界があります。その世界に私たちが望む大事なものは、平和、豊かさ、安全ではないでしょうか。しかし、これらは、それぞれが簡単に両立するものではありません。例えば、自分の国の安全だけを考えると、平和が保てなくなることがあります。平和を優先すると、自分の国の豊かさが保てなくなるかもしれません。また、自分の国だけの豊かさを考えると、平和や安全が保てなくなることがあります。もっと身近なことでは、家庭のことだけを考えると、仕事がうまくいかず、家庭の収入が減り家族関係がうまくいかななくなることがあるかもしれません。家庭も仕事もうまくいくことは一番いいのですが、実際には難しい場合もあるでしょう。このように、社会で生きて行くということは、相反する要求にどのように折り合いをつけるかという問題に答えを求めていくことの連続なのです。平和で豊かで安全な社会をつくる日々の営みは、家庭内の問題、職場での問題、そして社会や政治にかかわる問題に日常的に取り組んでいくことです。

みなさんは、大学で学んだという実績を持って、セミや蝶が脱皮して新しい生命を生きるように、やがて古い世代に代わって未来の世界をつくる営みに参画していくことになります。そして、そのための力を大学で養わなければなりません。それはすなわち、みなさんが将来、仕事で活躍するために必要となる基礎的な知識・技術、専門的な知識・技術はもちろんのこと、上で述べたような難問に対して、一つとは限らない答えの中から、一つの答えを自分で見つける力を身につけることなのです。

家庭内の問題、職場での問題、そして社会や政治にかかわる問題、これらは、ユルゲン・ハーバーマスというドイツの哲学者によると、それぞれ親密圏、私有圏、公共圏と呼ぶようです。これまで、みなさんが直面した問題は、おもに親密圏すなわち家庭内の問題ではなかったでしょうか。このような問題は、ある意味で簡単です。難しいと思うかもしれませんが、簡単です。かかわってくるのは、気心が知れた家族ですし、筋道立てて説得しなくても、深い信頼に裏付けられた感情のかかわりで解決することも多いと思います。しかし、難しいのは、社会に出ると、一人の人間が、家庭、職場、政治の3つの生活圏にかかわり、それぞれの問題についての解答が、両立しないとか、三つとも支障なく解決することができないとか、簡単にいかないのが普通です。しかも、職場（私有圏）や社会・政治（公共圏）の難問は、一人で答えを見つけ、それを実行に移すのが不可能なことが多いのです。つまり、みなさんは、ほかの人と話し合ったり、協力したり、説得したりする力をつけなければ、社会人として上手に生きて行くことができません。

結論を急ぎましょう。このような難問の答えを見つけるには、系統的に筋道立てて考える力や批判的・批評的に考える力、つまりクリティカルシンキングが必要です。また、ほかの人とかかわり、一緒に難問に取り組むためには、コミュニケーション力がとても大事になります。

みなさんがかかわる問題をさらに難しくしていることがあります。それは、情報です。現代は、人類の歴史上、類を見ないほど膨大な情報を個人が手に入れたり、発信したりできる時代になっています。みなさんがかかわる3つの生活圏のすべてに、膨大な情報が押し寄せてきます。皆さんが必要とする価値のある情報は、信頼できない情報を含む膨大な情報の中に埋もれています。その中から、価値のある情報を見出すのは、容易なことではありません。

もう一つ、これまでの歴史にはなかったことがあります。グローバル化の進行です。インターネットにより、現在は紙幣・貨幣という形態から高度に抽象化されたお金が瞬時に国境を超える時代になっていま

す。また、交通手段の発達により、国境を超える人の移動もかつてないほど容易になりました。世界規模で行われるネットショッピングにより、さまざまな商品が国境を越えて売買されます。現代は、ヒト、モノ、カネが容易に国境を超える知識基盤社会に突入しているのです。みなさんが生活する場でも、海外の人たちが、日常的に活動するようになっています。そのようなグローバル社会で生きるには、国際的な視野と感覚も大事になってきます。

2. 共通教育の目的と目標

氾濫する情報とグローバル化の波が押し寄せている3つの生活圏（親密圏、私有圏、公共圏）でさまざまな難問を解決していく力のことを**教養**と呼びます。北海道情報大学の教養教育は、「**情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材の育成**」を目的として、特色ある教養教育を行っています。みなさんが目指す人材像とそのために獲得してもらいたい能力（コンピテンシー）を表1にまとめました。コンピテンシーのA、Bは、クリティカルシンキングの養成、C、Dはコミュニケーション力の養成にかかわるものです。これらを目標とし、3つの生活圏の難問を解決する力を身につけてください（図1）。

表1 平成29年度 人材像とコンピテンシー

①人物像	
(a)	物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材
(b)	情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材
(c)	異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材
(d)	市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材
②コンピテンシー	
A	学問の方法と論理的思考力を身に付け、問題解決に生かすことができる。
B	得られた情報を批判的に分析し、自己の考えを構築・表現することができる。
C	人類の歴史や文化の多様性を認め、その担い手としての自覚をもつことができる。
D	様々な意見をもつ人々とのコミュニケーションの重要性を自覚し、社会生活への展望をもつことができる。

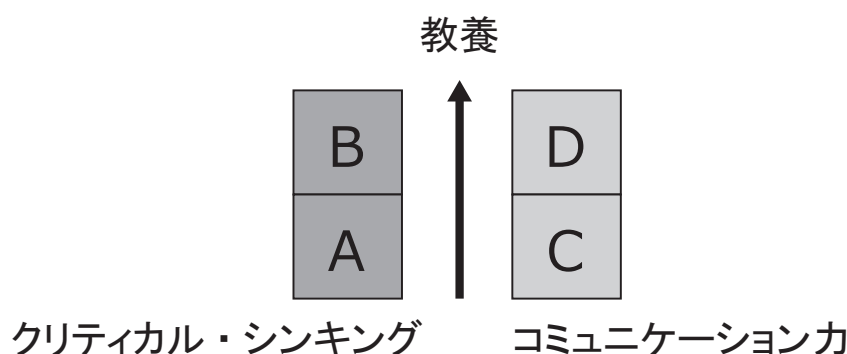


図1 コンピテンシーの構成

上に述べたように、教養教育の主要な目的の一つは、**価値ある情報を見極める能力を高める**ことです。

すなわち、各学科で行う専門科目が情報の知識・技術の修得に深く関連しているのに対して、北海道情報大学の教養教育では、情報の意味を考えることを学修の中心に据えています。そのための主要な科目群が、「情報とクリティカルシンキング」の3つの科目です。また、そのための基礎となる様々な知識や学問の方法を「人間」「自然」「社会」のいくつかの科目で学修します。

教養教育のもう一つの目的は、**国際的な視野と感覚**を身につけることです。英語をはじめとする語学教育はもとより、「国際コラボレーション」や「海外事情」などの国際交流科目により、海外へ出かけて実践的な場で国際的な視野と感覚を身につける機会を提供しています。

3. 共通教育で学ぶ科目

共通教育で学ぶ科目について、説明しましょう。科目の構成は、上に述べた教養を養成する**人間教育科目**と、大学での学修に必要な基礎を学修する**基礎教育科目**に分けられます（図2）。基礎教育科目は、教養教育だけでなく、専門教育の基礎となる学力を養成する科目です。それぞれの科目は、上に述べたコンピテンシーに関連付けられていて、1年生から3年生までかけて学修します。この関係は、図3.1～図3.3のカリキュラムマップと表2.1、表2.2の科目・コンピテンシー対応表にまとめられています。どんな科目があるかについては、カリキュラムマップや後のページに掲載した授業科目一覧表を見てください。

3-1 基礎教育科目

(1) 教養基礎

大学生として必要な日本語表現力・読解力、基礎的な英語力、数学力、調査・分析・まとめ・発表・討論の基礎などを学修します。これらは、高校の学修を大学の学修にスムーズにつなぐ初年次教育といわれるものです。

(2) 外国語

国際的な視野と感覚を養成するための基礎となる外国語（英語、中国語、ドイツ語）を学修します。

3-2 人間教育科目

(1) 情報とクリティカルシンキング

情報の意味を考える教養教育で中心となる科目です。「情報の世界」は、情報リテラシー、メディア・リテラシー、データ・リテラシーの3つの分野を学ぶことで、価値ある情報をどのように見極めるかを学修します。「情報倫理」は、あふれる情報が社会に及ぼす影響と、それによるトラブルへの対策を学修します。「ヘルスリテラシー入門」は、インターネットにより、身の回りにあふれるようになった健康や医療に関する情報の中から正しい情報を見極める方法について学びます。

(2) 人間・社会・自然

個としての人を理解するための「人間」、人が集まって生きるための仕組みを理解するための「社会」、そして、人が生きて行くうえでどうしても考えなければならない人を取り巻く自然について理解するための「自然」、これらについて学修する科目を用意しています。これらの科目を学修することで、価値ある情報を見極める能力を高める能力を高め、物事を幅広い視野からとらえる力と論理的に考える力を獲得する基礎を学修してください。

(3) 総合

主体的に行動するための基盤となる体力を育成します。また、国際交流科目により、異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材を育成します。さらに、キャリア教育により市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材を育成します。

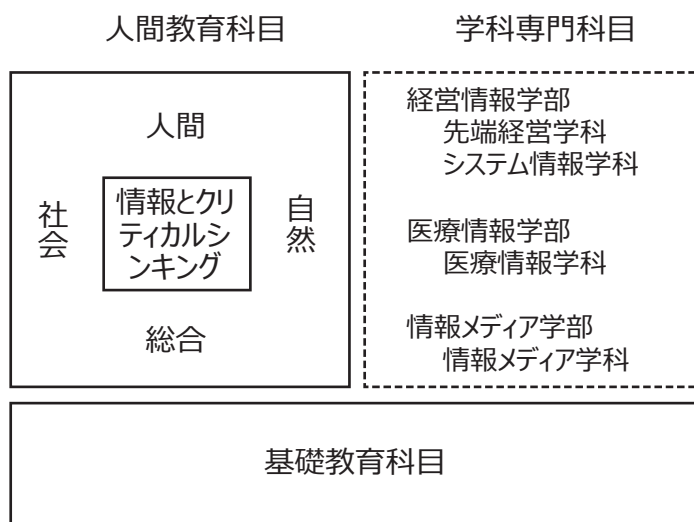


図2 共通教育科目の構成

4. 専門科目の基礎および関連科目

共通教育のいくつかの科目は、各学科で専門科目を学ぶ上で基礎となる科目あるいは関連する科目として位置づけられています。これらについては、各学科ガイダンスでの説明等を参考にしてください。

5. 教職科目

共通教育の科目のいくつかは、教職課程を履修するために必要な科目（教科に関する科目）に指定されています。詳しい説明は、教職課程履修要項を参考にしてください。

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

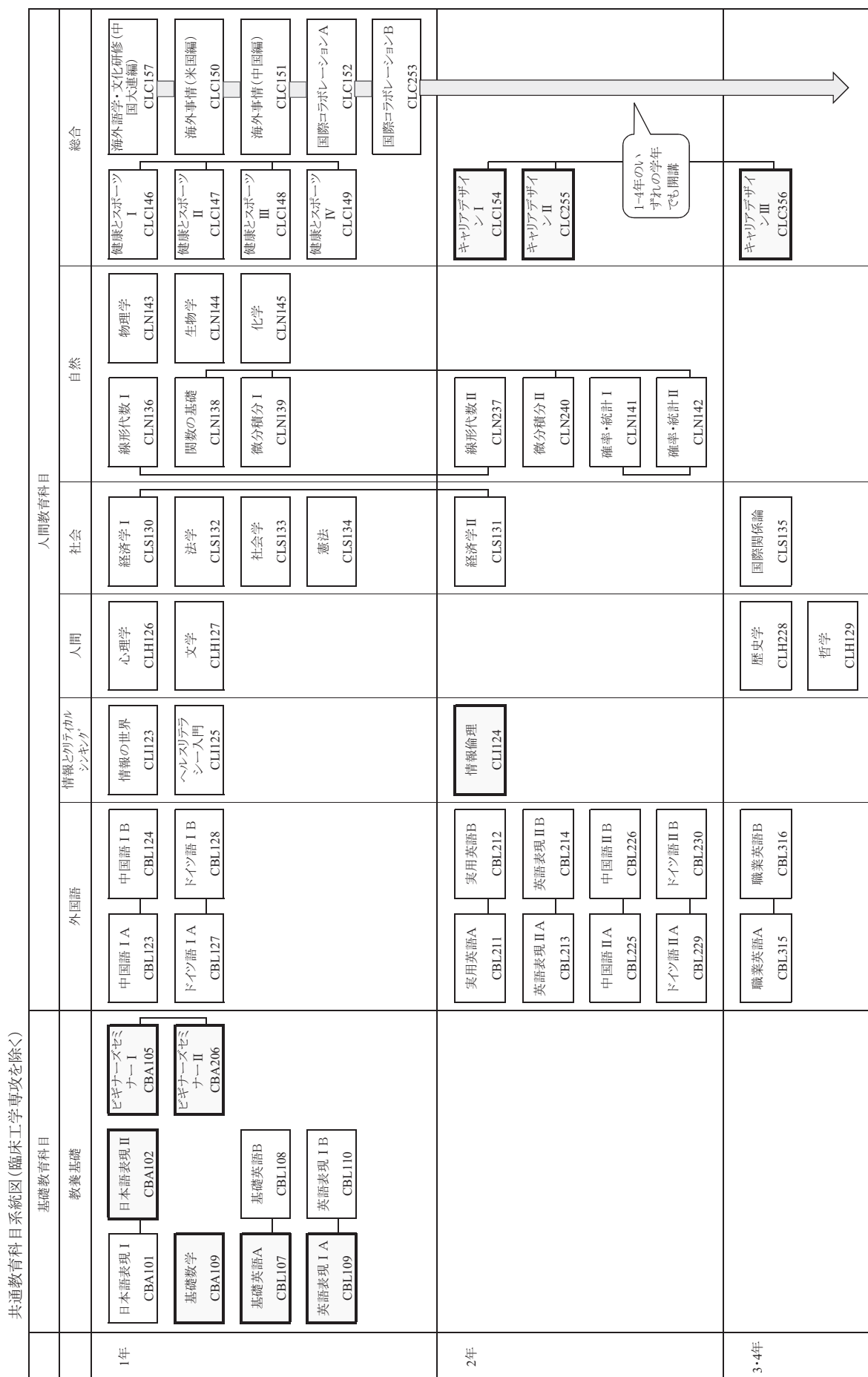
履
修
モ
デ
ル

習
履
修
得
単
位
と
な

一
授
業
覧
科
表
目

一
年
次
配
当
科
表
目

共通教育科目履修系統図（臨床工学専攻を除く）



共通教育科目系統図（臨床工学専攻を除く）

上段は科目名；下段はナンバリング

選択科目

必修科目

共通教育科目履修系統図（臨床工学専攻）

人間教育科目						総合	
基礎教育科目						自然	
基礎基礎						社会	
外国語						人間	
情報とクリエイティブシンキング						緑形代数 I	
1年						関数の基礎	
日本語表現 I CBA101	日本語表現 II CBA102	ピギナースセミナー I CBA105	中国語 I A CBL123	中国語 I B CBL124	情報の世界 CLI123	心理学 CLH126	経済学 I CLS130
基礎数学 CBA109		ピギナースセミナー II CBA206	ドイツ語 I A CBL127	ドイツ語 I B CBL128	ヘルズリテラシー入門 CLI125	文学 CLH127	法学 CLS132
基礎英語 A CBL107	基礎英語 B CBL108						社会学 CLS133
英語表現 I A CBL109	英語表現 I B CBL110						憲法 CLS134
2年						線形代数 II	
						微分積分 II	
						確率・統計 I	
						確率・統計 II	
3・4年						キャリアデザイン I CLC154	
						キャリアデザイン II CLC255	
						キャリアデザイン III CLC356	

上段は科目名; 下段はナンバリング

選択科目

必修科目

単位制度

授業カリキュラム

履修登録

成績および試験

卒業

業教職課程

留その事項の

履修モデル

習得単位と

一授業科目表

一年次配当科目表

共通教育科目履修系統図（臨床工学専攻を除く）【外国人留学生】

【外国人留学生】

共通教育科目系統図（臨床工学専攻を除く）

	基礎教育科目	外国語	情報とキャリア シキング	人間	社会	自然	総合
1年	基礎基礎 日本語表現 I CBA101 日本語表現 II CBA102 基礎数学 CBA109 基礎英語 A CBL107 英語表現 I A CBL109 ビジネスセミナー I CBA105 ビジネスセミナー II CBA206 基礎英語 B CBL108 英語表現 I B CBL110	日本語 I CBL160 日本語 II CBL161 日本語 III CBL262	情報の世界 CLI123 ヘルスリテラシー入門 CLI125	心理学 CLH126 文学 CLH127	経済学 I CLS130 法学 CLS132 社会学 CLS133 憲法 CLS134	線形代数 I CLN136 関数の基礎 CLN138 微分積分 I CLN139 物理学 CLN143 生物学 CLN144 化学 CLN145	健康とスポーツ I CLC146 健康とスポーツ II CLC147 健康とスポーツ III CLC148 健康とスポーツ IV CLC149
2年		日本語 IV CBL263 実用英語 A CBL211 実用英語 B CBL212 英語表現 II A CBL213 英語表現 II B CBL214	情報倫理 CLI124		経済学 II CLS131	線形代数 II CLN237 微分積分 II CLN240 確率・統計 I CLN141 確率・統計 II CLN142	キャリアデザイン I CLC154 キャリアデザイン II CLC255 日本事情 CLC364
3・4年		職業英語 A CBL315 職業英語 B CBL316		歴史学 CLH228 哲学 CLH129	国際関係論 CLS135		キャリアデザイン III CLC356

上段は科目名；下段はナンバリング

選択科目

必修科目

共通教育科目履修系統図（臨床工学専攻）【外国人留学生】

共通教育科目系統図(臨床工学専攻)						共通教育科目				人間教育科目		自然		総合	
基礎教育科目						外国語		情報とデジタルシキング		人間		社会		自然	
教養基礎						日本語 I		情報の世界		心理学		経済学 I		線形代数 I	
1年	基礎数学		日本語表現 I		基礎数学	日本語 II		ヘルスリテラシー入門		文学		法学		関数の基礎	
	基礎英語 A		日本語表現 II		基礎英語 A	日本語 III						社会学		微分積分 I	
	英語表現 I A		英語表現 I B		英語表現 I A	英語表現 II A						憲法		微分積分 II	
	英語表現 I B		英語表現 II B		英語表現 I B	英語表現 II B								確率・統計 I	
2年						日本語 IV		情報倫理				経済学 II		線形代数 II	
						実用英語 A						CLSI31		微分積分 II	
3・4年						職業英語 A				歴史学		国際関係論		確率・統計 II	
						職業英語 B				哲学		CLSI35		キャリアデザイン III	

上段は科目名; 下段はナンバリング

選択科目

必修科目

単位制度

業カリキヨラム

履修登録

成績および卒業

業教職課程

留その事項の履修モデル

教育課程の概要

卒業に必要な科目と履修単位の取得

一授業科目表

一年次配当科目表

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との 関連マップ及びコンピテンシーマップ

単位
制度
授
業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録
成
試
験
お
よ
び
卒
業
教
職
課
程
留
意
の
事
項
の
履
修
モ
デ
ル
習
得
単
位
一
授
業
科
表
目
一
年
次
配
当
科
表
目

授 業 科 目 の 名 称					卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー			
					①	②	③	④	⑤	⑥	A	B	C	D
授 業 科 目 の 概 要	教 養 教 育 の 科 目	基 礎 教 育 科 目	教 養 基 礎	日本語表現Ⅰ				○		○		○		○
				日本語表現Ⅱ						○	○	○		
				基礎数学						○	○			
				基礎英語A			○	○					○	○
				基礎英語B			○	○					○	○
				英語表現ⅠA			○	○					○	○
				英語表現ⅠB			○	○					○	○
				ビギナーズセミナーⅠ						○	○	○		
				ビギナーズセミナーⅡ				○		○		○		○
		人 間 教 育 の 科 目	外 国 語	実用英語A			○	○					○	○
				実用英語B			○	○					○	○
				英語表現ⅡA			○	○					○	○
				英語表現ⅡB			○	○					○	○
				職業英語A			○	○					○	○
				職業英語B			○	○					○	○
				中国語ⅠA			○	○					○	○
				中国語ⅠB			○	○					○	○
				中国語ⅡA			○	○					○	○
				中国語ⅡB			○	○					○	○
				ドイツ語ⅠA			○	○					○	○
				ドイツ語ⅠB			○	○					○	○
				ドイツ語ⅡA			○	○					○	○
				ドイツ語ⅡB			○	○					○	○
			情 報 と ク リ ティ カル シ ン ギ ン グ	情報の世界				○		○		○		○
				情報倫理				○		○	○			○
				ヘルスリテラシー入門						○	○	○		
			人 間	心理学				○		○	○			○
				文学			○			○	○		○	
				歴史学			○			○		○	○	
				哲学						○	○			
			社 会	経済学Ⅰ						○	○	○		
				経済学Ⅱ						○	○	○		
				法学						○	○	○		
				社会学						○	○	○		
				憲法						○	○	○		
			自 然	国際関係論			○			○	○		○	
				線形代数Ⅰ						○	○			
				線形代数Ⅱ						○	○			
				関数の基礎						○	○			
				微分積分Ⅰ						○	○			
				微分積分Ⅱ						○	○			
				確率・統計Ⅰ						○	○			
				確率・統計Ⅱ						○	○			
				物理学						○	○	○		
				生物学						○	○			
				化学						○	○			
		総 合	健 康 と ス ポ ー ツ	健康とスポーツⅠ				○		○	○			○
				健康とスポーツⅡ				○		○	○			○
				健康とスポーツⅢ				○		○	○			○
				健康とスポーツⅣ				○		○	○			○
			海 外 語 学 ・ 文 化 研 修 （ 中 国 大 連 編 ）	海外語学・文化研修（中国大連編）			○	○					○	○
				海外事情（米国編）			○	○					○	○
				海外事情（中国編）			○	○					○	○
				国際コラボレーションA			○	○					○	○
				国際コラボレーションB			○	○					○	○
			カ リ ア デ ザ イ ン	キャリアデザインⅠ				○		○		○		○
				キャリアデザインⅡ				○		○		○		○
				キャリアデザインⅢ						○	○			
				臨床工学基礎セミナーⅠ				○		○	○			○
				臨床工学基礎セミナーⅡ				○		○	○			○
		留 学 生 向 け 科 目		日本語Ⅰ			○	○					○	○
				日本語Ⅱ			○	○					○	○
				日本語Ⅲ				○		○		○		○
				日本語Ⅳ				○		○		○		○
				日本事情			○	○					○	○

単
位
制
度

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
要
要

習
履
卒
得
修
業
単
科
に
目
必
要
と
な

一
授
業
覧
科
表
目

一
年
次
配
覧
当
科
表
目

先端経営学科

学科の理念

本学の理念である「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を実現する学科として、先端経営学科は「ビジネスと情報技術」の接点にあるイノベーションを追求します。

IoTやAI、ビッグデータといったデジタル技術が生み出している可能性をビジネスのなかに取り込んで新しいビジネスモデルを生み出して行く人材を育成します。

学科の概要

本学科の理念を達成するために、現代ビジネスに必要な「生きた経営学」と「ビジネス技法」を学びどの企業でも求められている本学ならではの「経営+α」を修得します。

現代のビジネス環境は大きな変革が次々に現れており、まさに「デジタル革命」とも言えます。

このような変革期には、従来の経営学に加えて「情報」をいかに捉え、それを分析してビジネスに活かしていくという「生きた経営学」が必要とされます。

本学科では、現代経営に求められるコンピュータを活用した問題解決能力や提案力を身につけた人材を養成しています。

学生は地域課題や企業の課題を外部から求められる様々な学外プロジェクトに参加して実践力を磨いています。

そこで求められるのは情報を活かした、新たな「ビジネス技法」です。

具体的には、IT経営コースと起業家育成コースの中で以下のような科目構成で修得します。

先端経営学科のふたつのコースでは、1年生から4年生までの少人数一貫専門教育を実施するとともに特に3・4年次のゼミナールでは、学生が主体的に学外プロジェクトへ参画できる機会（PBL：Project Based Learning：5～6人で行う「課題解決型学習」）を整えています。4年間のゼミを通した少人数一貫専門教育は、他大学においても類を見ないカリキュラムであり、これをとおして、学生の「知りたい、見たい、聞きたい、話したい」というニーズに応えます。

専門教育科目のセメスター（学期）制度は、学生が単位の修得をし易いように工夫された仕組みです。つまりことなく4年間をとおして学習できる環境を提供します。洗練されたカリキュラムで鍛えられるその力は、主体的に問題を発見し、解決・提案ができる力に結びつき、将来へつながります。

「デジタルビジネス概論」や「BI（ビジネスインテリジェンス）とビッグデータ」、「デジタルマーケティング」、さらにわが国初の学習者適応型eラーニングシステムを活用し、経営とITの関係から展開する「情報システム学概論Ⅰ・Ⅱ」や地域の抱える問題の調査を实践する学外教育などの科目、及びビジネスプレゼンテーションコンテストが設けられています。これらをとおして、学生は、社会における自らの立場を認識し、大学における学問の重要性を認識し、積極的に学ぶ姿勢を身に付けることができるカリキュラムが編成されています。

教育目標

- ① 経営の専門知識と情報技術を活用して、デジタルビジネスの仕組みを広く学び、企業経営の課題を発見し解決できるコンピテンシーを身に付けた人材の育成
- ② 社会や産業界のニーズを考慮した先進的なカリキュラムの実施、少人数一貫専門教育の充実、学習者適応型e-Learningを活用した教育の推進、および地域の活性化や街づくりなどにおける社会との連携
- ③ 各種資格取得の支援

教育の方法

主体的にアクティブラーニングの効果を上げるために、4年間の一貫した少人数専門教育（ゼミナール）の配置の工夫および各自の専門性を高めるために、次のようにデジタルビジネスの基本を修得する工夫をしています。

- ① 主体的に学ぶ科目の配置

先端経営学科で学ぶ意義・心構えを確立するため、またそれぞれのコースに則したコンピテンシーを

意識させる科目として1年次に「自己発見ゼミナール（必修）」を配置しています。これは、6～7人のクラスを単位として教員と対話する形で行ないます。1年次に続き、2年次の「プロジェクトゼミナールⅠ、Ⅱ」、3年次～4年次前期の「ゼミナールⅠ～Ⅲ」及び4年次後期の「卒業論文」を通じて専門知識を活用した経営課題の発見・解決の方法の修得をPBL（Project Based Learning）などで図り、学生の能力を引き出します。

② 経営学と情報技術の基礎の徹底

コンピテンシーを達成するための基本科目として、「デジタルビジネス概論」、「経営学への招待」、「流通の仕組み」、「自己発見ゼミナール」、「ICT入門」及び「ビジネスアプリケーションⅠ」を1年次に配置し、経営学と情報技術の基礎を早期に学習できる環境を提供します。

③ 専門性を高める実践教育

コア選択科目の「情報システム学概論Ⅰ」、「情報システム学概論Ⅱ」では学習者適応型e-ラーニングによって各自のペースで着実にデジタルビジネスの核心を修得します。IT経営コース特有の科目として、デジタル技術の豊富な活用事例を通して、デジタルビジネスを修得します。起業家育成コースでは起業実践の場としてアントレプレナーシップセンターと連携して起業家を育成します。

④ 社会連携

3年次には実社会での就労を経験する科目「インターンシップ」を提供します。学外プロジェクトへの参加の環境を提供することとおして、社会性と実務遂行能力の修得をサポートします。

⑤ 教職系専門科目

教職「商業」（高校）および教職「情報」（高校）の免許を取得するために必要な専門科目を配置しています。

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および

業教職課程

留その他

履修科目の概要

卒業に必要となる

一授業科目表

一年次配当科目表

コースの概要とコース別カリキュラムポイント

先端経営学科は、デジタルビジネス専攻のもとに2つのコースを設置しています。

IT経営コースの概要

IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を発見・解決し、豊かな社会の実現に寄与する人材の育成を目標とするコースです。企業が抱えるさまざまな経営課題を解決するためには、情報社会の発展がもたらしたIoTなどの情報技術と経営の関連性を適切に理解し、経営の改善・改革を推し進めることができるコンピテンシーを獲得するコースです。

起業家育成コースの概要

IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなどに幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材の育成を目標とするコースです。地域の活性化や街づくりの課題を解決するためには、デジタルビジネスの核となるIoTなどの情報技術を活用するとともに、幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できるコンピテンシーを獲得するコースです。

コース別カリキュラムポイント

① IT経営コースのカリキュラムポイント

IT経営コースは、経営学の専門教育科目を学修するにあたり、経営と情報技術の関連性からコンピテンシーを達成する科目として、1年次に起業家育成コースと共通する必修科目の他、2年次に「経営戦略論」、「プロジェクトマネジメント」などを、3年次・4年次には「デジタルマーケティング」、「BIとビッグデータⅠ」などの科目を推奨するコア選択科目として配置し、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる人材を育成します。

② 起業家育成コースのカリキュラムポイント

起業家育成コースは、起業と情報技術の関連性からコンピテンシーを達成する科目として、1年次にIT経営コースと共通する必修科目の他、2年次に「ベンチャービジネス論」、「アントレプレナーシップ論」を、3年次・4年次には「地域連携論」、「マーケティングリサーチ」、「BIとビッグデータⅠ」などの科目を推奨するコア選択科目として配置し、マーケットの動向分析、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる人材を育成します。

先端経営学科 人材像とコンピテンシー

先端経営学科 デジタルビジネス専攻 コース別人材像とコンピテンシー

デジタルビジネス専攻 IT経営コース

①人材像

(a)	生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材
(b)	多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出せる人材
(c)	IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を解決し、豊かな社会の実現に寄与できる人材

②コンピテンシー

A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
C	経営の専門知識と情報技術を活かして、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる

デジタルビジネス専攻 起業家育成コース

①人材像

(a)	生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材
(b)	多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出せる人材
(d)	IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなど幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材

②コンピテンシー

A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
D	経営の専門知識と情報技術を活用してマーケットの動向を分析し、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成績評価

業教職課程

留意の事項

学部教育課程

卒業に必要な科目

授業科目表

一年次配当科目表

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー					
	①	②	③	④	⑤	⑥	I T経営コース			起業家育成コース		
							A	B	C	A	B	D
経営学への招待		○			○				○			○
流通の仕組み		○			○				○			○
デジタルビジネス概論	○	○			○		○		○	○		○
自己発見ゼミナール		○			○				○			○
プロジェクトゼミナールⅠ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
プロジェクトゼミナールⅡ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅠ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅡ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅢ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
卒業論文	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
簿記原理システム論Ⅰ		○			○				○			○
簿記原理システム論Ⅱ		○			○				○			○
経営戦略論		○			○				○			○
経営管理論		○			○				○			○
Webビジネス論	○	○			○		○		○	○		○
ベンチャービジネス論	○	○			○		○		○	○		○
知的財産権論		○			○				○			○
民法		○			○				○			○
アントレプレナーシップ論	○	○			○		○		○	○		○
サービスマネジメント	○	○			○		○		○	○		○
マーケティング論	○	○			○		○		○	○		○
マーケティングリサーチ	○	○			○		○		○	○		○
現代の財務会計論Ⅰ		○			○				○			○
現代の財務会計論Ⅱ		○			○				○			○
情報システム学概論Ⅰ	○	○			○		○		○	○		○
情報システム学概論Ⅱ	○	○			○		○		○	○		○
インターンシップ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
デジタルマーケティング	○	○			○		○		○	○		○
コンピュータ会計		○			○				○			○
コストマネジメント		○			○				○			○
企業倫理		○			○				○			○

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び

卒

業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要習
履
修
得
単
位
と
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

経営情報学部

先端経営学科（2020年度入学生～）

単位 制度 授 業 カリ キュ ラム 履 修 登 録 成 試 験 お よ び 卒 業 教 職 課 程 留 意 の 事 他 項 の 履 修 モ デ ル 習 得 単 位 一 授 業 科 表 目 一 年 次 配 当 科 目 表 目	科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー					
		①	②	③	④	⑤	⑥	I T経営コース			起業家育成コース		
								A	B	C	A	B	D
	経営史		○			○				○			○
	商法		○			○				○			○
	流通システム論	○	○			○		○		○	○		○
	マネジメントサイエンス	○	○			○		○		○	○		○
	プロジェクトマネジメント	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	SCM	○	○			○		○		○	○		○
	E R Pシステム		○			○				○			○
	国際経営論		○			○				○			○
	地域連携論		○			○				○			○
	現代の経営環境		○			○				○			○
	職業指導		○			○				○			○
	I C T入門	○	○			○		○		○	○		○
	ビジネスアプリケーションⅠ	○	○			○		○		○	○		○
	W e b技術基礎		○							○			
	コンピュータシステムⅠ		○							○			
	コンピュータシステムⅡ		○							○			
	ビジネスアプリケーションⅡ		○							○			
	情報科学基礎		○							○			
	I T戦略とマネジメントの基礎	○						○			○		
	観光情報学入門	○						○			○		
	システム開発基礎Ⅰ		○							○			
	システム開発基礎Ⅱ		○							○			
	ネットワークとセキュリティⅠ		○							○			
	W e bアプリケーション開発		○							○			
	情報社会論	○						○			○		
	情報職業論	○						○			○		
	情報システム特別講義	○	○					○		○	○		
	情報システムの設計		○							○			
	B IとビッグデータⅠ	○	○			○		○		○	○		○
	B IとビッグデータⅡ	○	○			○		○		○	○		○
	プロジェクトトライアル	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	グローバルヘルスリテラシー	○						○			○		

先端経営学科 デジタルビジネス専攻 コース別履修推薦科目 (専門教育)

【専門教育科目】

			授業科目の名称	授業を 行う 年次	単位数		I T 経営 コース	起業家 育成 コース
					必修	選択		
授業科目の概要	専門教育科目	経営学系科目	経営学への招待	1年	2		必修	必修
			流通の仕組み	1年	2		必修	必修
			デジタルビジネス概論	1年	2		必修	必修
			自己発見ゼミナール	1年	2		必修	必修
			プロジェクトゼミナールⅠ	2年	2		必修	必修
			プロジェクトゼミナールⅡ	2年	2		必修	必修
			ゼミナールⅠ	3年	2		必修	必修
			ゼミナールⅡ	3年	2		必修	必修
			ゼミナールⅢ	4年	2		必修	必修
			卒業論文	4年	2		必修	必修
			簿記原理システム論Ⅰ	1年		2	○	○
			簿記原理システム論Ⅱ	1年		2		
			経営戦略論	2年		2	○	○
			経営管理論	2年		2	○	
			Webビジネス論	2年		2	○	○
			ベンチャービジネス論	2年		2		○
			知的財産権論	2年		2		
			民法	2年		2		
			アントレプレナーシップ論	1年		2		○
			サービスマネジメント	2年		2		
			マーケティング論	2年		2		
			マーケティングリサーチ	1年		2	○	○
			デジタルマーケティング	3・4年		2	○	○
			現代の財務会計論Ⅰ	2年		2		
			現代の財務会計論Ⅱ	2年		2		
			コンピュータ会計	2年		2		
			コストマネジメント	3・4年		2		
			企業倫理	3・4年		2		
			経営史	3・4年		2		
			商法	3・4年		2		

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
要
要習
履
修
得
単
位
と
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

経営情報学部

先端経営学科（2020年度入学生～）

単位制度 授 業カリキュラム 履修登録 成績および卒業 業教職課程 留意の事項 履修モデル 卒業に必要な科目 授業科目一覧表 一次配当科目表	授業科目の概要	専門教育科目	経営学系科目	流通システム論	3・4年		2		
				マネジメントサイエンス	2年		2		
				プロジェクトマネジメント	3・4年		2	○	
				インターンシップ	3・4年		2		
				SCM	3・4年		2	○	
				ERPシステム	3・4年		2		
				国際経営論	3・4年		2		
				地域連携論	3・4年		2		○
				現代の経営環境	3・4年		2		
				情報システム学概論Ⅰ	2年		2	○	○
				情報システム学概論Ⅱ	2年		2	○	○
				職業指導	3・4年		2		
			情報学系科目	ICT入門	1年	2		必修	必修
				ビジネスアプリケーションⅠ	1年	2		必修	必修
				Web技術基礎	1年		2		
				コンピュータシステムⅠ	1年		2		
				コンピュータシステムⅡ	2年		2		
				ビジネスアプリケーションⅡ	2年		2		
				情報科学基礎	2年		2		
				IT戦略とマネジメントの基礎	2年		2		
				観光情報学入門	2年		2		
				システム開発基礎Ⅰ	3・4年		2		
				システム開発基礎Ⅱ	3・4年		2		
				ネットワークとセキュリティⅠ	3・4年		2		
				Webアプリケーション開発	3・4年		2		
				情報システム特別講義	2年		2		
				情報システムの設計	3・4年		4		
				情報社会論	1年		2		
				情報職業論	3・4年		2		
			学部横断科目	BIとビッグデータⅠ	3・4年		2	○	○
				BIとビッグデータⅡ	3・4年		2		
				プロジェクトトライアル	3・4年		2		
				グローバルヘルスリテラシー	3・4年		2		

○印は、選択したコースで推奨されているコア選択科目、無印は、関心に応じて選択すべき選択科目。

先端経営学科の卒業要件

101ページの要件を満たし124単位以上を修得する必要があります。

学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、定められたコンピテンシーを身に付け、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（経営情報学）」を授与します。

単位制度授

業カリキュラム

履修登録

試験および成績

卒

業教職課程

留そ意の事他項の

学部・学科の概要
履修モデル

卒業に必要な科目と履修単位の習得

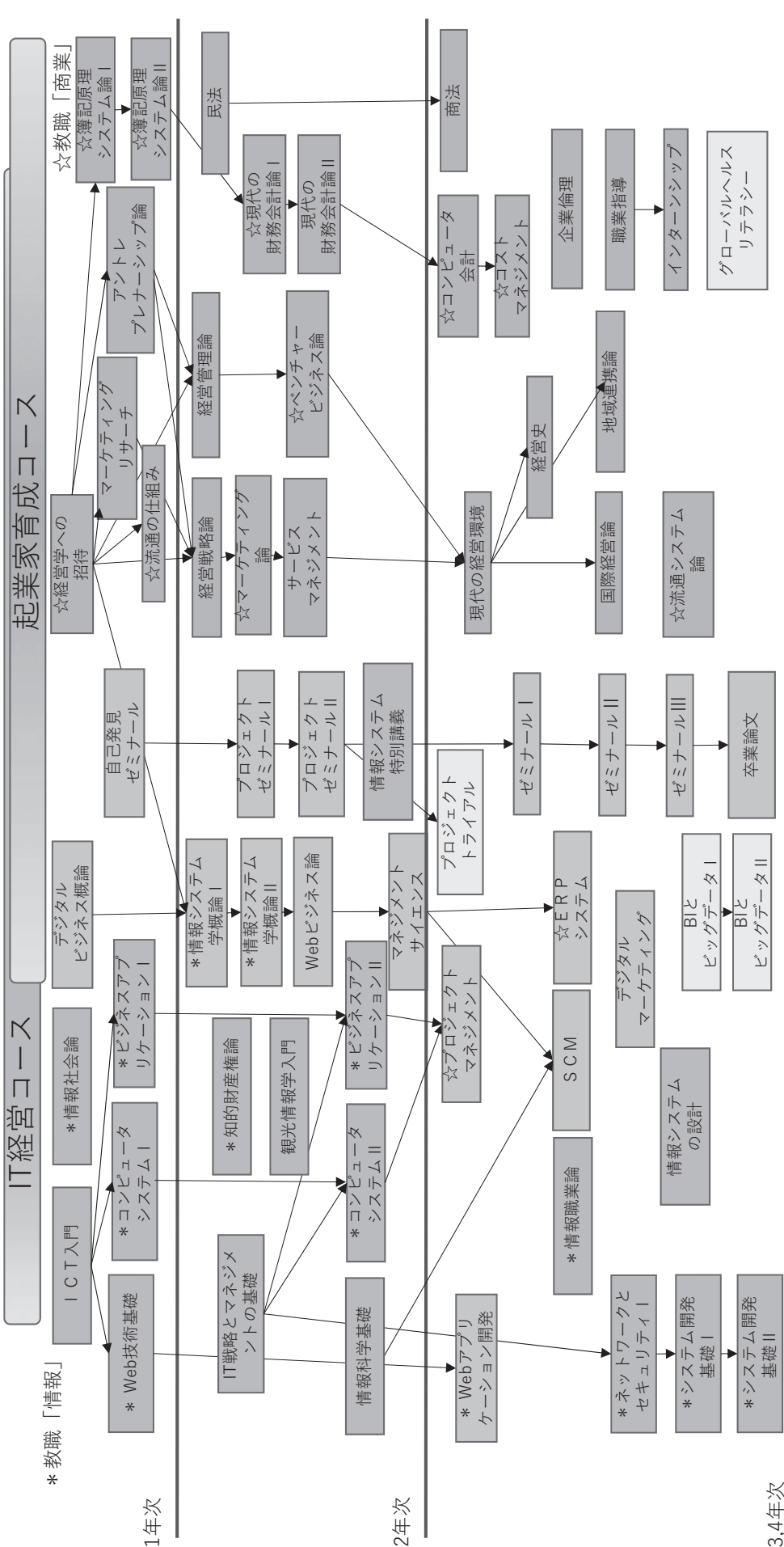
授業科目一覧表

年次配当科目一覧表

先端経営学科 専門科目履修系統図

情報学系科目群

経営学系科目群



先端経営学科 科目体系図

システム情報学科

概要

2014年10月に、ガートナー社のリサーチ部門の最高責任者が「デジタルビジネスの進展により、企業におけるすべてのビジネス部門がテクノロジースタートアップになる」と発言し、デジタルビジネス時代の幕があがりました。ガートナー社は、米国のコンサルタント会社で情報通信技術を経営にどのように生かすかについての指針を示してきました。ガートナー社は、「デジタルビジネス」とは「仮想世界と物理的世界が融合され、IoT (Internet of Things, モノのインターネット) を通してプロセスや業界の動きを変革するビジネスデザイン」と定義しています。このデジタルビジネスを支える技術的要素が、IoT、ビッグデータ、人工知能などの情報通信技術です。システム情報学科では、これらの技術の基礎を体系的に学べるカリキュラムを構成しています。また、PBL(Project Based Learning)を含む演習科目も豊富に用意し、今後ますます重要となる問題発見、問題解決、コミュニケーション、クリティカルシンキングなどの能力を育成します。

○育成する人材像

情報化社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材を育成するとともに、情報化社会で求められているあらゆる分野において利用されるシステムの開発にかかわるソフトウェア技術者、および情報技術に関する知識とスキルを応用して問題解決を図り、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。専門教育では、以下に示す知識や能力を育成していきます。

- ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
学ぶ意義を理解できる人材
グループで議論や活動ができる人材
- ② IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
ネットワーク、セキュリティ、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人材
人工知能、機械学習、データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人材
宇宙開発や宇宙情報利用およびそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人材
情報技術を利活用して社会の各分野で貢献できる人材
情報や数学において教員として従事できる人材
- ③ コミュニケーションとプレゼンテーション能力
自分の考えや提案内容をわかりやすく説明できる人材
- ④ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
情報技術を利活用し、専門知識（システムエンジニア、情報科学、宇宙情報に関する知識）を生かして、課題を発見し解決できる人材

○カリキュラムの特徴

情報処理技術者は、社会、企業、消費動向、人間を理解し、それぞれのニーズに合わせたソフトウェア開発やシステム設計及び的確な情報を提供できる専門性が求められています。当学科では、情報技術やICT（情報通信技術）の基礎と経営学の基礎を系統的に学び、実践的な教育を行い、プレゼンテーションやコミュニケーション能力を養うようにカリキュラムを編成しています。

ディプロマ・ポリシーで示した人材を育成するために、システムエンジニアコース、情報科学コース、宇宙情報システムコースを設け、情報科学、宇宙情報、システム開発に関する基本的な知識を修得させるとともに、ゼミナールや演習系の科目においては、それらを応用しながら、問題発見・解決に必要な能力を磨けるよう、以下のような教育目標を達成することを目的としています。

- ① 情報科学、宇宙情報、システム開発に関する基本的な知識を修得する重要性を自覚させ、演習を繰り返すことでそれらの知識の定着を図る。
- ② 次のような能力やスキルを、ゼミナール、プロジェクト系科目などで育成する。

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および成績

業教職課程

留その他事項

学部教育課程の概要

卒業に必要な科目と単位

授業科目表

年次配当科目表

単位制度	・ 基本的な知識をもとに、問題を発見し、解決案を提案できる能力 ・ 情報技術を使って分析を行い、結論に至る過程を論理的に説明できる能力 ・ 自分の考えをわかりやすく人に伝える表現力
授	③ 学んだ知識を確認するために、資格取得を支援する。 上記にあげた人材を育成するために、以下に示す7つの教育プログラムを編成し実施しています。
業カリキュラム	① 学ぶ動機付けをする科目の配置 1 年前期に、各専門教員が、自分が担当する科目が将来どのように役立つか、その科目を、学ぶ意義は何かなどを伝える「システム情報学への招待」を配置し、システム情報学科で学ぶ動機を早期に持てるようにしています。これは、コンピテンシー C11（別表2）と深く関連します。
履修登録	② 専門基礎科目の配置 2 年次終了までにコンピュータサイエンスやICTおよび経営学の基礎が学習できるように、専門基礎科目を配置しています。
成試験および成績	③ 系統的学習と専門性を高めるコース制の採用 3つの専門コースは、卒業時まで一つ以上の専門性を身に付けることを狙いとしています。1・2年次で学習する基礎的な科目と3・4年次の専門科目との関係を明確にして、系統的に学習できるように工夫しています。
卒	④ プログラミング教育の強化 Java言語をベースにプログラミングの基礎を習熟度別に学び、C言語をベースにシステムプログラミングを学び、組込みシステム、ネットワーク、データベース、画像処理、CGなどの応用的なプログラミングが学べます。また、オブジェクト指向技術に基づく実践的なプログラミング能力が身に付けられます。
業教職課程	⑤ 応用力の育成 知識や技術の応用力を、PBL（Project-Based Learning）を採用した科目や総合演習系科目及びゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ、卒業論文で養います。
留その他の事項	⑥ 経営学系科目の履修 企業情報システムを構築するときには、ビジネス分野におけるICT活用や経営戦略を理解することが必要となります。このため、関連する経営学系科目を履修できるようになっています。
履修モデル	⑦ 教職系専門科目 教職「情報」（高校）および教職「数学」（中学、高校）の免許を取得するために必要な専門科目を配置しています。

○情報専門基礎科目

最初に学ぶ科目がシステム情報学への招待です。この科目では、システム情報学科の専門教育を担当する教員がこれから勉強する科目が如何に興味深いか、どのように社会で生かされているかなどを紹介し、システム情報学科で学ぶ意義をみなさんに考えてほしいという目的で開設されています。

情報の知識や技術を身に付けるには、基礎をしっかりと学修すると共に、系統的な学習が要求されます。2年時までの専門基礎科目の展開を「専門基礎科目関連図」に示しています。一番左の縦系列はIT共通知識体系（注参照）の知識分野を参考にシステム情報学科で必要となる知識を加えたものです。この図から、専門基礎科目がIT共通知識体系とどのように対応しているかが分かります。図の横方向に並ぶ科目は相互に関連し、所定の知識分野を系統的に学ぶことができるように配置されています。

なお、「コンピュータシステムⅠ」、「コンピュータシステムⅡ」、「IT戦略のマネジメントの基礎」等を学習すると、基本情報技術者試験やITパスポート試験などに必要な知識を習得することができます。

（注）「IT共通知識体系」は情報処理技術者試験の全ての区分に共通して問われる知識を体系化したもので、情報システムを開発、利用する業務において、しばしば活用されています。

○情報専門科目

システム情報学科では、システム情報専攻にシステムエンジニアコース、情報科学コース、宇宙情報専攻に宇宙情報システムコースを設けています。3、4年次の専門科目には、これらのコースで必要となる専門知識を学べる科目を配置しています。システム情報学科の科目関連図は、情報専門基礎科目と情報専

門科目の科目をどのような順番で学ばよいかの指針を示すものです。矢印の終点の科目（当該科目）は、矢印の始点の科目（前提科目）の知識を前提にしていますので、当該科目を学ぶためには前提科目を学んでおく必要があります。

●システムエンジニアコース

企業情報システムの設計や実装を担うソフトウェア開発技術者（システムエンジニア）の育成を目標にしたコースです。ソフトウェア開発技術者には、プログラミングやシステム分析、設計等の技術とともに、ネットワークやデータベースの技術、ソフトウェア開発分野の業務知識などが要求されます。本コースでは、オブジェクト指向技術を柱に、分析、設計、プログラミングの力がつくカリキュラムを提供します。また、「データベース」、「ネットワークとセキュリティⅠ、Ⅱ」、「ネットワークの構成と管理」などの科目を通じて、データベースやネットワークの技術を学びます。さらに、プログラミングの力を伸ばしたり、「観光情報学入門」、「組込みシステム基礎」、「組込みシステム開発」などの科目を学び、特定の分野のシステム開発への知識を得たり、経営学系列の「ERPシステム」や「SCM」（サプライチェーンマネジメント）などの科目を学び、企業の情報システムへの理解を深めたりすることが期待されます。

●情報科学コース

世の中の社会現象を情報科学的に分析し、問題提起や問題解決能力を身に付けた専門家の育成を目標にしたコースです。本コースでは、デジタルビジネス時代の経営等の社会的なものを含め様々な現象において、コンピュータサイエンスの知識と技術を応用して問題提起、問題解決能力の育成を目指します。特に、現象を科学的に捉えるために数理モデルを作成し、それを基にシミュレーションの経験を積んだり、人工知能の考え方をを使って現象を分析したり、結果を視覚化したり、システム化の経験を積むことによって情報科学的な方法論・問題解決法を学ぶことができるようなカリキュラムを提供します。そこで培った専門知識や技術を通して、普遍的な学習能力を身に付けた学生を育み、将来職業人として、急速な社会変化に対応可能な知的体力をつけることが期待されます。

●宇宙情報システムコース

地球観測などの宇宙情報利用や高品質高信頼性が要求されるシステムの開発を担うソフトウェア開発技術者の育成を目標にしたコースです。宇宙利用産業などの宇宙開発関連事業で必要とされる知識と技術を学びます。宇宙工学や宇宙情報利用などの学習を進めて行くための基礎的な知識を学び、それらをベースにして衛星リモートセンシングなどの地球観測や高品質高信頼性ソフトウェアの開発に必要な専門知識と技術を身につけることが期待されます。

○演習系科目

演習系科目として、情報専門演習、プロジェクトトライアル（学部横断科目）、ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ、卒業論文があります。

情報専門演習は、2年前期までにまなんだ基礎的なプログラミングや情報科学の理解力を確かめ、応用的な課題に取り組むことで、それぞれの能力の定着と向上を目指します。

プロジェクトトライアル（学部横断科目）は、3年生に配置されており、2年生までにシステム情報学科で学んだ知識や技能を生かして、他学科の学生と協同して、プロジェクトに取り組むものです。システム情報学科の学生は、プログラミング、ネットワーク、データベースなどの実装に関する知識や技能が期待されています。異なる能力や考え方の人と協力して一つの目標に向かって活動することで、社会で要求されるコミュニケーション、問題発見、問題解決能力などを磨くことができます。

ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲでは、指導教員の下で、興味あるテーマについて深く掘り下げて学習すると同時に、議論や発表を通じて、自分の考えを論理的に整理しわかりやすく表現する能力を身に付けます。卒業論文は4年間の集大成です。その成果は卒業論文や公開発表会で試されます。

単位
制度業
力
キ
ュ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び

卒

業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要習
履
卒
修
業
得
に
必
要
な
単
位
と
な
る一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
置
当
科
表
目

システム情報学科 人材像とコンピテンシー

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成試
験
お
よ
び
績
び

卒

業
教
職
課
程留
意
の
事
他
項
の履修モデル
学部・学科の概要卒業に必要
科目と単位一授
業
覧
科
表
目
一
年
次
配
当
科
表
目

学科名	システム情報学科	システムエンジニアコース
①人材像		
(a)	ネットワーク、セキュリティ、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人材	
②コンピテンシー		
C1	コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。	
C2	ソフトウェア開発技術を使った情報システム開発の一端を担うことができる。	

学科名	システム情報学科	情報科学コース
①人材像		
(a)	人工知能，機械学習，データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人材	
②コンピテンシー		
C1	コンピュータサイエンス，ソフトウェア工学，ネットワーク，セキュリティ，データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。	
C3	コンピュータサイエンスに関する基礎知識を使って，ビッグデータなどを分析し，適切な解決案を提案できる。	
C4	経営分野の知識やICT（情報通信技術）を使って，様々な課題に対する問題解決案を提案できる。	

学科名	システム情報学科	宇宙情報システムコース
①人材像		
(a)	宇宙開発や宇宙情報利用およびそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人材	
②コンピテンシー		
C1	コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。	
C2	ソフトウェア開発技術を使った情報システム開発の一端を担うことができる。	
C5	宇宙科学の基礎的な知識について簡単に説明できる。	
C6	高品質・高信頼性ソフトウェア開発に関する基礎知識を体系的に説明できる。	

学科名	システム情報学科	共通
①人材像		
(a)	学ぶ意義を理解できる人材	
②コンピテンシー		
C11	システム情報学科で学ぶ意義を自分なりに説明できる。	
①人材像		
(b)	情報技術を活用し、専門知識（システムエンジニア、情報科学、宇宙情報に関する知識）を生かして、課題を発見し解決できる人材	
②コンピテンシー		
C12	自分で課題を発見することができる。	
C13	与えられた課題に対し、問題点を見極め、解決に必要な知識や技術を修得し、課題の対処策や解決策を実行できる。	
①人材像		
(c)	自分の考えや提案内容をわかりやすく説明できる人材	
②コンピテンシー		
C10	対象領域に関する基礎的な知識について簡単に説明できる	
C14	与えられた課題について、調査、考察し、論理的にかつ分かりやすく説明し、また、文書化することができる。	
①人材像		
(d)	グループで議論や活動ができる人材	
②コンピテンシー		
C15	自分で調査・考察したことや対処策や解決策について、議論することができる。	
C16	自己表現と協調性をバランスよく発揮できる。	

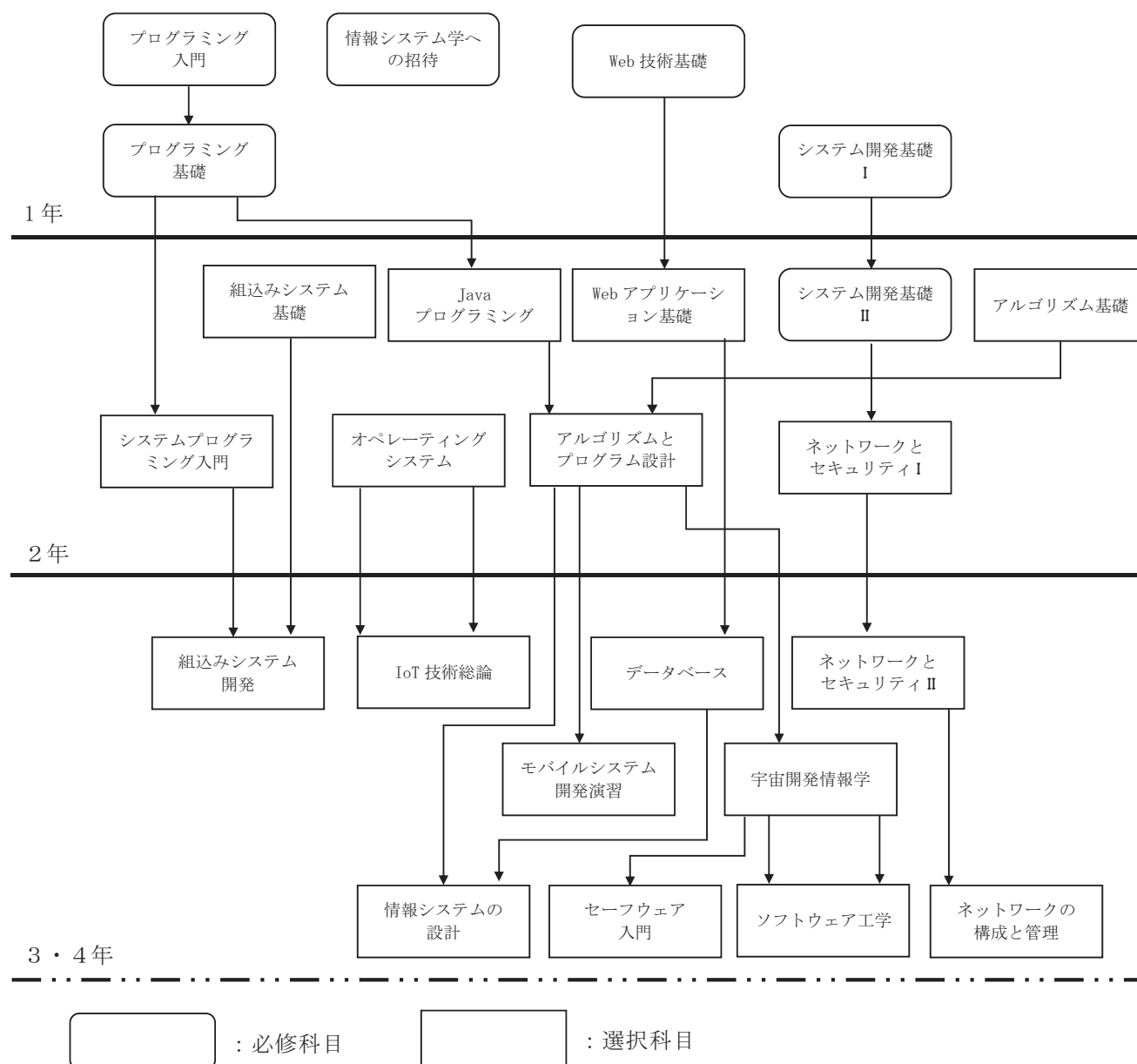
学科名	システム情報学科	教職
①人材像		
(a)	情報や数学において教員として従事できる人材	
②コンピテンシー		
C21	教職（情報）に必要な専門知識について簡単に説明できる。	
C22	教職（数学）に必要な専門知識について簡単に説明できる。	

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
学
部
・
学
科
の
概
要
程習
履
卒
得
修
業
に
必
要
な
単
位
と
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
置
当
科
表
目

☐ : 必修科目 ☐ : 選択科目

	1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期
学科紹介	システム情報学への招待			
コア知識 ・プログラム実装 ・プログラム設計	プログラミング入門	プログラミング基礎	Java プログラミング	システムプログラミング入門
コンピュータ科学基礎 ・情報の基礎理論 ・データ構造とアルゴリズム			情報科学基礎	情報理論 アルゴリズムとプログラム設計 離散数学Ⅰ
コンピュータシステム ・ハードウェア ・基本ソフトウェア ・システムの構成と方式 ・システム応用	コンピュータシステムⅠ コンピュータシステムⅡ		オペレーティングシステム	
システム開発と運用 ・システムの開発 ・システムの運用と保守			システム開発基礎Ⅱ	
ネットワーク技術 ・プロトコルと伝送制御 ・符号化と伝送 ・ネットワーク ・通信制御		システム開発基礎Ⅰ		ネットワークとセキュリティⅠ
データベース技術 ・モデル ・言語 ・設計				
セキュリティ ・セキュリティ対策 ・リスク管理 ・ガイドラインと関連法規				ネットワークとセキュリティⅡ
標準化				
情報化と経営 ・銃砲戦略 ・企業会計 ・情報システムの活用 ・経営工学 ・情報関連法規		経営学への招待 デジタルビジネス概論 流通の仕組み 簿記原理システム論Ⅰ 簿記原理システム論Ⅱ	IT 戦略とマネジメントの基礎	
情報モラル ・基本事項 ・セキュリティ ・関連法規	ICT 入門			
初級 ICT 利用技術 ・ソフトウェアの利用 ・インターネットの利用				
問題発見・解決 ・各種技法 ・コミュニケーション				プロジェクト基礎 情報専門演習
教職（数学）		幾何学入門		
宇宙関連		宇宙への挑戦	宇宙工学基礎	
業務知識			視光情報学入門 組込みシステム基礎	

システムエンジニアコース科目関連図



単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および成績

業教職課程

留その他事項

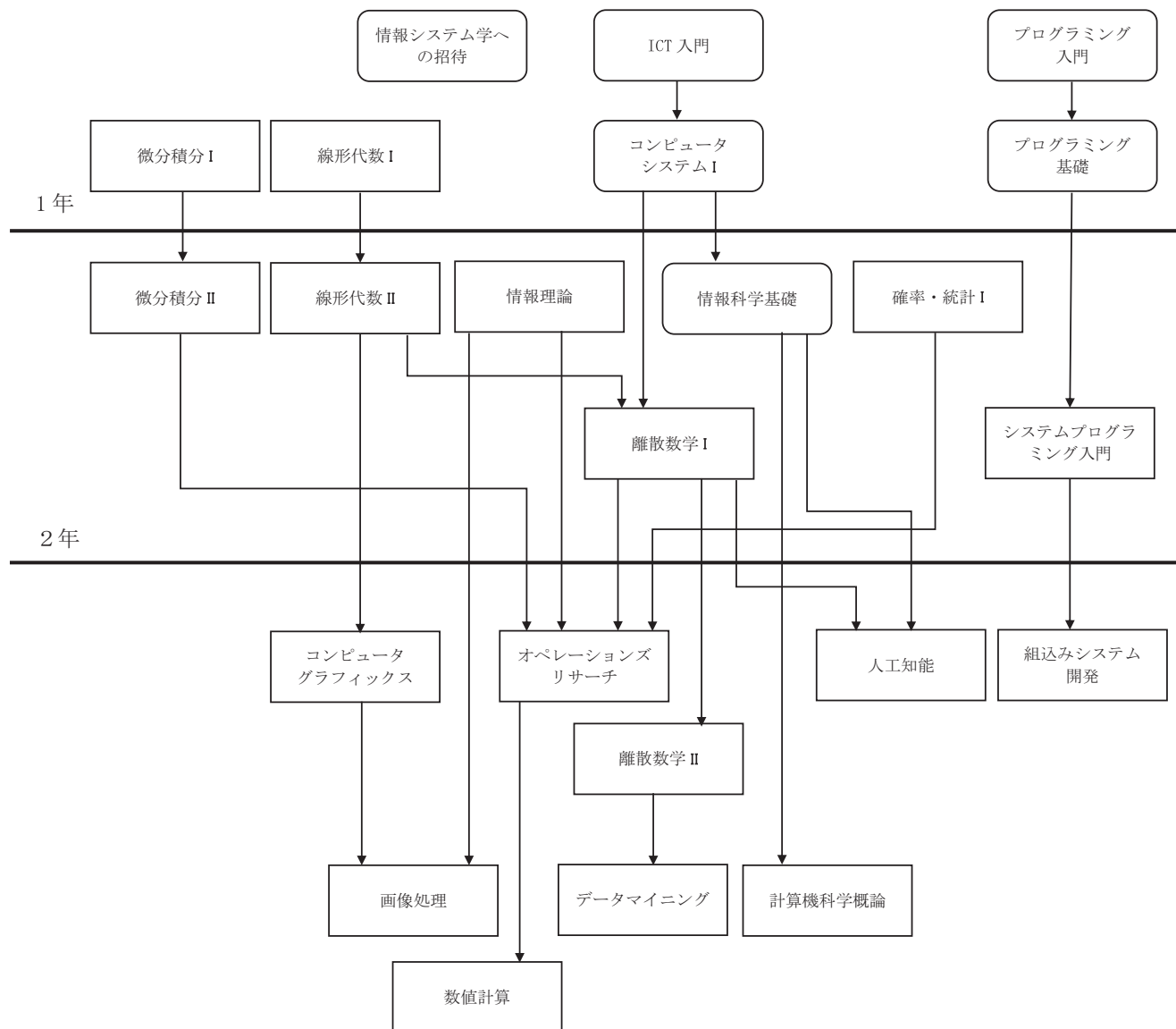
履修モデル

卒業に必要な科目と単位

一授業科目表

一年次配当科目表

情報科学コース科目関連図



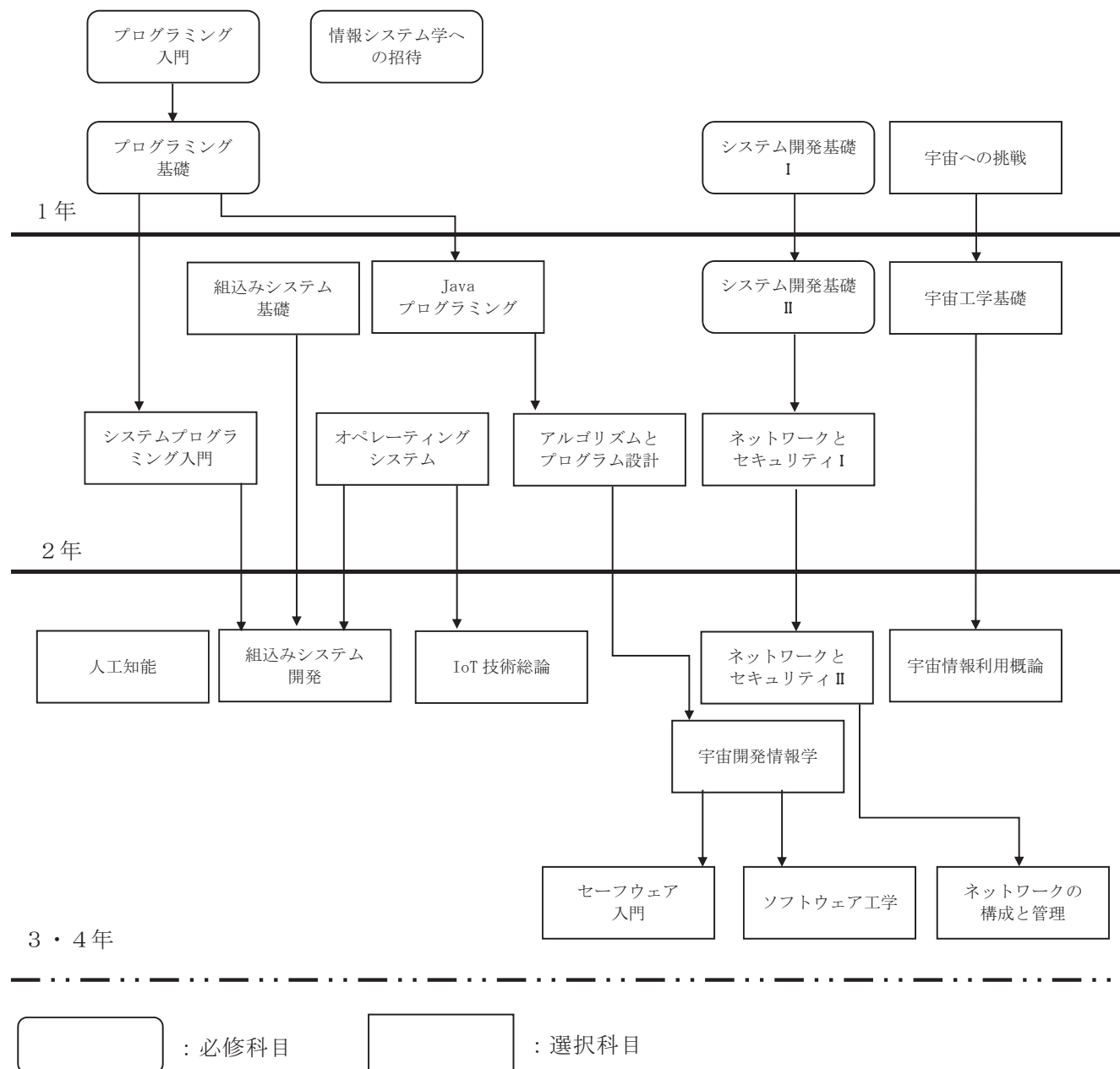
必修科目

：必修科目

選択科目

：選択科目

宇宙情報システムコース科目関連図



単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および

卒

業教職課程

留その他項の

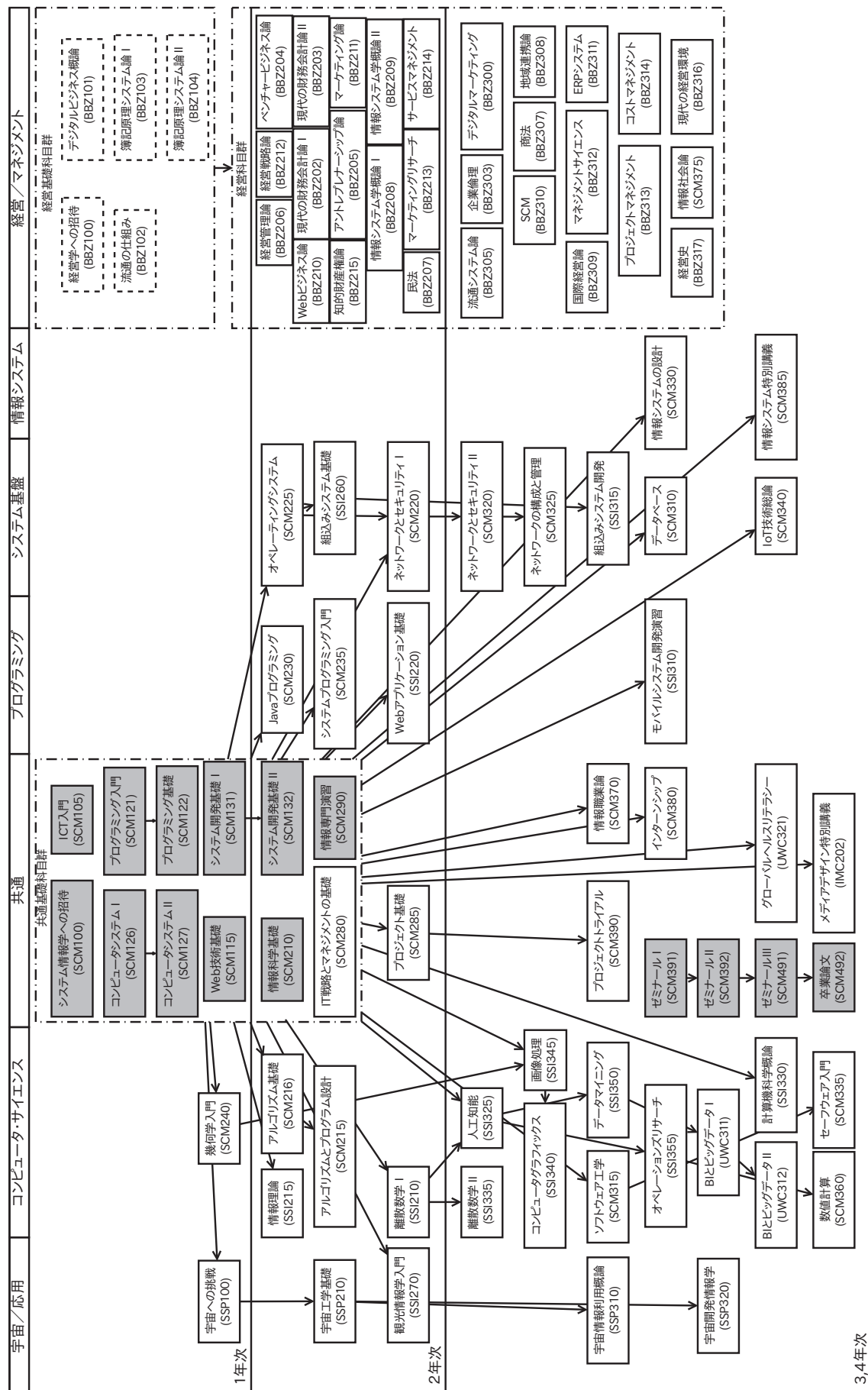
学部教育課程
履修モデル
習得目標卒業に必要な
科目と単位

一授業科目

一年次配当科目

システム情報学科 専門科目履修系統図

システム情報学科専門科目履修系統図



単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

試験
お
よ
び
成績
評価

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

学部
教育
課程
履修
モデル

卒業
に
必
要
な
科目
履修
単
位

授
業
科
目
表

一
年
次
配
当
科
目
表

システム情報学科 コース別推奨科目

	科 目 名	配当 年次	単位数	システムエンジニア	情報科学	宇宙情報システム
情報系基礎科目	ICT入門	1	2	必修	必修	必修
	コンピュータシステムⅠ	1	2	必修	必修	必修
	コンピュータシステムⅡ	1	2	必修	必修	必修
	情報科学基礎	2	2	必修	必修	必修
	プログラミング入門	1	4	必修	必修	必修
	プログラミング基礎	1	4	必修	必修	必修
	Web技術基礎	1	2	必修	必修	必修
	システム開発基礎Ⅰ	1	2	必修	必修	必修
	システム開発基礎Ⅱ	2	2	必修	必修	必修
	情報専門演習	2	2	必修	必修	必修
	システム情報学への招待	1	2	必修	必修	必修
経営基礎科目	経営学への招待	1	2			
	デジタルビジネス概論	1	2			
	流通の仕組み	1	2			
	簿記原理システム論Ⅰ	1	2			
	簿記原理システム論Ⅱ	1	2			
情報系専門必修科目	ゼミナールⅠ	3	2	必修	必修	必修
	ゼミナールⅡ	3	2	必修	必修	必修
	ゼミナールⅢ	4	2	必修	必修	必修
	卒業論文	4	4	必修	必修	必修
情報系専門選択科目	宇宙への挑戦	1	2			○
	幾何学入門	1	2			
	宇宙工学基礎	2	2			○
	観光情報学入門	2	2			
	組込みシステム基礎	2	2			
	アルゴリズム基礎	2	2	○	○	○
	アルゴリズムとプログラム設計	2	2	○	○	○
	Javaプログラミング	2	4	○		
	離散数学Ⅰ	2	2		○	
	ネットワークとセキュリティⅠ	2	2	○		○
	情報理論	2	2		○	
	Webアプリケーション基礎	2	2	○		○
	システムプログラミング入門	2	4	○		○
	オペレーティングシステム	2	2	○		○
	IT戦略とマネジメントの基礎	2	2			
	プロジェクト基礎	2	2	○		
	インターンシップ	3	2	※	※	※
	情報職業論	3・4	2			
	情報社会論	3・4	2			
	情報システム特別講義	3・4	2			
	メディアデザイン特別講義	3・4	2			
	宇宙開発情報学	3・4	2			○
	宇宙情報利用概論	3・4	2			○
	モバイルシステム開発演習	3・4	4	○		
	データベース	3・4	4	○		
	ソフトウェア工学	3・4	2	○		

情報系専門選択科目	ネットワークとセキュリティⅡ	3・4	2	○		○
	ネットワークの構成と管理	3・4	2	○		○
	情報システムの設計	3・4	4	○		○
	組込みシステム開発	3・4	2			
	人工知能	3・4	2		○	
	計算機科学概論	3・4	2		○	
	離散数学Ⅱ	3・4	2		○	
	コンピュータグラフィックス	3・4	2		○	
	画像処理	3・4	2		○	
	データマイニング	3・4	2		○	
	オペレーションズリサーチ	3・4	2		○	
	数値計算	3・4	2		○	
	セーフウェア入門	3・4	2	○		○
	IoT技術総論	3・4	2	○		○
経営系専門科目	情報システム学概論Ⅰ	2	2	○		
	情報システム学概論Ⅱ	2	2	○		
	経営戦略論	2	2			
	経営管理論	2	2			
	Webビジネス論	2	2			
	ベンチャービジネス論	2	2			
	知的財産権論	2	2			
	アントレプレナーシップ	2	2			
	民法	2	2			
	サービスマネジメント	2	2			
	マーケティング論	2	2			
	マーケティングリサーチ	2	2			
	現代の財務会計論Ⅰ	2	2			
	現代の財務会計論Ⅱ	2	2			
	デジタルマーケティング	3・4	2			
	コストマネジメント	3・4	2			
	企業倫理	3・4	2			
	経営史	3・4	2			
	商法	3・4	2			
	流通システム論	3・4	2			
	マネジメントサイエンス	3・4	2			
	プロジェクトマネジメント	3・4	2			
	SCM	3・4	2			
	ERPシステム	3・4	2			
	国際経営論	3・4	2			
	地域連携論	3・4	2			
	現代の経営環境	3・4	2			
横断科目	BIとビッグデータⅠ	3・4	2			
	BIとビッグデータⅡ	3・4	2			
	プロジェクトトライアル	3・4	2			
	グローバルヘルスリテラシー	3・4	2			

○：各コースで履修するのが望ましい

※：担当教員の認定が必要

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
要
求習
得
単
位
と
な
る一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
目
表
目

システム情報学科 コンピテンシーコース関連マップ

単位 制度 授 業 カリ キュ ラム 履 修 登 録 成 試 験 お よ び 卒 業 教 職 課 程 留 意 の 事 項 履 修 モ デ ル 卒 業 に 必 要 な 一 授 業 科 表 目 一 年 次 配 当 科 表 目		システム エンジニア	情報科学	宇宙情報 システム
C1	コンピュータサイエンス、ソフトウェア工学、ネットワーク、セキュリティ、データベースに関する基礎知識を体系的に説明できる。	○	○	○
C2	ソフトウェア開発技術を使った情報システム開発の一端を担うことができる。	○		○
C3	コンピュータサイエンスに関する基礎知識を使って、ビッグデータなどを分析し、適切な解決案を提案できる。		○	
C4	経営分野の知識やICT（情報通信技術）を使って、様々な課題に対する問題解決案を提案できる。		○	
C5	宇宙科学の基礎的な知識について簡単に説明できる。			○
C6	高品質・高信頼性ソフトウェア開発に関する基礎知識を体系的に説明できる。			○
C10	対象領域に関する基礎的な知識について簡単に説明できる	○	○	○
C11	システム情報学科で学ぶ意義を自分なりに説明できる。	○	○	○
C12	自分で課題を発見することができる。	○	○	○
C13	与えられた課題に対し、問題点を見極め、解決に必要な知識や技術を修得し、課題の対処策や解決策を実行できる。	○	○	○
C14	与えられた課題について、調査、考察し、論理的にかつ分かりやすく説明し、また、文書化することができる。	○	○	○
C15	自分で調査・考察したことや対処策や解決策について、議論することができる。	○	○	○
C16	自己表現と協調性をバランスよく発揮できる。	○	○	○
C21	教職（情報）に必要な専門知識について簡単に説明できる。	※	※	※
C22	教職（数学）に必要な専門知識について簡単に説明できる。	※	※	※

※：コースに関わらず、教職科目を履修するものが対象

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー															
	①	②	③	④	⑤	⑥	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C21	C22	
ICT入門		○					○															
コンピュータシステムⅠ		○					○														○	
コンピュータシステムⅡ		○					○														○	
情報科学基礎		○					○															○
プログラミング入門		○					○														○	
プログラミング基礎		○					○															
Web技術基礎		○					○														○	
システム開発基礎Ⅰ		○					○														○	
システム開発基礎Ⅱ		○					○														○	
情報専門演習	○			○	○											○	○	○	○	○		
システム情報学への招待	○													○								
経営学への招待		○								○												
デジタルビジネス概論		○								○												
流通の仕組み		○								○												
簿記原理システム論Ⅰ		○								○												
簿記原理システム論Ⅱ		○								○												
ゼミナールⅠ	○			○	○											○	○	○	○	○		
ゼミナールⅡ	○			○	○											○	○	○	○	○		
ゼミナールⅢ	○			○	○											○	○	○	○	○		
卒業論文	○			○	○											○	○	○	○	○		
宇宙への挑戦		○									○											
幾何学入門		○																				○
宇宙工学基礎		○									○											
観光情報学入門				○									○									
組込みシステム基礎		○		○									○								○	
アルゴリズム基礎		○						○	○													
アルゴリズムとプログラム設計		○					○														○	
Javaプログラミング		○					○															
離散数学Ⅰ		○					○															○
ネットワークとセキュリティⅠ		○					○														○	
情報理論		○					○															○
Webアプリケーション基礎		○					○														○	
システムプログラミング入門		○					○															
オペレーティングシステム		○					○															
IT戦略とマネジメントの基礎		○						○	○	○												
プロジェクト基礎					○											○	○					
インターンシップ	○			○	○											○	○	○	○	○		
情報職業論		○								○											○	
情報社会論		○								○											○	
情報システム特別講義		○						○		○												
メディアデザイン特別講義		○								○												
宇宙開発情報学		○									○	○										
宇宙情報利用概論		○									○											

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要習
履
修
得
単
位
と
な
る一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

経営情報学部

システム情報学科（2020年度入学生～）

単位 制度	授	業	カリ キュ ラム	履 修 登 録	成試 験 お よ び 績	卒	業	教 職 課 程	留そ 意の 事他 項の	履修 モデル	習履 得修 単科 位と	一授 業 覧 表	一年 次 配 当 表	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目
----------	---	---	----------------	------------------	-----------------------------	---	---	------------------	----------------------	-----------	----------------------	-------------------	------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

医療情報学科

1. 概要

高齢化および少子化のわが国において、医療の崩壊を防ぎ、質の高い高度医療サービスを提供することが今後ますます求められてきます。そのためには、診療情報マネジメント、医療情報システム、食と健康と情報、医療機器技術が重要な課題となってきます。具体的には、診療情報を基盤とした医療の質の向上および医療の安全性確保のための情報コミュニケーション技術（ICT）、食を基盤とした情報を活用した健康増進、多様化する医療機器の理解および開発などがあります。医療情報学科では、こうした社会で要請される医療環境の変革に対応し、情報化社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材の育成とともに、幅広い教養、専門性の高い医学・診療情報、高度医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理に関する知識および技術を修得することが必要と考えています。こういったニーズに答えるために、診療情報管理専攻においては、診療情報管理コースおよび健康情報科学コースの2つの履修コース、臨床工学専攻においては、臨床工学技士コースの1つの履修コースを設けています。診療情報管理コースでは、医療事務技能審査試験、医師事務作業補助者技能認定、診療報酬請求事務能力検定、診療情報管理士認定試験、医療情報技師能力検定などの資格取得も目標としています。健康情報科学コースでは、健康食品管理士の資格取得も目標としています。臨床工学技士コースでは、第2種MEを始めてとして最終的には国家資格である臨床工学技士試験の合格を目標としています。そのために、各コースにおいて、共通教育科目、専門教育科目をバランスよく配置し、つぎの履修モデルコースを用意しています。

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履修モデル
学部・学科の概要卒業に必要
な科目と
履修単
位一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

2. 履修モデルコース概要

	コース名	コース概要	主な進路	関連資格
単位 制度 授 業 カリ キュ ラム 履 修 登 録 成 試 験 お よ び 績 び 卒 業 教 職 課 程 留 意 の 事 項 履 修 モ デ ル 課 程 卒 業 に 必 要 な 一 覧 表 目 一 年 次 配 当 表 目	診療情報管理 コース	基礎的医学知識、医療事務、診療情報管理、医療情報システム、医療管理について体系的かつ横断的に学習します。具体的には、臨床医学などの基礎的医学知識、医療事務総論や病院管理論などの医療事務、診療情報管理学やがん登録概論などの診療情報管理、コンピュータシステムやネットワークセキュリティなどの医療情報システム、医療経営戦略論などの医療管理の知識を身につけます。さらに、コミュニケーション能力や実践力を高めるために、病院実習およびゼミナールにおける体験的学習のカリキュラムが組まれています。	診療情報管理士	診療情報管理士（日本病院会認定資格）
			医療事務スタッフ 医療情報担当者	診療報酬請求事務能力検定（日本医療保険事務協会認定資格）
			医師事務作業補助者	医師事務作業補助者技能認定（全日本病院協会・日本医療教育財団認定資格）
			メディカル・クラーク	医療事務技能審査認定（日本医療教育財団認定資格）
			医療秘書	医療秘書技能検定（医療秘書教育全国協議会認定資格）
			医療情報技師 医療技術開発研究スタッフ	医療情報技師能力検定（日本医療情報学会認定資格）
			医療機関の事務スタッフ	ITパスポート試験（国家資格）
			ソフトウェア会社スタッフ	基本情報技術者試験（国家資格）
			医療情報管理会社スタッフ	
			病院経営担当者 医療経営コンサルタント	
	健康情報科学 コース	医学および栄養学と食品化学、バイオインフォマティクス、情報処理技術を体系的に学習します。具体的には、幅広い基礎医学知識を習得するとともに、栄養学や食品化学、食品関係法規、人のライフステージに合わせた食デザイン、また、生化学・分子生物学の基礎的知識や遺伝子などの生命情報を解析するバイオインフォマティクス、医療や保健分野の情報技術者としてのコンピュータシステムやプログラミング言語などを学びます。医療・食と健康・情報分野を横断的に理解し、幅広い視点で健康増進や疾病予防に関わる課題に取り組む人材として社会に貢献できる能力を高めるためのカリキュラムが組まれています。	食品関連会社スタッフ	健康食品管理士（日本食品安全協会） 食品衛生責任者（北海道食品衛生協会）
			医薬品関連会社スタッフ	中・上級バイオ技術認定（日本バイオ技術教育学会）
			医薬情報担当者	バイオインフォマティクス技術者認定（日本バイオインフォマティクス学会認定資格）
臨床工学専攻	臨床工学技士 コース	臨床工学技士国家試験受験のために必要な医学、工学のカリキュラムに加え情報の内容をそれぞれ基礎から応用に向けて配置しています。それぞれのカリキュラムは講義による基礎的な内容の学習からはじまり、より臨床に近い応用的な内容となっており、さらに実験・実習により深く理解できるよう配置されています。これらの学内における講義・実習をもとに病院実習および卒業研究において将来に向けて発展できる能力を高めるカリキュラムが組まれています。	臨床工学技士（CE）	臨床工学技士国家試験（国家資格）
			メディカルエンジニア（ME）	第2種ME技術実力検定（日本生体医工学会認定資格）
			医療機器開発会社スタッフ 医療機器販売会社スタッフ	第2種ME技術実力検定（日本生体医工学会認定資格）

3. 教育方法

医療情報学科では、単に大学知識の導入と専門技術の修得に止まることなく、幅広い医学・医療の知識と深い専門知識を修得し、さらには専門技術を身につけることを前提とした教育を行います。以下に、本学科の目指す主たる教育を列記します。

- ・ 講義、演習、実習による総合教育
- ・ 各コースの専門的特徴を生かした知識と技術の修得を目指す教育
- ・ 卒後進路の拡大を目指す教育
- ・ 専門能力の高揚と資格取得を目指す教育

4. コース別カリキュラムポイント

診療情報管理専攻では、3学年より将来の希望に沿って2つの履修コースにわかれますが、学科内の全ての講義は受講可能であり、どのコースにおいても幅広い知識と技術を修得することができ、また医療や情報に関わる多くの資格を受験することができます。

●診療情報管理コース

診療情報・医療情報・医学の専門的知識を修得し、診療情報管理や高度医療医事管理およびその利用に関する知識と技術を学びます。また、電子カルテなど病院特有の情報管理システム運用・管理、情報技術、経営資源およびICTを活用した経営管理についても学びます。

●健康情報科学コース

医学・健康・食・情報についての基礎的かつ実践的な知識と技術を幅広く学びます。健康や病気との関わりが大きい食品や栄養、遺伝子、さらにはそれらの情報の利活用について学びます。知識や情報を健康増進と維持に役立てる力（ヘルスリテラシー）を高め、それらの社会還元について実践的な科目や活動を通して学びます。

●臨床工学技士コース

臨床工学技士育成のための基礎科目および専門科目からなる教育カリキュラムと、本学ならではの情報教育、基礎教養科目を学びます。臨床工学に関する教育カリキュラムでは物理・化学・生物・数学といった基礎科目から学習し、解剖学や生理学から臨床医学に関する医学系科目、電気工学から医療機器につながる工学系の科目へと進んでいきます。また、学内での実験実習に続き、病院での臨床実習に移り、臨床工学技士への心構えと実践的内容を学びます。基礎教養科目は社会人として必要な語学や人文社会といった幅広い科目を学びます。

5. コース別履修推薦科目

●診療情報管理コース

1年次においては、語学や数学などの共通・教養科目、臨床医学総論・解剖学・生理学・病理学などの基礎医学関連科目、さらにICT入門やコンピューターシステム・プログラミング入門などの情報科目を履修します。2年次においては、医療制度論・診療情報管理学・医療倫理概説・ネットワークとセキュリティ・臨床医学などの専門科目を履修します。3年次においては、臨床医学・国際医療統計分類・診療情報管理学演習・DPCマネジメント概説・病院情報システム概説・医療情報演習応用などの専門科目を履修します。4年次においては、専門課程における集大成として卒業論文を中心に専門科目を履修します。

●健康情報科学コース

1年次においては、語学や数学などの共通・教養科目、臨床医学総論・解剖学・生理学・病理学などの基礎医学関連科目、さらにICT入門やコンピューターシステム・プログラミング入門などの情報科目を履修します。2年次においては、医療制度論・医療倫理概説・ネットワークとセキュリティ・臨床医学などの専門科目を履修します。3年次においては、バイオテクノロジー、分子生物学、臨床検査概論、バイオインフォマティクス概論、バイオインフォマティクス演習、栄養学、食品化学などの専門科目を履修します。4年次においては、専門課程における集大成として卒業論文を中心に専門科目を履修します。

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および

卒

業教職課程

留その他頂の

履修モデル

習履卒業に必要単位とな

一授業科目表目

一年次配当科目表目

●臨床工学技士コース

1年次においては、語学や数学などの共通・教養科目、解剖学・生理学・病理学などの基礎医学関連科目、電子工学・電気工学などの臨床工学関連科目、ICT入門などの情報科目を履修します。2年次においては、臨床医学、物性工学、計測工学、臨床工学基礎実験などの専門科目を履修します。3年次においては、医用機器学実習、医用治療機器学演習、生体機能代行装置学を履修し、後期からは病院実習を履修します。4年次においては、臨床工学関連法規、医用機器システム管理学などを履修するとともに、集大成としての卒業論文を中心に専門科目を履修します。

6. 取得可能資格試験

本学科で、取得可能もしくは受験可能な各種資格は以下の通りであり、それぞれの資格試験に対する対策講座が時系列に開講されます。

- ・診療情報管理士認定試験；①民間資格 ②指定科目の履修が必要 ③診療情報管理専攻のみ受験可
- ・医療情報技師能力検定；①民間資格
- ・健康食品管理士；①民間資格 ②指定科目の履修が必要 ③診療情報管理専攻のみ受験可
- ・臨床工学技士国家試験；①国家資格 ②指定科目の履修が必要 ③臨床工学専攻のみ受験可
- ・診療報酬請求事務能力検定；①民間資格
- ・医師事務作業補助者技能検定；①民間資格
- ・医療秘書技能検定；①民間資格
- ・医療事務技能審査認定；①民間資格
- ・ITパスポート試験；①国家資格
- ・基本情報技術者試験；①国家資格
- ・バイオインフォマティクス技術者認定；①民間資格
- ・中級・上級バイオ検定；①民間資格
- ・食品衛生責任者；①民間資格
- ・第2種ME技術実力検定；①民間資格

医療情報学科 人材像とコンピテンシー

学科名	医療情報学科	診療情報管理専攻	診療情報管理コース
①人材像			
(a)	専門的医学知識や医療情報システムを基盤とした情報処理技術を活用して、診療情報や医療情報の管理・運営ができる人材。		
(b)	生涯にわたり最新の医学・診療情報学、医療情報技術を学び社会に還元できる人材。幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材。		
(c)	医療情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えた人材。医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材。人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人材。円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材。		
②コンピテンシー			
A-1	診療情報の管理ができ高度医療事務に対応できる。		
A-2	診療情報および医療情報を管理・分析し総合的に活用ができる。		
A-3	最新のIT技術を駆使して適切な医療情報システムの構築・運営ができる。		

学科名	医療情報学科	診療情報管理専攻	健康情報科学コース
①人材像			
(a)	食と健康に関する専門的知識をもとに、健康情報を管理・分析ができ、ヘルスリテラシー向上を推進できる人材。		
(b)	生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報技術、食と健康と情報を学び社会に還元できる人材。		
(c)	幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材。医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材。人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人材。円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材。		
②コンピテンシー			
B-1	食品の機能性・安全性、栄養について理解し、情報技術を医療および健康分野へ応用できる。		
B-2	バイオインフォマティクスの基礎知識を理解し、情報技術を医療および健康分野へ応用できる。		
B-3	ICT技術を用いて健康情報の処理・管理を実践し、ヘルスリテラシー向上に貢献できる。		

学科名	医療情報学科	臨床工学専攻	臨床工学技士コース
①人材像			
(a)	専門的医学知識、高度かつ多様化する医療機器に対応できる基礎的知識を修得し、指導的立場となる臨床工学技術を駆使し、指導的立場となる人材。		
(b)	生涯にわたり最新の生命維持管理を学び社会に還元できる人材。		
(c)	医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材。人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人材。円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材。		
②コンピテンシー			
C-1	臨床工学技士に必要な基礎的な医学知識や臨床医学に関する知識を応用できる。		
C-2	臨床工学技士に必要な基礎的な工学的知識を理解し、生命維持装置や医療計測・治療機器の保守管理を安全に行うことができる能力に加え、IT技術を基盤とした医療情報技術を実践できる。		
C-3	医療機関におけるマネジメントに関する知識や、患者の健康維持に必要な食品・栄養に関する知識を有しており、患者や他の職種との円滑なコミュニケーションをとることができ、医療の高度化に貢献できる。		

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および

卒

業教職課程

留その事他頂の

履修モデル

習履得単位

一授業覧表

一年次配当科目表

診療情報管理専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び

卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程

卒
業
に
必
要
な
単
位
と
な
る
授
業
科
表
目

一
年
次
配
当
科
目
表
目

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー					
	①	②	③	④	⑤	⑥	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3
医学概論	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
臨床医学総論	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
解剖学	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
生理学	○	○					○	○		○	○	
医学用語概説	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
医療制度論	○	○	○		○	○	○	○	○			
医療倫理概説	○	○					○	○		○		
病理学	○	○					○	○		○	○	
生化学	○	○					○	○		○	○	
看護学概論	○	○					○	○		○		
福祉総論	○	○					○	○		○		
臨床検査概論	○	○			○			○		○		○
薬理学	○	○			○			○		○		○
医用工学概論	○	○			○			○				
臨床医学Ⅰ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
臨床医学Ⅱ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
臨床医学Ⅲ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
臨床医学Ⅳ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
公衆衛生学	○	○					○	○		○		
医療安全管理学	○	○				○		○	○	○		
バイオインフォマティクス概論	○	○					○	○			○	
分子生物学	○	○					○	○		○	○	
栄養学	○	○								○		
食品化学	○	○								○		
食品関係法規	○	○								○		
ライフステージ食デザイン	○	○								○		
医用機器システム管理学	○	○			○		○	○	○			
医療情報学概論	○	○	○		○	○	○	○	○			○
医療事務総論	○	○					○	○				
病院管理論	○	○					○	○				
医療秘書概論	○	○		○			○	○				
診療情報管理学Ⅰ	○	○					○	○				
診療情報管理学Ⅱ	○	○					○	○				
診療情報管理学演習Ⅰ	○	○					○	○				
診療報酬請求事務論	○	○					○	○				
診療報酬請求事務論演習	○	○					○	○				
医療統計学	○	○	○	○	○			○		○	○	○
診療情報管理学Ⅲ	○	○					○	○				
診療情報管理学演習Ⅱ	○	○					○	○				
国際医療統計分類Ⅰ	○	○					○	○				
国際医療統計分類Ⅱ	○	○					○	○				

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー					
	①	②	③	④	⑤	⑥	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3
がん登録概論	○	○					○	○				
放射線医科学概論	○	○				○		○	○			
病院情報システム概説Ⅰ	○	○				○		○	○			
病院情報システム概説Ⅱ	○	○				○		○	○			
医療情報演習応用	○	○	○		○	○	○	○	○			
DPCマネジメント概説	○	○				○		○				
医療経営戦略論	○	○				○		○				
医療マーケティング論	○	○				○		○				
医療経営演習	○	○				○		○				
医療経済学概論	○	○				○		○		○		
ICT入門		○				○	○		○			○
コンピュータシステムⅠ		○				○	○		○			○
コンピュータシステムⅡ		○				○	○		○			○
プログラミング入門		○				○	○		○			○
Javaプログラミング基礎演習Ⅰ		○				○	○		○			○
Javaプログラミング基礎演習Ⅱ		○				○	○		○			○
Web技術基礎		○				○	○		○			○
システム開発基礎Ⅰ		○				○	○		○			○
ネットワークとセキュリティⅠ		○				○	○		○			○
ネットワークとセキュリティⅡ		○				○	○		○			○
情報社会論	○	○	○		○	○	○	○	○			
情報職業論	○	○	○		○	○	○	○	○			
画像処理		○				○	○		○			○
メディアデザイン特別講義		○				○	○		○			○
情報システム特別講義		○				○	○		○			○
データサイエンス	○	○			○	○	○		○		○	○
医療情報特別講義	○	○	○		○	○	○	○	○			○
病院実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
医療情報演習	○	○				○		○	○	○		
バイオテクノロジー実習	○	○								○	○	
ゼミナールⅠ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅡ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅢ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
卒業論文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グローバルヘルスリテラシー	○	○	○	○	○					○	○	○
プロジェクトトライアル	○	○	○	○	○					○	○	○
BⅠとビッグデータⅠ		○										○
BⅠとビッグデータⅡ		○										○

単位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
要
要習
履
修
に
必
要
な
単
位
と
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
目
表
目

臨床工学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び

卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル

習
得
単
位
と

一
授
業
覧
科
表
目

一
年
次
配
当
科
目
表
目

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー		
	①	②	③	④	⑤	⑥	C-1	C-2	C-3
医学概論	○						○		
臨床医学総論	○						○		
解剖学	○						○		
生理学	○						○		
病理学	○						○		
医療制度論	○						○		
医療倫理概説	○						○		
生化学	○						○		
看護学概論	○		○	○		○	○		○
福祉総論	○		○	○		○	○		○
臨床検査概論	○						○		
薬理学	○						○		
医用工学概論	○	○					○	○	
臨床医学Ⅰ	○						○		
臨床医学Ⅱ	○						○		
臨床医学Ⅲ	○						○		
臨床医学Ⅳ	○						○		
循環器学	○	○					○	○	
呼吸器学	○	○					○	○	
麻酔学	○	○					○	○	
手術・集中治療学	○	○					○	○	
泌尿器学	○	○					○	○	
免疫学	○						○		
臨床工学関係法規	○						○		
公衆衛生学	○						○		
医療安全管理学	○	○					○	○	
栄養学		○	○	○		○		○	○
食品化学		○	○	○		○		○	○
医療情報学概論		○						○	
医療統計学	○	○					○	○	
医療経営概論		○	○	○		○		○	○
放射線医科学概論	○	○	○	○		○	○	○	○
病院情報システム概説Ⅰ	○	○	○	○		○	○	○	○
病院情報システム概説Ⅱ	○	○	○	○		○	○	○	○
医療経営戦略論	○		○	○		○			○
医療マーケティング論			○	○		○			○
医療経営演習			○	○		○			○
ICT入門		○	○	○		○		○	○
コンピュータシステムⅠ		○						○	
コンピュータシステムⅡ		○						○	
プログラミング入門		○						○	
Javaプログラミング基礎演習Ⅰ		○						○	
Javaプログラミング基礎演習Ⅱ		○						○	
Web技術基礎		○						○	

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー		
	①	②	③	④	⑤	⑥	C-1	C-2	C-3
システム開発基礎Ⅰ		○						○	
ネットワークとセキュリティⅠ		○						○	
ネットワークとセキュリティⅡ		○						○	
情報社会論		○						○	
画像処理		○						○	
メディアデザイン特別講義		○						○	
データサイエンス		○						○	
医療情報特別講義	○	○	○	○		○	○	○	○
応用数学Ⅰ		○						○	
応用数学Ⅱ		○						○	
電子工学Ⅰ		○						○	
電子工学Ⅱ		○						○	
電気工学Ⅰ		○						○	
電気工学Ⅱ		○						○	
臨床工学基礎実験		○	○	○		○		○	○
機械工学		○						○	
物性工学		○						○	
材料工学		○						○	
計測工学		○						○	
医用治療機器学	○	○					○	○	
医用治療機器学演習	○	○					○	○	
生体計測装置学	○	○					○	○	
生体計測装置学演習	○	○					○	○	
医用機器システム管理学	○	○					○	○	
医用機器学実習	○	○					○	○	
生体機能代行装置学Ⅰ	○	○					○	○	
生体機能代行装置学Ⅱ	○	○					○	○	
生体機能代行装置学Ⅲ	○	○					○	○	
生体機能代行装置学Ⅳ	○	○					○	○	
生体機能代行装置学実習Ⅰ	○	○					○	○	
生体機能代行装置学実習Ⅱ	○	○					○	○	
臨床実習	○	○	○	○		○	○	○	○
ゼミナール	○	○	○	○		○	○	○	○
卒業論文	○	○	○	○		○	○	○	○
グローバルヘルスリテラシー	○	○	○	○		○	○	○	○
プロジェクトトライアル		○	○	○		○		○	○
BⅠとビッグデータⅠ		○	○	○		○		○	○
BⅠとビッグデータⅡ		○	○	○		○		○	○

単位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
要
求習
履
修
得
単
位
と
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

各コースの履修推薦科目

分野	科 目 名	配当年次と単位数			診療情報管理				健康情報科学			
		配当年次	必修	選択	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
医学	医学概論	1	2		必修				必修			
	臨床医学総論	1	2		必修				必修			
	解剖学	1	2		必修				必修			
	生理学	1	2		必修				必修			
	医学用語概説	2	2			必修				必修		
	医療制度論	2	2			必修				必修		
	医療倫理概説	2	2			必修				必修		
	病理学	1		2	○				○			
	生化学	2		2						○		
	看護学概論	2		2		○				○		
医療	福祉総論	2		2		○				○		
	臨床検査概論	2		2		○				○		
	薬理学	2		2		○				○		
	医用工学概論	2		2		○				○		
	臨床医学Ⅰ	2		2		○				○		
	臨床医学Ⅱ	2		2		○				○		
	臨床医学Ⅲ	3・4		2			○				○	
	臨床医学Ⅳ	3・4		2			○				○	
	公衆衛生学	3・4		2			○				○	
	医療安全管理学	3・4		2			○				○	
科目	バイオインフォマティクス概論	3・4		2							○	
	分子生物学	3・4		2							○	
	栄養学	3・4		2							○	
	食品化学	2		2							○	
	食品関係法規	3・4		1							○	
	ライフステージ食デザイン	3・4		1							○	
	医用機器システム管理学	4		1				○				
	医療情報学概論	1	2		必修				必修			
	医療事務総論	1	2		必修				必修			
	病院管理論	2		2		○						
医療情報システム科目	医療秘書概論	2		1		○						
	診療情報管理学Ⅰ	2		2		○						
	診療情報管理学Ⅱ	2		2		○						
	診療報酬請求事務論	1		2		○						
	診療報酬請求事務論演習	2		2		○						
	医療統計学	2		2		○				○		
	診療情報管理学Ⅲ	3・4		2			○					
	診療情報管理学演習Ⅰ	3・4		2			○					
	診療情報管理学演習Ⅱ	3・4		2			○					

分野	科 目 名	配当年次と単位数			診療情報管理				健康情報科学			
		配当年次	必修	選択	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
医療情報システム科目	国際医療統計分類Ⅰ	3・4		2			○					
	国際医療統計分類Ⅱ	3・4		2			○					
	がん登録概論	3・4		1			○					
	放射線医科学概論	3・4		2			○				○	
	病院情報システム概説Ⅰ	3・4		1			○					
	病院情報システム概説Ⅱ	3・4		1			○					
	医療情報演習応用	3・4		1			○				○	
	DPCマネジメント概説	3・4		2			○					
	医療経営戦略論	3・4		2			○					
	医療マーケティング論	3・4		2			○					
	医療経営演習	4		2				○				
	医療経済学概論	3・4		2			○					
情報科目	ICT入門	1	2		必修				必修			
	コンピュータシステムⅠ	1	2		必修				必修			
	コンピュータシステムⅡ	2	2			必修				必修		
	プログラミング入門	1	2		必修				必修			
	Javaプログラミング基礎演習Ⅰ	1		2	○				○			
	Javaプログラミング基礎演習Ⅱ	1		2		○				○		
	Web技術基礎	2		2		○				○		
	システム開発基礎Ⅰ	2		2		○				○		
	ネットワークとセキュリティⅠ	2		2		○				○		
	ネットワークとセキュリティⅡ	3・4		2			○				○	
	情報社会論	3・4		2			○				○	
	情報職業論	3・4		2			○				○	
	画像処理	3・4		2			○				○	
	メディアデザイン特別講義	3・4		2								
	情報システム特別講義	3・4		2			○					
	データサイエンス	3・4		1								
	医療情報特別講義	3・4		2			○				○	
演習科目	病院実習	2		2		○						
	医療情報演習	2	2			必修				必修		
	バイオテクノロジー実習	3		2							○	
	ゼミナールⅠ	3	2				必修					
	ゼミナールⅡ	3	2				必修				必修	
	ゼミナールⅢ	4	2					必修				必修
	卒業論文	4	2					必修				必修
学部横断科目	グローバルヘルスリテラシー	3・4		2							○	
	プロジェクトトライアル	2		2		○				○		
	BIとビッグデータⅠ	3・4		2							○	
	BIとビッグデータⅡ	3・4		2							○	

単位制度
授業
カリキュラム
履修登録成試験および
卒業
教職課程留その他
事項の履修モデル
教育部門の概要卒業に必要な
科目と単位一授業科目
表目一年次
配当科目
表目

各コースの履修推薦科目

分野	科 目 名	配当年次と単位数			臨床工学技士			
		配当年次	必修	選択	1年	2年	3年	4年
医 学	医学概論	1	2		必修			
	臨床医学総論	1	2		必修			
	解剖学	1	2		必修			
	生理学	1	2		必修			
	病理学	1	2		必修			
	医療制度論	2	2			必修		
	医療倫理概説	3	2				必修	
	生化学	2	2			必修		
	看護学概論	2	2			必修		
	福祉総論	2		2		○		
	臨床検査概論	2	2			必修		
	薬理学	2	2			必修		
	医用工学概論	1	2		必修			
	臨床医学Ⅰ	2	2			必修		
	臨床医学Ⅱ	2	2			必修		
	臨床医学Ⅲ	3	2				必修	
	臨床医学Ⅳ	3	2				必修	
	循環器学	3	1				必修	
	呼吸器学	3	1				必修	
医 療 科 目	麻酔学	4	1					必修
	手術・集中治療学	4	1					必修
	泌尿器学	3	1				必修	
	免疫学	4	1					必修
	臨床工学関係法規	4	1					必修
	公衆衛生学	4	2					必修
	医療安全管理学	2	2				必修	
	栄養学	4		2				○
	食品化学	3・4		2			○	
医 療 情 報 シ ス テ ム 科 目	医療情報学概論	1	2		必修			
	医療統計学	2		2		○		
	医療経営概論	3・4		2				
	放射線医科学概論	3	2				必修	
	病院情報システム概説Ⅰ	4	1					必修
	病院情報システム概説Ⅱ	4		1				○
	医療経営戦略論	4		2				○
	医療マーケティング論	4		2				○
情 報 科 目	医療経営演習	4		2				○
	ICT入門	1	2		必修			
	コンピュータシステムⅠ	2	2			必修		
	コンピュータシステムⅡ	3	2				必修	

分野	科 目 名	配当年次と単位数			臨床工学技士			
		配当年次	必修	選択	1年	2年	3年	4年
情報科目	プログラミング入門	2	2			必修		
	Javaプログラミング基礎演習Ⅰ	1		2		○		
	Javaプログラミング基礎演習Ⅱ	1		2			○	
	Web技術基礎	4		2				○
	システム開発基礎Ⅰ	2		2		○		
	ネットワークとセキュリティⅠ	2		2		○		
	ネットワークとセキュリティⅡ	3・4		2			○	
	情報社会論	3・4		2			○	
	画像処理	4		2				○
	メディアデザイン特別講義	3・4		2			○	
	データサイエンス	4		1				○
	医療情報特別講義	3・4		2			○	
医学工学科目	応用数学Ⅰ	1	2		必修			
	応用数学Ⅱ	1	2		必修			
	電子工学Ⅰ	1	1		必修			
	電子工学Ⅱ	2	1			必修		
	電気工学Ⅰ	1	1		必修			
	電気工学Ⅱ	2	1			必修		
	臨床工学基礎実験	2	2			必修		
	機械工学	2	2			必修		
	物性工学	2	1			必修		
	材料工学	1	1		必修			
	計測工学	2	1			必修		
	医用治療機器学	2	2			必修		
	医用治療機器学演習	3	1				必修	
	生体計測装置学	2	2			必修		
	生体計測装置学演習	3	1				必修	
	医用機器システム管理学	4	1					必修
	医用機器学実習	3	1				必修	
	生体機能代行装置学Ⅰ	2	2			必修		
	生体機能代行装置学Ⅱ	2	2			必修		
	生体機能代行装置学Ⅲ	3	2				必修	
	生体機能代行装置学Ⅳ	3	2				必修	
	生体機能代行装置学実習Ⅰ	3	2				必修	
	生体機能代行装置学実習Ⅱ	3	2				必修	
演習科目	臨床実習	3	4				必修	
	ゼミナール	4	2					必修
	卒業論文	4	2					必修
学部横断科目	グローバルヘルスリテラシー	3・4		2			○	
	プロジェクトトライアル	4		2				○
	BⅠとビッグデータⅠ	4		2				○
	BⅠとビッグデータⅡ	4		2				○

単位制度
授業
カリキュラム

履修登録

成試験および
卒業
教職課程留その他
事項の履修モデル
教育部門の概要卒業に必要な
科目と単位一授業科目
表目一年次
配当科目
表目

情報メディア学科

1. 学科の概要

現在のIT社会の基盤は、コンピュータとモバイル端末、そしてネットワークが融合したインターネットである。

インターネット上で多彩なコミュニケーションを効果的に実現するためには、情報を正確にそして安心安全にやりとりするための技術に加え、受け手にとって価値のある情報となるように、文章やイラスト、映像などの表現も重要となる。また、インターネット関連の技術分野でも、Webアプリケーション開発、Webサーバの構築、ネットワーク管理とセキュリティに関連する技術者に対するニーズが一層増加しているだけでなく、ホームページであるWebをはじめ、情報コンテンツである3DCG、アニメーション、映像、そしてユーザーの体験と技術をつなぐUI・UX、つまりメディア表現を理解したメディアエンジニアとテクノロジーを理解したメディアクリエイターの育成が必要となってきた。

情報メディア学科には、上記目的を実現するために、カリキュラムの基本的構成として、「メディアデザイン専攻」と「メディアテクノロジー専攻」が設けられている。また、専攻により認定されるコースにも違いがある。両専攻の具体的な特徴と学習目標は以下のとおりである。

【メディアデザイン専攻】

メディアデザイン専攻は、多様なデジタルコンテンツのデザインとこれらを作成する手法を学ぶ。つまり、見る人が魅力を感じ、興味を持つコンテンツを作成するアイデアと技術を身につけた人材を育成することを目標としている。

この専攻のカリキュラム構成は、将来就きたい職業あるいは学びたい専門領域に対応した履修モデルとして、下記の7コースが目安となる。

- ・映像・アニメーションコース
- ・グラフィックデザインコース
- ・イラスト・キャラクターデザインコース
- ・3DCGコース
- ・ゲームデザインコース
- ・メディアアートコース
- ・UI・UXデザインコース

【メディアテクノロジー専攻】

見る人に魅力的と感じてもらえるコンテンツを届けるためには、コンテンツの内容だけではなく仕組みも重要である。たとえば、見ている人の動きに合わせた映像の表示や、人や環境の状態を測るIoT技術を組み合わせるなどである。また、こういったコンテンツを安全・安心に使うためのセキュリティ技術も重要となる。このような仕組みをアイデアだけではなく、Webやモバイルアプリケーションなど、実際に動くものとして実現できる技術者を育成することが目標である。この専攻のカリキュラム構成は、将来就きたい職業あるいは学びたい専門領域に対応した履修モデルとして、下記の6コースが目安となる。

- ・Webサイト制作コース
- ・VR・ARコース
- ・ゲームプログラミングコース
- ・モバイルアプリケーションコース
- ・Webアプリケーションコース
- ・インターネットセキュリティコース

2. コースの認定

履修した科目に応じて、卒業時に下記の13コースの中から認定します。科目の組み合わせによって、複数のコースを認定することも可能です。専攻によっては履修できない科目があるため、コースの選択が制限される場合があります。

●映像・アニメーションコース

ショートフィルムなどの実写映像制作技術、アニメーションの原理・技術、さらに新時代の映像制作技術と表現、考え方を学びます。

●グラフィックデザインコース

使いやすさ、見やすさを考慮した上で、ポスターなどの広告のデザイン、コンピュータを使った本のデザイン技法と考え方などを学びます。

●イラスト・キャラクターデザインコース

ゲームや映画で使われるキャラクターや、ホームページなどで使われるイラストを制作する知識と技術を学びます。

●3DCGコース

映画やゲームだけではなく、医療、建築などあらゆる分野で必要となった3DCG。その原理と作り方、魅せ方を学びます。

●ゲームデザインコース

やりたくなるゲームは技術だけでは実現できません。世界観などの技術以外の様々な要素が重要です。ゲーム制作の技術を知り、ゲームの企画方法を学びます。

●メディアアートコース

映像やグラフィック、CGなどとICT技術を組み合わせ、対話的な作品やプロジェクションマッピング等の見る人に興味と驚きを与える新しい作品制作の考え方と表現技術を学びます。

●UI・UXデザインコース

見やすい・使いやすいWebページやスマホアプリは、UI・UXがきちんとデザインされています。その考え方、モノ、コトの体験とデザインを学びます。

●Webサイト制作コース

新しい技術を取り入れたWebサイトの制作方法や、人を惹きつける斬新なWebデザインの考え方について学びます。

●VR・ARコース

VR・ARコンテンツの市場は今後拡大していくことが予想されています。VR・ARで何ができるか、その表現や考え方、仮想の世界を創り制御する技術を学びます。

●ゲームプログラミングコース

ゲームプログラムの基礎から応用まで、さらに制御技術と新しいアイデアをゲームに反映するプログラミングを学びます。

●モバイルアプリケーションコース

スマートフォンや携帯端末上で動作するアプリケーションシステムを構築するために必要な知識とプログラミング技術を学びます。

単位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要習
履
卒
得
修
業
に
必
要
な
単
位
と
な
る一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

●Webアプリケーションコース

インターネットやLAN上で動作するアプリケーションシステムを構築するために必要な知識とプログラミング技術を学びます。

●インターネットセキュリティコース

ネットワークの設計、管理、運用、ネットワークプログラミング、さらに現在もっとも必要とされているセキュリティ技術を学びます。

3. ゼミナールⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳと卒業研究Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳの説明

3，4年を通して行われるこれらの科目は、ゼミナール教育の形式で行われる。3年に進級した4月に、全学生が情報メディア学科の専門教育を担当する教員のもとに配属される。配属人数は1教員あたり10名程度である。

3年のゼミナールⅠ，Ⅱでは、卒業研究あるいは卒業作品を完成させる上で必要となる基礎的な知識および技術を学習し、4年のゼミナールⅢ，Ⅳおよび卒業研究Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳへと継続、発展させる。完成した研究あるいは作品は、2月に行われる公開発表会の場で報告・説明する。

このように、ゼミナールⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳおよび卒業研究Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳは、自分で選んだテーマについて積極的に調査、学習あるいは作品を制作し、その結果を発表するもので、大学における専門教育の根幹となるものである。したがって、この機会に是非、果敢に新しいことに挑戦し、学ぶことの楽しさを経験することを期待している。

4. 取得可能資格試験

両専攻ともに、各科目をきちんと学習し理解できれば、下記に示す資格を取得するための基礎を習得できる。

- ① CGクリエイター検定（ベーシック／エキスパート）
- ② Webデザイナー検定（ベーシック／エキスパート）
- ③ 色彩検定1級
- ④ ITパスポート試験
- ⑤ 基本情報技術者試験
- ⑥ 応用情報技術者試験
- ⑦ ネットワークスペシャリスト試験
- ⑧ LPIC試験（Linux Professional Institute Japan）（LPIC-1／LPIC-2）
- ⑨ 情報セキュリティマネジメント試験

なお、指定した資格を取得した学生は、あらかじめ指定した科目の単位を取ることができる。指定した資格と免除される科目はガイダンスのときに説明する。

5. プレゼンテーション能力の育成

自分の考え、学習してきたこと、制作した作品について、第三者に分かりやすく伝えることの重要性は一層増してきている。本学科ではこのことに対処するために、1年のビギナーズセミナーⅠ，Ⅱ，2年以降のプロジェクト系科目，3，4年のゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ卒業研究Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳの4年間を通してプレゼンテーションの仕方を訓練し、その能力を向上させる。

I. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

I-1. 育成すべき人材像とコンピテンシー

情報化社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材を育成するとともに、映像、アニメ、3DCG、グラフィック、感性、ウェブ、ネットワークなど、新しい時代の中核となる技術をもとに、デザインとテクノロジーを融合したビジネスやデジタルコンテンツを創造し得る人材を育成します。

- ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
 - ・自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材。
- ② IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
 - ・ICTを積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人材。
 - ・ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人材。
 - ・映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを処理できる人材。
 - ・IoT（モノのインターネット）やゲームプログラムの開発に従事できる人材。
 - ・ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人材。
 - ・ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得した人材。
- ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性
 - ・異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材。
 - ・社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人材。
- ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力
 - ・市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材。
 - ・高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人材。
- ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
 - ・ビジネス、デジタルコンテンツ等の発想力・企画力・計画力・実行力・評価力を備える人材。
- ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵
 - ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材。
 - ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

育成すべき人材像とコンピテンシーを別表に示します。

I-2. 卒業要件（103ページの①～③の要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること）

I-3. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、定められたコンピテンシーを身に付け、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（情報メディア学）」を授与します。

II. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

II-1. 教育課程の編成及び特色

共通教育

本学の教育目的にある「生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成」という視野のもと、共通教育が定める人材像の育成を実現するために、「基礎教育科目」と「人間教育科目」から構成されるカリキュラムを定め、以下に示す科目をバランスよく学ぶことにより、本学の特色ある教養教育の目的を達成します。

- ① 「基礎教育科目」では、「人間教育科目」および専門科目を学ぶ上で基礎となる日本語力、論理的思考力、数的処理力、プレゼンテーション力およびコミュニケーション力を育成します。
- ② 「人間教育科目」では、中核的な必修科目群「情報とクリティカルシンキング」と、その基盤となる「人間」「社会」「自然」により、価値ある情報を見極める能力を高める能力を獲得するため、物事を幅広い視野からとらえる力と論理的思考力を育成します。「情報とクリティカルシンキング」

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録
成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
要
件習
履
卒
修
業
に
必
要
な
単
位
と
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

には、「情報倫理」も配置しています。

- ③ 「総合」の科目群により、主体的に行動する基盤となる体力を育成します。また、国際交流科目により、異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材を育成します。さらに、キャリア教育により市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材を育成します。

専門教育

情報メディアに関する基礎的な知識や技能を基盤に、情報社会の発展に貢献できる人材を育成するために専攻を配置しています。メディアデザイン専攻は、デザインとテクノロジーとの融合に着目した、新しい時代のデジタルコンテンツを企画・創造し得る人材を育成できるように設置しています。メディアテクノロジー専攻は、テクノロジーとデザインが融合した、新しいデジタルビジネスを生み出し得る高度IT人材を育成できるように設置しています。ディプロマ・ポリシーであげたコンピテンシーを達成するために、情報メディア共通基礎科目、各専攻の基礎科目と応用科目およびプロジェクト系科目を中心とした科目群でカリキュラムを構成しています。情報メディア共通基礎科目では、それぞれの専攻の基礎となる知識を習得し、大学への適応と自らの適性を学ぶために設定しています。各専攻の基礎科目では各専攻で必要なデザイン技術やプログラミング技術の基礎を学び、応用科目へと段階的に学修し、プロジェクト系科目において総合的な応用力を身につけるために配置しています。また、情報メディア専門科目の他に学部横断科目として、近年重要になっているヘルスリテラシーやビッグデータの科目も履修可能としており情報メディアの分野に留まらない幅広い分野の知識を習得できるように配置しています。

II-2. 教育の方法

教育の方法については以下のように定めています。

- ① 初年次教育科目を含む「基礎教育科目」は、1年生を対象とし、20人から40人の少人数でクラスを構成します。これにより、グループワークや少人数で行うアクティブ・ラーニングを行います。また、初年次教育科目では、タイムマネジメント、倫理、心と体の健康、クリティカルシンキングへの導入なども行います。タイムマネジメントでは、ラーニングマネジメントシステム上に本学が構築した「週ごとの時間管理システム」を活用します。
- ② 「人間教育科目」は、1年生から3年生に配置されます。多人数クラスになる科目がありますが、電子教科書やクリッカーおよび本学が開発したSNS授業ツールも活用することで、アクティブ・ラーニングによる主体的な学びの実現を目指しています。
- ③ 「総合」の国際交流科目では、学生を海外に派遣します。一部の国際交流科目では、海外の学生との協調学習によりグローバル人材を育成します。キャリア教育では一部で学習者適応型e-ラーニングを取り入れています。
- ④ 共通基礎科目では、それぞれの専攻の基礎となる知識を習得し大学への適応と自らの適性を学び、生涯にわたり学び続ける力を育成し、コンピテンシーのうち、主に知識と心構えの達成につながります。
- ⑤ 各専攻の基礎科目では各専攻で必要なデザイン技術やプログラミング技術の基礎を学び、応用科目へと段階的に学修し、プロジェクト系科目において総合的な応用力を身につけるように工夫しています。その中で現代のIT社会で必要なマルチメディア制作技術やIoTやアプリケーション開発技術を身につけることができコンピテンシーのうちスキルの達成につながります。

学修成果の評価は以下の方法で行います。

- ① 初年次教育科目などコミュニケーション力開発等の科目では、レポート・面接等で評価します。
- ② 健康とスポーツ等実技系の科目では、実技で評価します。
- ③ 知識伝達型の科目では、小テスト・定期試験・宿題・レポート等で評価します。
- ④ プロジェクト系の科目では問題発見、企画、プレゼンテーション等の能力で評価をします。
- ⑤ ゼミナール等では創造力・企画力・計画力・実行力等を総合的に評価します。

なお、コンピテンシー科目関連マップを別表3に示します。

II-3. 専攻別・コース別カリキュラムポイント

専攻別・コース別カリキュラムポイントを別表4に、コース別履修推奨科目を別表5に示します。

II-4. 専攻別・コース別履修指導方法

専攻別・コース別履修指導方法を別表6に示します。

II-5. 資格

以下に列記したような各種資格の取得を推奨しています。

- ・CG クリエイター検定（ベーシック／エキスパート）
- ・Web デザイナー検定（ベーシック／エキスパート）
- ・色彩検定 1 級
- ・ITパスポート試験
- ・基本情報技術者試験
- ・応用情報技術者試験
- ・ネットワークスペシャリスト試験
- ・LPIC試験（Linux Professional Institute Japan）（LPIC-1 / LPIC -2）
- ・情報セキュリティマネジメント試験

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

成
績
お
よ
び

卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

教
育
課
程
履
修
モ
デ
ル

卒
業
に
必
要
な
履
修
単
位

授
業
科
表
目

一
年
次
配
当
科
表
目

情報メディア学科 人材像とコンピテンシー

単位 制度 授 業 カリ キュ ラム 履 修 登 録 成 試 験 お よ び 卒 業 教 職 課 程 留 意 の 事 項 履 修 モ デ ル 教 育 課 程 卒 業 に 必 要 な 一 覧 表 目 一 年 次 配 当 表 目	学科名	情報メディア学科 メディアデザイン専攻
	①人材像	
	(a)	自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材 対応コンピテンシー A, C, G
	(b)	ICTを積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人材 対応コンピテンシー B, E
	(c)	ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人材 対応コンピテンシー D, E
	(d)	ビジネス、デジタルコンテンツ等の発想力、企画力、計画力、実行力、評価力を備える人材 対応コンピテンシー B, E, F
	(e)	高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人材 対応コンピテンシー C, G
	(f)	社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人材 対応コンピテンシー F
	②コンピテンシー	
	A	創造力・企画力・計画力・実行力を備えるコンピテンシー
	A-1	コンテンツをアイデアから発想し、企画としてまとめられる。
	A-2	コンテンツをつくるためのプロセスを理解し、スケジューリングできる。
	A-3	コンテンツ制作にあたり、進捗を計りながら、最後まで作り上げることができる。
	B	問題解決のためのデザイン提案力を持つコンピテンシー
	B-1	ある事象を論理的に分析し、問題点を明確にできる。
	B-2	ICTを活用し、問題解決に必要な情報を収集し、取捨選択できる。
	B-3	問題解決のために複数の解決策を考案でき、最適な解決策を提案できる。
	C	高度なコミュニケーション能力を備えるコンピテンシー
	C-1	自分のアイデア・企画を他者に明快に説明できる。
	C-2	他者のアイデア・意見を理解し、建設的に討論できる。
	C-3	ICTを活用し、企画や成果物をプレゼンテーションできる。
	C-4	国際的なコミュニケーションができる基礎的英語力をもつ。
	D	専門技術をもち、実践的に活用できるコンピテンシー
	D-1	制作に関する基礎的な知識と制作スキルをもつ。
	D-2	主となる専門分野を持ち、その技術を用いてコンテンツを制作できる。
	D-3	制作分野において最適なハードウェア、ソフトウェアを選択し、活用できる。
	D-4	画像、映像、音声、文章をもちいた統合的なコンテンツを個人またはチームで制作できる。
	D-5	制作したコンテンツをビジネス的な視点でプロデュースできる。
	E	ICTをコンテンツ制作に活用できるコンピテンシー
	E-1	ICTの原理を理解し、制作技術を工学的に説明できる。
	E-2	広くICTに関する基礎知識を持ち、制作に組み合わせることができる。
	E-3	コンテンツ制作に関する最先端の情報を説明できると共にその可能性について意見を持てる。
	F	社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できるコンピテンシー
	F-1	日本、あるいは国際社会における歴史的背景、文化的価値観を理解できる。
	F-2	コンテンツ制作やICTが社会、自然、文化に与える影響を理解し、ICTクリエイティブ人材としての倫理観をもつ。
	G	チームワークを得意とするコンピテンシー
	G-1	目的達成のためにチームに積極的に参加し、互いに協力することができる。
	G-2	リーダーシップを発揮し、ヒト・モノ・時間をマネジメントできる。
	G-3	チーム内で役割を分担し、それぞれの責務をまっとうできる。
	G-4	問題が起きた場合でも前向きに問題解決にあたり、相互に協調できる。

学科名	情報メディア学科 メディアテクノロジー専攻
①人材像	
(a)	自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材 対応コンピテンシー A, E
(b)	映像、動画、音声などのデジタルコンテンツを処理できる人材 対応コンピテンシー A, B, C, E
(c)	IoT（モノのインターネット）やゲームプログラムの開発に従事できる人材 対応コンピテンシー A, B, C, E
(d)	ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人材 対応コンピテンシー A, B, D, E
(e)	ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得した人材 対応コンピテンシー A, B, D, E
②コンピテンシー	
A	変化するICT社会を生きる市民としてのコンピテンシー
A-1	コンピュータシステム（ハードウェア、基本ソフトウェア）について理解し、基本的な動作原理を説明できる。
A-2	コンピュータシステム（ハードウェア、基本ソフトウェア）を活用するための基本操作ができる。
B	システムエンジニア、プログラマーとしてのコンピテンシー
B-1	問題をモデル化し、数理的、図形的な取扱ができる。
B-2	問題解決のプロセスをプログラム化（設計）することができる。
B-3	問題解決のための必要な手段として適切なツールを選択、駆使できる。
B-4	問題解決のための必要な手段として適切なハードウェアを選択、駆使できる。
B-5	問題解決のための必要な手段として適切なアプリケーションを選択、駆使できる。
C	各種メディア処理に関わる技術者としてのコンピテンシー
C-1	画像データに対する処理（加工、配信、蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-2	2DCG、3DCGデータに対する処理（加工、配信、蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-3	音声データに対する処理（加工、配信、蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-4	映像データに対する処理（加工、配信、蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-5	コンピュータの様々な機能（グラフィックスやサウンド）を組み合わせ活用するソフトウェアを作成できる。
D	Web、ネットワーク系技術者としてのコンピテンシー
D-1	ネットワーク通信機能を備えたソフトウェアを作成できる。
D-2	小規模オフィスにLAN環境を構築できる。
D-3	セキュリティを考慮したWebサイトを構築できる。
E	実践的な技術者としてのコンピテンシー
E-1	共同作業を通して、適正なコミュニケーションを行える。
E-2	ICTを有効に活用しながら、効果的なプレゼンテーションを行える。
E-3	進化する情報技術に関心を持って学習し、その特性を説明できると共に、その可能性について意見を持てる。
E-4	情報技術や情報処理技術者の役割を理解し、進化する情報社会に参画するために実践力を高めようとする意欲を持てる。
E-5	情報技術者倫理の意義を説明できると共に、それに則った行動をとることができる。

情報メディア学科
コンピテンシー 科目関連マップ（専門教育）
メディアデザイン専攻 コンピテンシー一覧

記号	コンピテンシー
A	創造力・企画力・計画力・実行力を備えるコンピテンシー
A-1	コンテンツをアイデアから発想し、企画としてまとめられる。
A-2	コンテンツをつくるためのプロセスを理解し、スケジュールリングできる。
A-3	コンテンツ制作にあたり、進捗を計りながら、最後まで作り上げることができる。
B	問題解決のためのデザイン提案力を持つコンピテンシー
B-1	ある事象を論理的に分析し、問題点を明確にできる。
B-2	ICTを活用し、問題解決に必要な情報を収集し、取捨選択できる。
B-3	問題解決のために複数の解決策を考案でき、最適な解決策を提案できる。
C	高度なコミュニケーション能力を備えるコンピテンシー
C-1	自分のアイデア・企画を他者に明快に説明できる。
C-2	他者のアイデア・意見を理解し、建設的に討論できる。
C-3	ICTを活用し、企画や成果物をプレゼンテーションできる。
C-4	国際的なコミュニケーションができる基礎的英語力をもつ。
D	専門技術をもち、実践的に活用できるコンピテンシー
D-1	制作に関する基礎的な知識と制作スキルをもつ。
D-2	主となる専門分野を持ち、その技術を用いてコンテンツを制作できる。
D-3	制作分野において最適なハードウェア、ソフトウェアを選択し、活用できる。
D-4	画像、映像、音声、文章をもちいた統合的なコンテンツを個人またはチームで制作できる。
D-5	制作したコンテンツをビジネス的な視点でプロデュースできる。
E	ICTをコンテンツ制作に活用できるコンピテンシー
E-1	ICTの原理を理解し、制作技術を工学的に説明できる。
E-2	広くICTに関する基礎知識を持ち、制作に組み合わせることができる。
E-3	コンテンツ制作に関する最先端の情報を説明できると共にその可能性について意見を持てる。
F	社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できるコンピテンシー
F-1	日本、あるいは国際社会における歴史的背景、文化的価値観を理解できる。
F-2	コンテンツ制作やICTが社会、自然、文化に与える影響を理解し、ICTクリエイティブ人材としての倫理観をもつ。
G	チームワークを得意とするコンピテンシー
G-1	目的達成のためにチームに積極的に参加し、互いに協力することができる。
G-2	リーダーシップを発揮し、ヒト・モノ・時間をマネジメントできる。
G-3	チーム内で役割を分担し、それぞれの責務をまっとうできる。
G-4	問題が起きた場合でも前向きに問題解決にあたり、相互に協調できる。

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

試験
お
よ
び
成績
評価

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

学部
教育
課程
履修
モデル

卒業
に
必
要
な
単
位
と
な
る
履
修
得
単
位

授
業
科
目
表
目

一
年
次
配
当
科
目
表
目

単位制度	授	業	カリキュラム	履修登録	成績	卒業	業	教職課程	留	その他	履修モデル	一	業	表	一年	次	配	当	科	目	表
単位制度	授	業	カリキュラム	履修登録	成績	卒業	業	教職課程	留	その他	履修モデル	一	業	表	一年	次	配	当	科	目	表

メディアデザイン専攻 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

科目名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー																備考							
	①	②	③	④	⑤	⑥	A				B				C				D					E	F	G				
							A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	E-1				E-2	F-1	F-2	G-1	G-2
共通基礎科目	情報メディア入門	○	○	○	○	○					○										○									
	初修情報メディア学Ⅰ	○	○	○	○	○					○	○	○								○	○	○							
	初修情報メディア学Ⅱ	○	○	○	○	○					○	○	○	○							○	○	○							
	初修情報メディア学Ⅲ	○	○	○	○	○					○	○	○	○							○	○	○							
	初修情報メディア学Ⅳ	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○						○	○	○							
	初修情報メディア学Ⅴ	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○					○	○	○							
	初修情報メディア学Ⅵ	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○					○	○	○							
	発想法演習	○	○	○	○	○					○													○	○					
	ICT入門	○	○	○	○	○									○						○									
	情報メディアサポート	○	○	○	○	○						○	○	○	○						○	○	○							
共通基礎科目	情報メディアの数学Ⅰ	○	○											○							○									
	芸術論				○																			○	○					
	芸術演習	○	○											○	○															
	デザインプログラミング演習	○	○		○	○						○	○	○							○									
	情報メディア特別演習Ⅰ					○															○	○	○							
	経営系科目A		○																											
	経営系科目B		○																											
	経営系科目C		○																											
	経営系科目D		○																											
	Webデザイン基礎演習		○												○															
デザイン系 基礎科目	デッサン	○	○											○	○															
	メディアデザインの基礎演習	○	○		○							○	○	○																
	デザインエレメンツ・演習		○																											
	図形科学の基礎		○																											
テクノロジー系 基礎科目	特別実習B	○	○											○	○															
	HTMLコーディング演習	○	○											○																
	メディア技術演習	○	○											○	○															
	コンピュータ		○			○																								
	プログラミング演習Ⅰ		○																											
	プログラミング演習Ⅱ		○																											
	特別実習A	○	○		○									○	○															
	IoT時代のセキュリティ		○		○									○	○															
	ゼミナールⅠ	○	○	○	○	○								○	○															
	ゼミナールⅡ	○	○	○	○	○								○	○															
共通応用科目	情報メディア特別ゼミナールⅠ	○	○	○	○	○								○	○															
	情報メディア特別ゼミナールⅡ	○	○	○	○	○								○	○															
	卒業研究Ⅰ	○	○	○	○	○								○	○															
	卒業研究Ⅱ	○	○	○	○	○								○	○															
	卒業研究Ⅲ	○	○	○	○	○								○	○															
	卒業研究Ⅳ	○	○	○	○	○								○	○															
	インターンシップ	○		○	○	○																								
	CGプログラミング		○			○								○	○															
	e-ラーニング	○	○	○	○	○								○	○															
	デザインシンキング	○	○	○	○	○								○	○															

共通科目	デザイン系 応用科目	テクノロジー系 応用科目	専門コース系科目	プロジェクト系科目	学部横断 科目
セキュリティマネジメント					
情報メディア特別演習II					
情報システム特別講義					
メディアデザイン特別講義					
ビジュアル構成・演習					
色彩・デザイン演習					
デジタルサウンド					
ビジュアルエフェクト演習					
行動とデザイン					
デジタルサウンド・演習					
DTP					
クリエイティブ・マネジメント					
システム情報系科目A					
システム情報系科目B					
コンピュータゲーム開発論					
SQL入門					
インターネットの仕組み					
ゲーム開発の最新動向					
音声情報処理					
画像情報処理					
映画基礎演習					
アニメーション基礎演習					
Web制作演習					
3DCG演習					
メディアプログラミング演習					
ゲームプログラミング・演習					
ゲームCG演習					
ゲーム制作演習					
モバイルアプリ演習					
Webプログラミング演習					
情報メディアの数学II					
インターネットセキュリティの技術					
Linux入門					
映像制作プロジェクト					
グラフィック制作プロジェクト					
Web制作プロジェクト					
メディアアート制作プロジェクト					
ゲーム制作プロジェクト					
アプリ制作プロジェクト					
プロジェクトライアルI					
プロジェクトライアルII					
地域貢献プロジェクト					
ステップアッププロジェクトII					
ステップアッププロジェクトIII					
BIとビッグデータI					
BIとビッグデータII					
ステップアッププロジェクトI					
グローバルヘルスリテラシー					

単位 制度	授 業	カリ キュ ラム	履 修 登 録	成 績	試験 お よ び	卒	業 教 職 課 程	留 意 の 事 項	履 修 モ デ ル	教 育 課 程	卒 業 に 必 要 な 単 位	授 業 目 録	一 年 次 配 当 表
----------	--------	----------------	------------------	--------	-------------------	---	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------	--------------------------------------	------------------	----------------------------

情報メディア学科
コンピテンシー 科目関連マップ（専門教育）
メディアテクノロジー専攻 コンピテンシー一覧

記号	コンピテンシー
A	変化するICT社会を生きる市民としてのコンピテンシー
A-1	コンピュータシステム（ハードウェア，基本ソフトウェア）について理解し，基本的な動作原理を説明できる。
A-2	コンピュータシステム（ハードウェア，基本ソフトウェア）を活用するための基本操作ができる。
B	システムエンジニア、プログラマーとしてのコンピテンシー
B-1	問題をモデル化し，数理的，図形的な取扱ができる。
B-2	問題解決のプロセスをプログラム化（設計）することができる。
B-3	問題解決のための必要な手段として適切なツールを選択，駆使できる。
B-4	問題解決のための必要な手段として適切なハードウェアを選択，駆使できる。
B-5	問題解決のための必要な手段として適切なアプリケーションを選択，駆使できる。
C	各種メディア処理に関わる技術者としてのコンピテンシー
C-1	画像データに対する処理（加工，配信，蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-2	2DCG，3DCGデータに対する処理（加工，配信，蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-3	音声データに対する処理（加工，配信，蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-4	映像データに対する処理（加工，配信，蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-5	コンピュータの様々な機能（グラフィックスやサウンド）を組み合わせ活用するソフトウェアを作成できる。
D	Web、ネットワーク系技術者としてのコンピテンシー
D-1	ネットワーク通信機能を備えたソフトウェアを作成できる。
D-2	小規模オフィスにLAN環境を構築できる。
D-3	セキュリティを考慮したWebサイトを構築できる。
E	実践的な技術者としてのコンピテンシー
E-1	共同作業を通して，適正なコミュニケーションを行える。
E-2	ICTを有効に活用しながら，効果的なプレゼンテーションを行える。
E-3	進化する情報技術に関心を持って学習し，その特性を説明できると共に，その可能性について意見を持てる。
E-4	情報技術や情報処理技術者の役割を理解し，進化する情報社会に参画するために実践力を高めようとする意欲を持てる。
E-5	情報技術者倫理の意義を説明できると共に，それに則った行動をとることができる。

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

試験
お
よ
び
成績
評価

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

学部
教育
課程
履修
モデル

卒業
に
必
要
な
単
位
と
な
る
履
修
得
単
位

授
業
科
目
表
目

一
年
次
配
当
科
目
表
目

単位制度	授	業	カリキュラム	履修登録	成績	試験および	卒業	業	教職課程	留	その他	項の	履修モジュール	卒業に必要な科目	授	業	科目表	一年次	配当科目表
------	---	---	--------	------	----	-------	----	---	------	---	-----	----	---------	----------	---	---	-----	-----	-------

メディアテクノロジー専攻 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

科目名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー										備考															
	①	②	③	④	⑤	⑥	A					B						C					D					E				
							A-1	A-2	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	C-1	C-2	C-3		C-4	C-5	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5					
共通基礎科目	情報メディア入門	○						○																								
	初修情報メディア学Ⅰ	○	○																													
	初修情報メディア学Ⅱ	○	○																													
	初修情報メディア学Ⅲ	○	○																													
	初修情報メディア学Ⅳ	○	○																													
	初修情報メディア学Ⅴ	○	○																													
	初修情報メディア学Ⅵ	○	○																													
	発想法演習	○	○							○																						
	ICT入門		○						○																							
	情報メディアパスポート	○	○						○																							
	情報メディアの数学Ⅰ	○	○						○																							
	芸術論	○																														
	芸術演習	○																														
	デザインプログラミング演習		○						○																							
	情報メディア特別演習Ⅰ	○	○						○																							
経営系科目A	○	○																														
経営系科目B	○	○																														
経営系科目C	○	○																														
経営系科目D	○	○																														
デザイン基礎科目系	Webデザイン基礎演習	○	○																													
	デッサン	○	○																													
	メディアデザインの基礎演習	○	○																													
	デザインエレメンツ・演習	○	○																													
	図形科学の基礎	○	○																													
	特別実習B	○	○																													
	HTMLコーディング演習	○	○																													
	メディア技術演習		○																													
	コンピュータ		○																													
	プログラミング演習Ⅰ		○																													
テクノロジー基礎科目系	プログラミング演習Ⅱ		○																													
	特別実習A	○	○																													
	IoT時代のセキュリティ	○	○																													
	ゼミナールⅠ	○	○																													
	ゼミナールⅡ	○	○																													
	情報メディア特別ゼミナールⅠ	○	○																													
	情報メディア特別ゼミナールⅡ	○	○																													
	卒業研究Ⅰ	○	○																													
	卒業研究Ⅱ	○	○																													
	卒業研究Ⅲ	○	○																													
共通応用科目	卒業研究Ⅳ	○	○																													
	インターンシップ	○	○																													
	CGプログラミング		○																													
	e-ラーニング	○	○																													
	デザインシンキング	○	○																													
	セキュリティマネジメント	○	○																													
		○	○																													

単位制度	業 カリキュラム
授	履修登録
	試験および成績
	卒業
	業 教職課程
	その他の事項
	必修科目の概要
	履修科目と単位
	一授 覧業 表科 目目
	一年次配当科目表

情報メディア学科 専攻別・コース別カリキュラムポイント

メディアデザイン専攻 コース別カリキュラムポイント

映像・アニメーションコース	ショートフィルムなどの実写映像制作技術，アニメーションの原理・技術，さらに新時代の映像制作技術と表現，考え方を学びます。
グラフィックデザインコース	使いやすさ，見やすさを考慮した上で，ポスターなどの広告のデザイン，コンピュータを使った本のデザイン技法と考え方などを学びます。
イラスト・キャラクターデザインコース	ゲームや映画で使われるキャラクターや，ホームページなどで使われるイラストを制作する知識と技術を学びます。
3DCGコース	映画やゲームだけではなく，医療，建築などあらゆる分野で必要となった3DCG。その原理と作り方，魅せ方を学びます。
ゲームデザインコース	やりたくなるゲームは技術だけでは実現できません。世界観などの技術以外の様々な要素が重要です。ゲーム制作の技術を知り，ゲームの企画方法を学びます。
メディアアートコース	映像やグラフィック，CGなどとICT技術を組み合わせ，対話的な作品やプロジェクトマッピング等の見る人に興味と驚きを与える新しい作品制作の考え方と表現技術を学びます。
UI・UXデザインコース	見やすい・使いやすいWebページやスマホアプリは，UI・UXがきちんとデザインされています。その考え方，モノ，コトの体験とデザインを学びます。

メディアテクノロジー専攻 コース別カリキュラムポイント

Webサイト制作コース	新しい技術を取り入れたWebサイトの制作方法や，人を惹きつける斬新なWebデザインの考え方について学びます。
VR・ARコース	VR・ARコンテンツの市場は今後拡大していくことが予想されています。VR・ARで何ができるか，その表現や考え方，仮想の世界を創り制御する技術を学びます。
ゲームプログラミングコース	ゲームプログラムの基礎から応用まで，さらに制御技術と新しいアイデアをゲームに反映するプログラムを学びます。
モバイルアプリケーションコース	スマートフォンや携帯端末上で動作するアプリケーションシステムを構築するために必要な知識とプログラミング技術を学びます。
Webアプリケーションコース	インターネットやLAN上で動作するアプリケーションシステムを構築するために必要な知識とプログラミング技術を学びます。
インターネットセキュリティコース	ネットワークの設計，管理，運用，ネットワークプログラミング，さらに現在もっとも必要とされているセキュリティ技術を学びます。

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

試験
お
よ
び
成績
評価

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

学部
教育
課程
履修
モデル

卒業
に
必
要
な
単
位
と
な
る
履
修
得
単
位

授
業
科
目
表

一
年
次
配
当
科
目
表

情報メディア学科 専攻別・コース別履修推奨科目

メディアデザイン専攻 コース別履修推奨科目

科目区分	授業科目の名称	授業を 行年	単位 数	必修 選択	映像・アニメーション	グラフィックデザイン	イラスト・キャラクターデザイン	3DCG	ゲームデザイン	メディアアート	UI/UX
共通基礎科目	情報メディア入門	1	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	初修情報メディア学Ⅰ	1	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	初修情報メディア学Ⅱ	1	2		○	○	○	○	○	○	○
	初修情報メディア学Ⅲ	2	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	初修情報メディア学Ⅳ	2	1		○	○	○	○	○	○	○
	初修情報メディア学Ⅴ	2	1		○	○	○	○	○	○	○
	初修情報メディア学Ⅵ	2	1		○	○	○	○	○	○	○
	発想法演習	1	2		○	○	○	○	◎	○	○
	ICT入門	1	2		○	○	○	○	○	○	○
	情報メディアパスポート	1	2		○	○	○	○	◎	○	○
	情報メディアの数学Ⅰ	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	芸術論	1	2		○					○	
	芸術演習	2	2								
	デザインプログラミング演習	2	2					◎		◎	
	情報メディア特別演習Ⅰ	3	2								
	経営系科目A	3	2								
デザイン系基礎科目	経営系科目B	3	2								
	経営系科目C	3・4	2								
	経営系科目D	3・4	2								
	Webデザイン基礎演習	1	2		○	◎	○	○		○	◎
	デッサン	1	4		○	○	○	○		○	○
	メディアデザインの基礎・演習	1	4		○	◎	◎	○		○	○
テクノロジー系基礎科目	デザインエレメンツ・演習	1	4		○	◎	◎	○		○	○
	図形科学の基礎	2	4				○	◎		◎	
	特別実習B	2	2				○	○			
	HTMLコーディング演習	1	2			○		○		○	○
	メディア技術演習	1	2					○	○	◎	○
	コンピュータ	1	2							○	○
	プログラミング演習Ⅰ	1	2							◎	○
	プログラミング演習Ⅱ	2	2							○	○
共通応用科目	IoT時代のセキュリティ	2	2							○	○
	情報メディアの数学Ⅱ	2	2								
	特別実習A	2	2								
	ゼミナールⅠ	3	4		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	ゼミナールⅡ	4	4		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報システム特別講義	2	2								
	メディアデザイン特別講義	2	2		○	○	○	○	◎	○	○
	行動とデザイン	2	2			○			◎	◎	◎
	メディアプログラミング演習	2	4							◎	
	Webプログラミング演習	2	4								○
	インターンシップ	3	2								○
	CGプログラミング	3	2				○	◎		○	
	e-ラーニング	3	2						○		
	デザインシンキング	3	2			○	○	○	◎	◎	◎
	セキュリティマネジメント	3	2								
	情報メディア特別演習Ⅱ	3	2								
	情報メディア特別ゼミナールⅠ	3	2								
	情報メディア特別ゼミナールⅡ	4	2								

科目区分	授業科目の名称	授業 年次	単位 数	必修 選択	映像・アニメーション	グラフィックデザイン	イラスト・キャラクターデザイン	3DCG	ゲームデザイン	メディアアート	UI/UX
共通応用科目	卒業研究Ⅰ	4	2		○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅱ	4	2		○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅲ	4	2		○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅳ	4	2		○	○	○	○	○	○	○
デザイン系 応用科目	ビジュアル構成・演習	2	4			◎	◎			○	○
	色彩・デザイン演習	2	4		○	◎	◎	○		○	○
	Web制作演習	2	4		○	○	○			○	◎
	3DCG演習	2	4					◎		○	
	ゲームCG演習	2	2				◎	◎	◎		
	映画基礎演習	2	4		◎						
	アニメーション基礎演習	2	4		◎			○		○	
	デジタルサウンド	2	2		○					◎	
	ビジュアルエフェクト演習	2	2		◎			◎		○	
	デジタルサウンド・演習	2	4		○					◎	
	DTP	3	2			◎	○				
	クリエイティブ・マネジメント	3	2		○	○	○	○	○	○	◎
テクノロジー系 応用科目	システム情報系科目A	2	4								
	システム情報系科目B	2	4								
	コンピュータゲーム開発論	2	2				○		○		
	SQL入門	2	2								○
	インターネットの仕組み	2	2								
	モバイルアプリ演習	2	4								○
	ゲームプログラミング・演習	2	4						○		
	ゲーム制作演習	3	2					○	◎		
	ゲーム開発の最新動向	3	2						◎		
	音声情報処理	3	2								
	画像情報処理	3	2								
	ソフトウェアデザイン	3	2								
	Webアプリケーション開発演習Ⅰ	3	4								
	Webアプリケーション開発演習Ⅱ	4	4								
	インターネットセキュリティの技術	3	2								
	Linux演習	3	2							○	
プロジェクト系 科目	プロジェクトトライアルⅠ	2	2		○	○	○	○	◎	○	○
	プロジェクトトライアルⅡ	3	2		○	○	○	○	◎	○	○
	映像制作プロジェクト	2	4		◎			○			
	グラフィック制作プロジェクト	2	4			◎	◎				
	Web制作プロジェクト	2	4			○					◎
	メディアアート制作プロジェクト	3	4					○		◎	
	ゲーム制作プロジェクト	3	4				◎	○	◎		
	アプリ制作プロジェクト	3	4								○
	ネットワーク演習	3	4								
	地域貢献プロジェクト	3	2								
	ステップアッププロジェクトⅡ	3	2								
	ステップアッププロジェクトⅢ	4	2								
学部横断科目	BⅠとビッグデータⅠ	3	2								
	BⅠとビッグデータⅡ	3	2								
	ステップアッププロジェクトⅠ	3	2		○	○	○	○	○	○	○
	グローバルヘルスリテラシー	3	2								

○：各コースで履修することが望ましい科目

◎：各コースで積極的に履修して欲しい科目

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要習
履
修
得
単
位
に
必
要
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
目
表
目

情報メディア学科 専攻別・コース別履修推奨科目

メディアテクノロジー専攻 コース別履修推奨科目

科目区分	授業科目の名称	授業を 行年	単位 数	必修 選択	Web サイ 制作	VR・AR	ゲーム プログラミング	モバイル アプリケーション	Webアプリ ケーション	インター ネット セキュリティ
共通基礎科目	情報メディア入門	1	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	初修情報メディア学Ⅰ	1	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	初修情報メディア学Ⅱ	1	2	○	○	○	○	○	○	○
	初修情報メディア学Ⅲ	2	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	初修情報メディア学Ⅳ	2	1	○	○	○	○	○	○	○
	初修情報メディア学Ⅴ	2	1	○	○	○	○	○	○	○
	初修情報メディア学Ⅵ	2	1	○	○	○	○	○	○	○
	発想法演習	1	2	○	○	○	○	○	○	○
	ICT入門	1	2	○	○	○	○	○	○	○
	情報メディアパスポート	1	2	○	○	○	○	○	○	○
	情報メディアの数学Ⅰ	2	2	○	○	○	○	○	○	○
	芸術論	1	2							
	芸術演習	2	2							
	デザインプログラミング演習	2	2	○	◎	○	○	○		
	情報メディア特別演習Ⅰ	3	2							
	経営系科目A	3	2							
	経営系科目B	3	2							
	経営系科目C	3・4	2							
	経営系科目D	3・4	2							
デザイン系 基礎科目	Webデザイン基礎演習	1	2	◎	○	○	○	○	○	○
	デッサン	1	4							
	メディアデザインの基礎・演習	1	4							
	デザインエレメント・演習	1	4		○	○	○	○	○	○
	図形科学の基礎	2	4							
	特別実習B	2	2							
テクノロジー系 基礎科目	HTMLコーディング演習	1	2	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
	メディア技術演習	1	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	コンピュータ	1	2	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	プログラミング演習Ⅰ	1	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	プログラミング演習Ⅱ	2	2		○	○	○	○	○	○
	IoT時代のセキュリティ	2	2	○	○	○	○	○	○	◎
	情報メディアの数学Ⅱ	2	2					○	◎	
	特別実習A	2	2				○			
共通応用科目	ゼミナールⅠ	3	4	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	ゼミナールⅡ	4	4	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報システム特別講義	2	2						○	○
	メディアデザイン特別講義	2	2	○	○	○	○			
	行動とデザイン	2	2	○	○	○	○			
	メディアプログラミング演習	2	4		◎					
	Webプログラミング演習	2	4	○		○	○	◎	○	
	インターンシップ	3	2	○	○	○	○	○	○	○
	CGプログラミング	3	2		◎	○				
	e-ラーニング	3	2	○						
	デザインシンキング	3	2	○						
	セキュリティマネジメント	3	2	◎			○	○	◎	
	情報メディア特別演習Ⅱ	3	2							
	情報メディア特別ゼミナールⅠ	3	2							
	情報メディア特別ゼミナールⅡ	4	2							

科目区分	授業科目の名称	授業を 行う 年次	単位数		W e b サイ ト 作 制	VR・AR	ゲーム プログラ ミング	モバイル アプリ ケーショ ン	Webアプリ ケーショ ン	インター ネット セキュリ ティ
			必修	選択						
共通応用科目	卒業研究Ⅰ	4		2	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅱ	4		2	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅲ	4		2	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅳ	4		2	○	○	○	○	○	○
デザイン系 応用科目	ビジュアル構成・演習	2		4						
	色彩・デザイン演習	2		4	○					
	Web制作演習	2		4	○	○				
	3DCG演習	2		4						
	ゲームCG演習	2		2			○			
	映画基礎演習	2		4						
	アニメーション基礎演習	2		4						
	デジタルサウンド	2		2		○	○			
	ビジュアルエフェクト演習	2		2						
	デジタルサウンド・演習	2		4		○	○		○	
	DTP	3		2						
	クリエイティブ・マネジメント	3		2	○	○	○	○		
テクノロジー系 応用科目	システム情報系科目A	2		4					○	
	システム情報系科目B	2		4					○	
	コンピュータゲーム開発論	2		2			◎	○		
	SQL入門	2		2	◎			◎	◎	○
	インターネットの仕組み	2		2	○		○	○	○	◎
	モバイルアプリ演習	2		4				◎	○	
	ゲームプログラミング・演習	2		4			◎			
	ゲーム制作演習	3		2			◎			
	ゲーム開発の最新動向	3		2			◎			
	音声情報処理	3		2		○	○			
	画像情報処理	3		2		○	○			
	ソフトウェアデザイン	3		2			○	○	○	
	Webアプリケーション開発演習Ⅰ	3		4					◎	
	Webアプリケーション開発演習Ⅱ	4		4					◎	
	インターネットセキュリティの技術	3		2	○			○	○	◎
	Linux演習	3		2	◎			○	○	◎
プロジェクト系 科目	プロジェクトトライアルⅠ	2		2	○	○	○	○	○	○
	プロジェクトトライアルⅡ	3		2	○	○	○	○	○	○
	映像制作プロジェクト	2		4						
	グラフィック制作プロジェクト	2		4						
	Web制作プロジェクト	2		4	◎					
	メディアアート制作プロジェクト	3		4		○				
	ゲーム制作プロジェクト	3		4		◎	◎			
	アプリ制作プロジェクト	3		4		◎	○	◎	○	
	ネットワーク演習	3		4	○	○	○	○	○	◎
	地域貢献プロジェクト	3		2						
	ステップアッププロジェクトⅡ	3		2						
	ステップアッププロジェクトⅢ	4		2						
学部横断科目	BⅠとビッグデータⅠ	3		2						
	BⅠとビッグデータⅡ	3		2						
	ステップアッププロジェクトⅠ	3		2	○	○	○	○	○	○
	グローバルヘルスリテラシー	3		2						

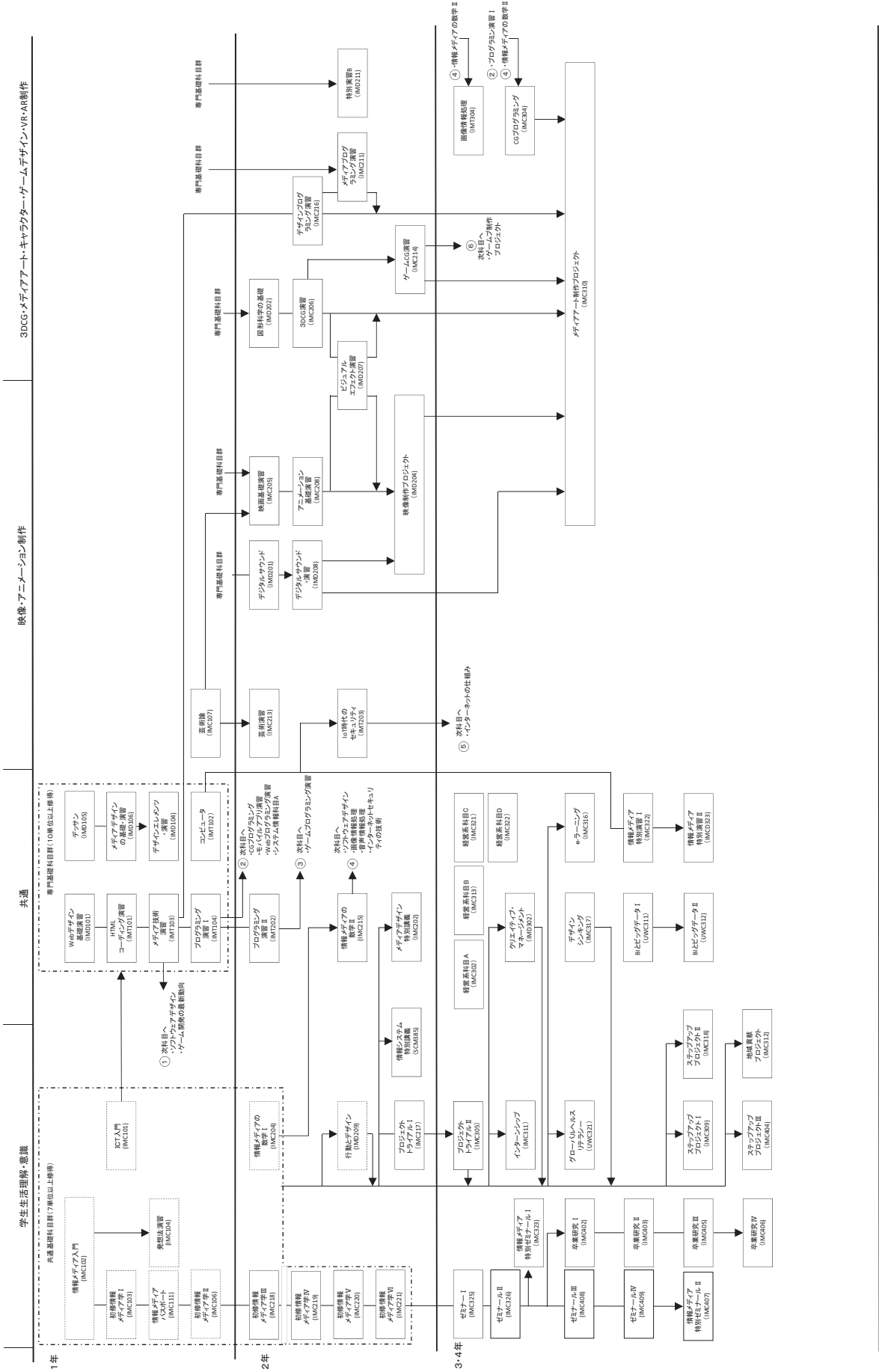
○：各コースで履修することが望ましい科目

◎：各コースで積極的に履修して欲しい科目

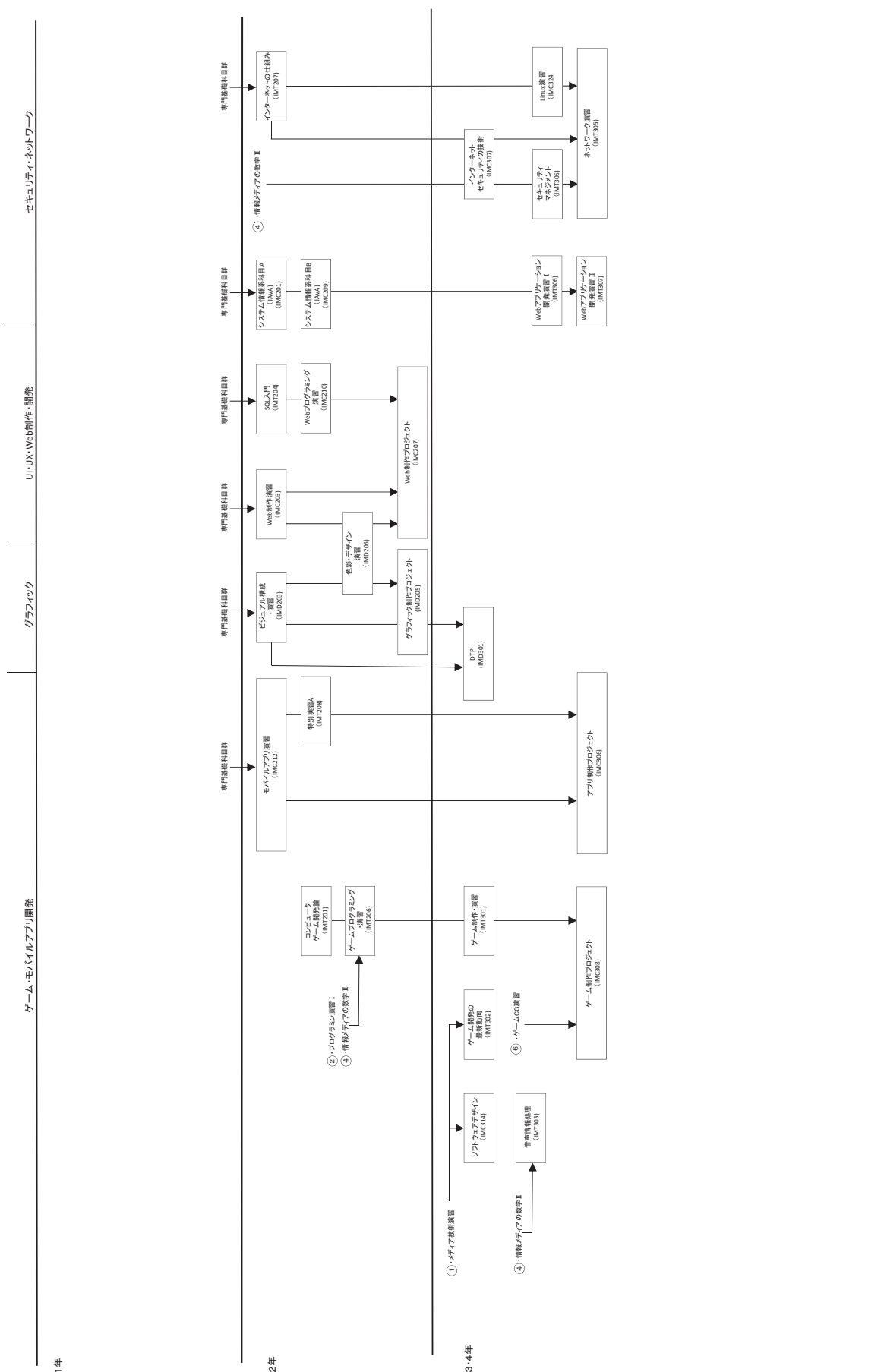
単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要習
得
単
位
と
な
る
必
要
な
課
程一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
目
表
目

情報メディア学科 専門科目履修系統図

情報メディア情報学科 専門科目履修系統図



情報メディア情報学科 専門科目履修系統図



一年次
覽
表

教 育 課 程

2.卒業に必要な履修科目と修得単位

3.授業科目一覧表

4.年次配当科目一覧表

2.卒業に必要な履修科目と修得単位

◆先端経営学科（カリキュラム('20)）【2020年度入学生～】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし、計 36 単位を修得 教養基礎科目について ・ 必修科目12 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目5 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・ 必修科目24 単位を修得 ・ 選択科目54 単位を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①, ②の合計 114 単位に加え、選択科目 10 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

◆システム情報学科（カリキュラム('20)）【2020年度入学生～】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし、計 36 単位を修得 教養基礎科目について ・ 必修科目12 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目5 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・ 必修科目36 単位を修得 ・ 選択科目は、以下の要件を含み計42 単位を修得 ・ 『経営系基礎科目』の 5 科目から 4 単位を修得 ・ 『情報系専門科目』から 24 単位を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①, ②の合計 114 単位に加え、選択科目 10 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

◆医療情報学科（カリキュラム('20)）【2020年度入学生～】
【診療情報管理専攻】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし、計 36 単位を修得 教養基礎科目について ・ 必修科目12 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目5 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・ 必修科目36 単位を修得 ・ 選択科目42 単位を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①、②の合計 114 単位に加え、選択科目 10 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

【臨床工学専攻】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし、計 23 単位を修得 教養基礎科目について ・ 必修科目8 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目12 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 101 単位以上を修得 ・ 必修科目99 単位を修得 ・ 選択科目2 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～②の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

◆情報メディア学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし、計 36 単位を修得 教養基礎科目について ・ 必修科目12 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目5 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 62 単位を修得 ・ 必修科目8 単位を修得 ・ 選択科目 は、以下の要件を含み計 54 単位を修得 ・ 『選択必修科目』から 22 単位を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①, ②の合計 98 単位に加え、選択科目 26 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
能

習
履
修
得
単
位
卒
業
に
必
要
な
単
位

一
授
業
覧
科
表
目

一
年
次
配
当
科
表
目

3.授業科目一覧表

◆先端経営学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】

【教養教育科目】

1 / 3

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う っ 次 行 年	単 位 数		備 考		
					必修	選択			
授 業 科 目 の 概 要	教 養 教 育 科 目	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		2	・必修科目12単位を修得	・教養教育科目36単位を修得 ・教養教育科目及び専門教育科目の選択科目から10単位以上修得
			日本語表現Ⅱ	1		2			
			基礎数学	1		2			
			基礎英語A	1		2			
			基礎英語B	1		2			
			英語表現ⅠA	1	2				
			英語表現ⅠB	1		2			
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2				
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2				
		外国語	実用英語A	2		2	・必修科目5単位を修得		
			実用英語B	2		2			
			英語表現ⅡA	2		2			
			英語表現ⅡB	2		2			
			職業英語A	3・4		2			
			職業英語B	3・4		2			
			中国語ⅠA	1		2			
			中国語ⅠB	1		2			
			中国語ⅡA	2		2			
			中国語ⅡB	2		2			
			ドイツ語ⅠA	1		2			
			ドイツ語ⅠB	1		2			
			ドイツ語ⅡA	2		2			
			ドイツ語ⅡB	2		2			
			情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1			2	
				情報倫理	2	2			
				ヘルスリテラシー入門	1			2	
			人 間	心理学	1			2	
				文学	1			2	
				歴史学	3・4			2	
				哲学	3・4			2	
			社 会	経済学Ⅰ	1			2	
				経済学Ⅱ	2			2	
				法学	1			2	
				社会学	1			2	
				憲法	1			2	
				国際関係論	3・4			2	
			自 然	線形代数Ⅰ	1			2	
				線形代数Ⅱ	2			2	
				関数の基礎	1			2	
				微分積分Ⅰ	1			2	
				微分積分Ⅱ	2			2	
				確率・統計Ⅰ	2			2	
		確率・統計Ⅱ		2		2			
		物理学		1		2			
		生物学		1		2			
		化学		1		2			
		総 合		健康とスポーツⅠ	1		1		
				健康とスポーツⅡ	1		1		
			健康とスポーツⅢ	1		1			
			健康とスポーツⅣ	1		1			
			海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4		1			
			海外事情(米国編)	1・2・3・4		2			
			海外事情(中国編)	1・2・3・4		2			
			国際コラボレーションA	1・2・3・4		2			
国際コラボレーションB	1・2・3・4			2					
キャリアデザインⅠ	2		1						
キャリアデザインⅡ	2		1						
キャリアデザインⅢ	3		1						

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 36単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆先端経営学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】
【専門教育科目】

2/3

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 年	単 位 数		備 考
				必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	専 門 教 育 科 目	経 営 系 科 目	経営学への招待	1	2	・ 必修科目24単位を修得 ・ 選択科目54単位を修得 ・ 教養教育科目及び専門教育科目 の選択科目から10単位以上修得
			流通の仕組み	1	2	
			デジタルビジネス概論	1	2	
			自己発見ゼミナール	1	2	
			プロジェクトゼミナールⅠ	2	2	
			プロジェクトゼミナールⅡ	2	2	
			ゼミナールⅠ	3	2	
			ゼミナールⅡ	3	2	
			ゼミナールⅢ	4	2	
			卒業論文	4	2	
			簿記原理システム論Ⅰ	1	2	成 試 験 お よ び
			簿記原理システム論Ⅱ	1	2	
			経営戦略論	2	2	
			経営管理論	2	2	
			Webビジネス論	2	2	
			ベンチャービジネス論	2	2	
			知的財産権論	2	2	
			民法	2	2	
			アントレプレナーシップ論	1	2	
			サービスマネジメント	2	2	
			マーケティング論	2	2	業 教 職 課 程
			マーケティングリサーチ	1	2	
			現代の財務会計論Ⅰ	2	2	
			現代の財務会計論Ⅱ	2	2	
			情報システム学概論Ⅰ	2	2	
			情報システム学概論Ⅱ	2	2	
			インターンシップ	3	2	
			デジタルマーケティング	3・4	2	
			コンピュータ会計	2	2	
			コストマネジメント	3・4	2	
			企業倫理	3・4	2	留 そ 意 の 事 他 項 の
			経営史	3・4	2	
			商法	3・4	2	
			流通システム論	3・4	2	
			マネジメントサイエンス	2	2	
			プロジェクトマネジメント	3・4	2	
			SCM	3・4	2	
			ERPシステム	3・4	2	
			国際経営論	3・4	2	
			地域連携論	3・4	2	
			現代の経営環境	3・4	2	履 修 モ デ ル
			職業指導	3・4	2	

単
位
制
度
授

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び

卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル

習
履
修
得
単
位

一
授
業
覧
科
表
目

一
年
次
配
当
科
表
目

◆システム情報学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】

1 / 3

【教養教育科目】

授 業 科 目 の 名 称				授 行 年	単 位 数		備 考		
					必修	選択			
授 業 科 目 の 概 要	教 育 科 目	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		2	・ 必修科目12単 位を修得	・ 教養教育科目 36単位を修得 ・ 教養教育科目 及び専門教育 科目の選択科 目から10単位 以上修得
			日本語表現Ⅱ	1	2				
			基礎数学	1	2				
			基礎英語A	1	2				
			基礎英語B	1		2			
			英語表現ⅠA	1	2				
			英語表現ⅠB	1		2			
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2				
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2				
		外国語	実用英語A	2		2	・ 必修科目5単 位を修得		
			実用英語B	2		2			
			英語表現ⅡA	2		2			
			英語表現ⅡB	2		2			
			職業英語A	3・4		2			
			職業英語B	3・4		2			
			中国語ⅠA	1		2			
			中国語ⅠB	1		2			
			中国語ⅡA	2		2			
			中国語ⅡB	2		2			
			ドイツ語ⅠA	1		2			
			ドイツ語ⅠB	1		2			
			ドイツ語ⅡA	2		2			
			ドイツ語ⅡB	2		2			
			情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1			2	
				情報倫理	2	2			
				ヘルスリテラシー入門	1			2	
			人間	心理学	1			2	
				文学	1			2	
				歴史学	3・4			2	
				哲学	3・4			2	
			社会	経済学Ⅰ	1			2	
				経済学Ⅱ	2			2	
				法学	1			2	
		社会学		1		2			
		憲法		1		2			
		国際関係論		3・4		2			
		自然	線形代数Ⅰ	1		2			
			線形代数Ⅱ	2		2			
			関数の基礎	1		2			
			微分積分Ⅰ	1		2			
			微分積分Ⅱ	2		2			
			確率・統計Ⅰ	2		2			
			確率・統計Ⅱ	2		2			
			物理学	1		2			
			生物学	1		2			
			化学	1		2			
			総合	健康とスポーツⅠ	1		1		
				健康とスポーツⅡ	1		1		
		健康とスポーツⅢ		1		1			
		健康とスポーツⅣ		1		1			
		海外語学・文化研修(中国大連編)		1・2・3・4		1			
		海外事情(米国編)		1・2・3・4		2			
		海外事情(中国編)		1・2・3・4		2			
		国際コラボレーションA		1・2・3・4		2			
		国際コラボレーションB		1・2・3・4		2			
		キャリアデザインⅠ		2	1				
		キャリアデザインⅡ		2	1				
		キャリアデザインⅢ		3	1				

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 36単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆システム情報学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】
【専門教育科目】

2 / 3

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	情報系基礎科目	情報系基礎科目	ICT入門	1	2		・ 必修科目36単位を修得 ・ 選択科目42単位を修得 ・ 教養教育科目及び専門教育科目 の選択科目から10単位以上修得
			コンピュータシステムⅠ	1	2		
			コンピュータシステムⅡ	1	2		
			情報科学基礎	2	2		
			プログラミング入門	1	4		
			プログラミング基礎	1	4		
			Web技術基礎	1	2		
			システム開発基礎Ⅰ	1	2		
			システム開発基礎Ⅱ	2	2		
			情報専門演習	2	2		
			システム情報学への招待	1	2		
	経営系基礎科目	経営系基礎科目	経営学への招待	1		2	・ 経営系基礎科目から4単位 を修得
			デジタルビジネス概論	1		2	
			流通の仕組み	1		2	
			簿記原理システム論Ⅰ	1		2	
	情報系専門科目	情報系専門科目	簿記原理システム論Ⅱ	1		2	
			ゼミナールⅠ	3	2		
			ゼミナールⅡ	3	2		
			ゼミナールⅢ	4	2		
	専門科目	情報系専門科目	卒業論文	4	4		・ 情報系専門選択科目から 24単位を修得
			宇宙への挑戦	1		2	
			幾何学入門	1		2	
			宇宙工学基礎	2		2	
			観光情報学入門	2		2	
			組込みシステム基礎	2		2	
			アルゴリズム基礎	2		2	
			アルゴリズムとプログラム設計	2		2	
			Javaプログラミング	2		4	
			離散数学Ⅰ	2		2	
			ネットワークとセキュリティⅠ	2		2	
			情報理論	2		2	
			Webアプリケーション基礎	2		2	
			システムプログラミング入門	2		4	
			オペレーティングシステム	2		2	
			IT戦略とマネジメントの基礎	2		2	
			プロジェクト基礎	2		2	
			インターンシップ	3		2	
			情報職業論	3・4		2	
			情報社会論	3・4		2	
			情報システム特別講義	3・4		2	・ 隔年開講 ・ 隔年開講
			メディアデザイン特別講義	3・4		2	
			宇宙開発情報学	3・4		2	
			宇宙情報利用概論	3・4		2	
			モバイルシステム開発演習	3・4		4	
			データベース	3・4		4	
			ソフトウェア工学	3・4		2	
			ネットワークとセキュリティⅡ	3・4		2	
			ネットワークの構成と管理	3・4		2	
			情報システムの設計	3・4		4	
			組込みシステム開発	3・4		2	
			人工知能	3・4		2	
			計算機科学概論	3・4		2	
			離散数学Ⅱ	3・4		2	
			コンピュータグラフィックス	3・4		2	
			画像処理	3・4		2	
			データマイニング	3・4		2	
			オペレーションズリサーチ	3・4		2	
			数値計算	3・4		2	
			セーフウェア入門	3・4		2	
			IoT技術総論	3・4		2	

◆システム情報学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】
【専門教育科目】

3/3

授 業 科 目 の 名 称			授 業 年 次	単 位 数		備 考
				必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	専 門 教 育 科 目	情報システム学概論Ⅰ	2		2	
		情報システム学概論Ⅱ	2		2	
		経営戦略論	2		2	
		経営管理論	2		2	
		Webビジネス論	2		2	
		ベンチャービジネス論	2		2	
		知的財産権論	2		2	
		アントレプレナーシップ論	2		2	
		民法	2		2	
		サービスマネジメント	2		2	
		マーケティング論	2		2	
		マーケティングリサーチ	2		2	
		現代の財務会計論Ⅰ	2		2	
		現代の財務会計論Ⅱ	2		2	
		デジタルマーケティング	3・4		2	
		コストマネジメント	3・4		2	
		企業倫理	3・4		2	
		経営史	3・4		2	
		商法	3・4		2	
		流通システム論	3・4		2	
		マネジメントサイエンス	3・4		2	
		プロジェクトマネジメント	3・4		2	
		SCM	3・4		2	
		ERPシステム	3・4		2	
		国際経営論	3・4		2	
		地域連携論	3・4		2	
		現代の経営環境	3・4		2	
	学部横断科目	BIとビッグデータⅠ	3・4		2	
		BIとビッグデータⅡ	3・4		2	
		プロジェクトトライアル	3・4		2	
		グローバルヘルスリテラシー	3・4		2	

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 78単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

単
位
制
度
授

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程

習
履
修
得
単
位
と
な
る

一
授
業
覧
科
表
目

一
年
次
配
当
科
表
目

◆医療情報学科 診療情報管理専攻（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】
【教養教育科目】

1 / 2

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	教 養 教 育 科 目	基 礎 教 育 科 目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1	2	・ 必修科目12単位を修得 ・ 教養教育科目36単位を修得 ・ 教養教育科目及び専門教育科目の選択科目から10単位以上修得
				日本語表現Ⅱ	1	2	
				基礎数学	1	2	
				基礎英語A	1	2	
				基礎英語B	1	2	
				英語表現ⅠA	1	2	
				英語表現ⅠB	1	2	
				ビギナーズセミナーⅠ	1	2	
				ビギナーズセミナーⅡ	1	2	
		外 国 語	外国語	実用英語A	2	2	・ 必修科目5単位を修得
				実用英語B	2	2	
				英語表現ⅡA	2	2	
				英語表現ⅡB	2	2	
				職業英語A	3・4	2	
				職業英語B	3・4	2	
				中国語ⅠA	1	2	
				中国語ⅠB	1	2	
				中国語ⅡA	2	2	
				中国語ⅡB	2	2	
				ドイツ語ⅠA	1	2	
				ドイツ語ⅠB	1	2	
				ドイツ語ⅡA	2	2	
				ドイツ語ⅡB	2	2	
		情 報 と クリ ティ カル シン キング	情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1	2	
				情報倫理	2	2	
				ヘルスリテラシー入門	1	2	
		人 間	人間	心理学	1	2	
				文学	1	2	
				歴史学	3・4	2	
				哲学	3・4	2	
		社 会	社会	経済学Ⅰ	1	2	
				経済学Ⅱ	2	2	
				法学	1	2	
				社会学	1	2	
				憲法	1	2	
				国際関係論	3・4	2	
		自 然	自然	線形代数Ⅰ	1	2	
				線形代数Ⅱ	2	2	
				関数の基礎	1	2	
				微分積分Ⅰ	1	2	
				微分積分Ⅱ	2	2	
				確率・統計Ⅰ	2	2	
				確率・統計Ⅱ	2	2	
				物理学	1	2	
				生物学	1	2	
				化学	1	2	
		総 合	総合	健康とスポーツⅠ	1	1	
				健康とスポーツⅡ	1	1	
				健康とスポーツⅢ	1	1	
				健康とスポーツⅣ	1	1	
				海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4	1	
				海外事情(米国編)	1・2・3・4	2	
				海外事情(中国編)	1・2・3・4	2	
				国際コラボレーションA	1・2・3・4	2	
				国際コラボレーションB	1・2・3・4	2	
				キャリアデザインⅠ	2	1	
				キャリアデザインⅡ	2	1	
				キャリアデザインⅢ	3	1	

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 [36単位以上]

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆医療情報学科 診療情報管理専攻（カリキュラム（'20）【2020年度入学生～】
【専門教育科目】

2/2

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	医 学 ・ 医 療 科 目	専 門 教 育 科 目	医学概論	1	2		・ 必修科目36単位を修得 ・ 選択科目42単位を修得 ・ 教養教育科目及び専門教育科目の 選択科目から10単位以上修得
			臨床医学総論	1	2		
			解剖学	1	2		
			生理学	1	2		
			医学用語概説	2	2		
			医療制度論	2	2		
			医療倫理概説	2	2		
			病理学	1		2	
			生化学	2		2	
			看護学概論	2		2	
			福祉総論	2		2	
			臨床検査概論	2		2	
			薬理学	2		2	
			医用工学概論	2		2	
			臨床医学Ⅰ	2		2	
			臨床医学Ⅱ	2		2	
			臨床医学Ⅲ	3・4		2	
			臨床医学Ⅳ	3・4		2	
			公衆衛生学	3・4		2	
			医療安全管理学	3・4		2	
			バイオインフォマティクス概論	3・4		2	
			分子生物学	3・4		2	
			栄養学	3・4		2	
			食品化学	2		2	
			食品関係法規	3・4		1	
			ライフステージ食デザイン	3・4		1	
			医用機器システム管理学	4		1	
	医 療 情 報 シ ス テ ム 科 目	専 門 教 育 科 目	医療情報学概論	1	2		
			医療事務総論	1	2		
			病院管理論	2		2	
			医療秘書概論	2		1	
			診療情報管理学Ⅰ	2		2	
			診療情報管理学Ⅱ	2		2	
			診療情報管理学演習Ⅰ	3・4		2	
			診療報酬請求事務論	1		2	
			診療報酬請求事務論演習	2		2	
			医療統計学	2		2	
			診療情報管理学Ⅲ	3・4		2	
			診療情報管理学演習Ⅱ	3・4		2	
			国際医療統計分類Ⅰ	3・4		2	
			国際医療統計分類Ⅱ	3・4		2	
			がん登録概論	3・4		1	
			放射線医科学概論	3・4		2	
			病院情報システム概説Ⅰ	3・4		1	
			病院情報システム概説Ⅱ	3・4		1	
			医療情報演習応用	3・4		1	
			DPCマネジメント概説	3・4		2	
	情 報 科 目	専 門 教 育 科 目	医療経営戦略論	3・4		2	
			医療マーケティング論	3・4		2	
			医療経営演習	4		2	
			医療経済学概論	3・4		2	
			ICT入門	1	2		
			コンピュータシステムⅠ	1	2		
			コンピュータシステムⅡ	2	2		
			プログラミング入門	1	2		
			Javaプログラミング基礎演習Ⅰ	1		2	
			Javaプログラミング基礎演習Ⅱ	1		2	
	演 習 科 目	専 門 教 育 科 目	We b 技術基礎	2		2	・ 隔年開講 ・ 隔年開講
			システム開発基礎Ⅰ	2		2	
			ネットワークとセキュリティⅠ	2		2	
			ネットワークとセキュリティⅡ	3・4		2	
			情報社会論	3・4		2	
			情報職業論	3・4		2	
			画像処理	3・4		2	
			メディアデザイン特別講義	3・4		2	
			情報システム特別講義	3・4		2	
			データサイエンス	3・4		1	
	科 学 部 構 成 科 目	専 門 教 育 科 目	医療情報特別講義	3・4		2	・ 隔年開講
			病院実習	2		2	
			医療情報演習	2	2		
			バイオテクノロジー実習	3	2	2	
			ゼミナールⅠ	3	2		
	科 学 部 構 成 科 目	専 門 教 育 科 目	ゼミナールⅡ	3	2		
			ゼミナールⅢ	4	2		
			卒業論文	4	2		
	科 学 部 構 成 科 目	専 門 教 育 科 目	グローバルヘルスリテラシー	3・4		2	
			プロジェクトトライアル	2		2	
			BⅠとビッグデータⅠ	3・4		2	
			BⅠとビッグデータⅡ	3・4		2	

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 78単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆医療情報学科 臨床工学専攻（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】
【教養教育科目】

1 / 2

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	教 養 教 育 科 目	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1	2	・必修科目8単位を修得
				日本語表現Ⅱ	1	2	
				基礎数学	1	2	
				基礎英語A	1	2	
				基礎英語B	1	2	
				英語表現ⅠA	1	2	
				英語表現ⅠB	1	2	
				ビギナーズセミナーⅠ	1	2	
				ビギナーズセミナーⅡ	1	2	
		外国語	実用英語A	2		2	・必修科目12単位を修得
			実用英語B	2		2	
			英語表現ⅡA	2		2	
			英語表現ⅡB	2		2	
			職業英語A	3・4		2	
			職業英語B	3・4		2	
			中国語ⅠA	1		2	
			中国語ⅠB	1		2	
			中国語ⅡA	2		2	
			中国語ⅡB	2		2	
			ドイツ語ⅠA	1		2	
			ドイツ語ⅠB	1		2	
			ドイツ語ⅡA	2		2	
			ドイツ語ⅡB	2		2	
		情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1		2	
			情報倫理	2	2		
		人間	ヘルスリテラシー入門	1		2	
			心理学	1	2		
		社会	文学	1		2	
			歴史学	3・4		2	
		自然	哲学	3・4		2	
			経済学Ⅰ	1		2	
		総合	経済学Ⅱ	2		2	
			法学	1		2	
		総 合	社会学	1		2	
			憲法	1		2	
		総 合	国際関係論	3・4		2	
			線形代数Ⅰ	1		2	
		総 合	線形代数Ⅱ	2		2	
			関数の基礎	1		2	
		総 合	微分積分Ⅰ	1		2	
			微分積分Ⅱ	2		2	
		総 合	確率・統計Ⅰ	2		2	
			確率・統計Ⅱ	2		2	
		総 合	物理学	1	2		
			生物学	1	2		
		総 合	化学	1	2		
			健康とスポーツⅠ	1		1	
		総 合	健康とスポーツⅡ	1		1	
			健康とスポーツⅢ	1		1	
		総 合	健康とスポーツⅣ	1		1	
			海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4		1	
		総 合	海外事情(米国編)	1・2・3・4		2	
			海外事情(中国編)	1・2・3・4		2	
		総 合	国際コラボレーションA	1・2・3・4		2	
			国際コラボレーションB	1・2・3・4		2	
		総 合	キャリアデザインⅠ	2		1	
			キャリアデザインⅡ	2		1	
		総 合	キャリアデザインⅢ	3		1	
			臨床工学基礎セミナーⅠ	1	1		
		総 合	臨床工学基礎セミナーⅡ	1	1		

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 23単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆医療情報学科 臨床工学専攻（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】
【専門教育科目】

2/2

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	専 門 教 育 科 目	医 学 ・ 医 療 科 目	医学概論	1	2		・ 必修科目99単位を修得 ・ 選択科目2単位以上を修得
			臨床医学総論	1	2		
			解剖学	1	2		
			生理学	1	2		
			病理学	1	2		
			医療制度論	2	2		
			医療倫理概説	3	2		
			生化学	2	2		
			看護学概論	2	2		
			福祉総論	2	2		
			臨床検査概論	2	2	2	
			薬理学	2	2		
			医用工学概論	1	2		
			臨床医学Ⅰ	2	2		
			臨床医学Ⅱ	2	2		
			臨床医学Ⅲ	3	2		
			臨床医学Ⅳ	3	2		
			循環器学	3	1		
			呼吸器学	3	1		
			麻酔学	4	1		
			手術・集中治療学	4	1		
			泌尿器学	3	1		
			免疫学	4	1		
			臨床工学関係法規	4	1		
			公衆衛生学	4	2		
			医療安全管理学	2	2		
			栄養学	4		2	
			食品化学	3・4		2	
		医療情報システム科目	医療情報学概論	1	2		
			医療統計学	2		2	
			医療経営概論	3・4		2	
			放射線医科学概論	3	2		
			病院情報システム概説Ⅰ	4	1		
			病院情報システム概説Ⅱ	4		1	
			医療経営戦略論	4		2	
			医療マーケティング論	4		2	
			医療経営演習	4		2	
		情報科	ICT入門	1	2		
			コンピュータシステムⅠ	2	2		
			コンピュータシステムⅡ	3	2		
			プログラミング入門	2	2		
			Javaプログラミング基礎演習Ⅰ	1		2	・ 隔年開講
			Javaプログラミング基礎演習Ⅱ	1		2	
			Web技術基礎	4		2	
			システム開発基礎Ⅰ	2		2	
			ネットワークとセキュリティⅠ	2		2	
			ネットワークとセキュリティⅡ	3・4		2	
			情報社会論	3・4		2	
			画像処理	4		2	
			メディアデザイン特別講義	3・4		2	・ 隔年開講
			データサイエンス	4		1	
			医療情報特別講義	3・4		2	・ 隔年開講
		医 用 工 学 科 目	応用数学Ⅰ	1	2		
			応用数学Ⅱ	1	2		
			電子工学Ⅰ	1	1		
			電子工学Ⅱ	2	1		
			電気工学Ⅰ	1	1		
			電気工学Ⅱ	2	1		
			臨床工学基礎実験	2	2		
			機械工学	2	2		
			物性工学	2	1		
			材料工学	1	1		
			計測工学	2	1		
			医用治療機器学	2	2		
			医用治療機器学演習	3	1		
			生体計測装置学	2	2		
			生体計測装置学演習	3	1		
			医用機器システム管理学	4	1		
			医用機器学実習	3	1		
			生体機能代行装置学Ⅰ	2	2		
			生体機能代行装置学Ⅱ	2	2		
			生体機能代行装置学Ⅲ	3	2		
			生体機能代行装置学Ⅳ	3	2		
			生体機能代行装置学実習Ⅰ	3	2		
			生体機能代行装置学実習Ⅱ	3	2		
	演習科目		臨床実習	3	4		
			ゼミナール	4	2		
			卒業論文	4	2		
	学部横断科目		グローバルヘルスリテラシー	3・4		2	
			プロジェクトトライアル	4		2	
			BⅠとビッグデータⅠ	4		2	
			BⅠとビッグデータⅡ	4		2	

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 101単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆情報メディア学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】
【教養教育科目】

1 / 2

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考	
					必修	選択		
授 業 科 目 の 概 要	教 養 教 育 科 目	基 礎 教 育 科 目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		・ 必修科目12単位を修得 ・ 教養教育科目36単位を修得 ・ 教養教育科目及び専門教育科目の選択科目から26単位以上修得	
				日本語表現Ⅱ	1	2		
				基礎数学	1	2		
				基礎英語A	1	2		
				基礎英語B	1			
				英語表現ⅠA	1	2		
				英語表現ⅠB	1	2		
				ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
				ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
		外 国 語		実用英語A	2		・ 必修科目5単位を修得	
				実用英語B	2			
				英語表現ⅡA	2			
				英語表現ⅡB	2			
				職業英語A	3・4			
				職業英語B	3・4			
				中国語ⅠA	1			
				中国語ⅠB	1			
				中国語ⅡA	2			
				中国語ⅡB	2			
				ドイツ語ⅠA	1			
				ドイツ語ⅠB	1			
				ドイツ語ⅡA	2			
				ドイツ語ⅡB	2			
		情 報 と クリ ティ カル シン キング		情報の世界	1			
				情報倫理	2	2		
				ヘルスリテラシー入門	1			
		人 間		心理学	1			
				文学	1			
				歴史学	3・4			
				哲学	3・4			
		社 会		経済学Ⅰ	1			
				経済学Ⅱ	2			
				法学	1			
				社会学	1			
				憲法	1			
				国際関係論	3・4			
		自 然		線形代数Ⅰ	1			
				線形代数Ⅱ	2			
				関数の基礎	1			
				微分積分Ⅰ	1			
				微分積分Ⅱ	2			
				確率・統計Ⅰ	2			
				確率・統計Ⅱ	2			
				物理学	1			
				生物学	1			
				化学	1			
		総 合		健康とスポーツⅠ	1			
				健康とスポーツⅡ	1			
				健康とスポーツⅢ	1			
				健康とスポーツⅣ	1			
				海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4			
				海外事情(米国編)	1・2・3・4			
				海外事情(中国編)	1・2・3・4			
				国際コラボレーションA	1・2・3・4			
				国際コラボレーションB	1・2・3・4			
				キャリアデザインⅠ	2	1		
				キャリアデザインⅡ	2	1		
				キャリアデザインⅢ	3	1		

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 [36単位以上]

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆情報メディア学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】
【専門教育科目】

2/2

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 専 門 科 教 育 目 的 の 概 要	共通基礎科目	選択必修科目	情報メディア入門	1		2	・必修8単位を修得 ・選択科目54単位以上を修得（選択必修科目の22単位以上を含む） ・教養教育科目及び専門教育科目から26単位以上修得
			初修情報メディア学Ⅰ	1		2	
			初修情報メディア学Ⅱ	1		2	
			初修情報メディア学Ⅲ	2		1	
			初修情報メディア学Ⅳ	2		1	
			初修情報メディア学Ⅴ	2		1	
			初修情報メディア学Ⅵ	2		1	
			発想法演習Ⅰ	1		2	
			ICT入門	1		2	
			情報メディアパスポート	1		2	
	基礎科目系	選択必修科目	情報メディアの数学Ⅰ	2		2	
			芸術論	1		2	
			芸術演習	2		2	
			デザインプログラミング演習	2		2	
			情報メディア特別演習Ⅰ	3		2	
			経営系科目A	3		2	
			経営系科目B	3		2	
			経営系科目C	3・4		2	
			経営系科目D	3・4		2	
	基礎科目系	選択必修科目	HTMLコーディング演習	1		2	
			メディア技術演習	1		2	
			コンピュータ	1		2	
			プログラミング演習Ⅰ	1		2	
			プログラミング演習Ⅱ	2		2	
			IoT時代のセキュリティ	2		2	
			情報メディアの数学Ⅱ	2		2	
			特別実習A	2		2	
	基礎科目系	選択必修科目	Webデザイン基礎演習	1		2	
			デザイン	1		4	
			メディアデザインの基礎・演習	1		4	
			デザインエレメンツ・演習	1		4	
			図形科学の基礎	2		4	
			特別実習B	2		2	
	共通応用科目		ゼミナールⅠ	3	2		・隔年開講 ・隔年開講
			ゼミナールⅡ	3	2		
			ゼミナールⅢ	4	2		
			ゼミナールⅣ	4	2		
			情報システム特別講義	2		2	
			メディアデザイン特別講義	2		2	
			行動とデザイン	2		2	
			メディアプログラミング演習	2		4	
			Webプログラミング演習	2		4	
			インターンシップ	3		2	
	応用科目系		CGプログラミング	3		2	・隔年開講 ・隔年開講 ・メディアテクノロジー 専攻対象科目
			オンライン	3		2	
			デザインシンキング	3		2	
			セキュリティマネジメント	3		2	
			情報メディア特別演習Ⅱ	3		2	
			情報メディア特別ゼミナールⅠ	3		2	
			情報メディア特別ゼミナールⅡ	4		2	
			卒業研究Ⅰ	4		2	
			卒業研究Ⅱ	4		2	
			卒業研究Ⅲ	4		2	
	応用科目系		卒業研究Ⅳ	4		2	・隔年開講 ・隔年開講 ・メディアテクノロジー 専攻対象科目
			システム情報系科目A	2		4	
			システム情報系科目B	2		4	
			コンピュータゲーム開発論	2		2	
			SQL入門	2		2	
			インターネットの仕組み	2		2	
			モバイルアプリ演習	2		4	
			ゲームプログラミング・演習	2		4	
			ゲーム制作演習	3		2	
			ゲーム開発の最新動向	3		2	
	応用科目系		音声情報処理	3		2	・隔年開講 ・隔年開講 ・メディアテクノロジー 専攻対象科目
			画像情報処理	3		2	
			ソフトウェアデザイン	3		2	
			Webアプリケーション開発演習Ⅰ	3		4	
			Webアプリケーション開発演習Ⅱ	3		4	
			インターネットセキュリティの技術	3		2	
			Linux演習	3		2	
			ビジュアル構成・演習	2		4	
			色彩・デザイン演習	2		4	
			Web制作演習	2		4	
	プロジェクト系科目	コース関連	3DCG演習	2		4	・メディアデザイン 専攻対象科目
			ゲームCG演習	2		2	
			映画基礎演習	2		4	
			アニメーション基礎演習	2		4	
			デジタルサウンド	2		2	
			ビジュアルエフェクト演習	2		2	
			デジタルサウンド・演習	2		4	
			DTP	3		2	
			クリエイティブ・マネジメント	3		2	
			映像制作プロジェクト	2		4	
	プロジェクト系科目	共通	グラフィック制作プロジェクト	2		4	・メディアデザイン 専攻対象科目
			Web制作プロジェクト	2		4	
			メディアアート制作プロジェクト	3		4	
			ゲーム制作プロジェクト	3		4	
			アプリ制作プロジェクト	3		4	
			ネットワーク演習	3		4	
			プロジェクトトリアルⅠ	3		2	
			プロジェクトトリアルⅡ	3		2	
			地域貢献プロジェクト	3		2	
			ステップアッププロジェクトⅡ	3		2	
	学際科目		ステップアッププロジェクトⅢ	4		2	・メディアデザイン 専攻対象科目
			BIとビッグデータⅠ	3		2	
			BIとビッグデータⅡ	3		2	
			ステップアッププロジェクトⅠ	3		2	
			グローバルヘルスリテラシー	3		2	

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 62単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆先端経営学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】

【専門教育科目】⇒P101～P102

◆システム情報学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】

【専門教育科目】⇒P104～P105

◆医療情報学科学科 診療情報管理専攻（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】

【専門教育科目】⇒P107

◆情報メディア学科（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】

【専門教育科目】⇒P111

【教養教育科目】

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考	
					必修	選択		
授 業 科 目 の 概 要	教 育 科 目	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1	2	・ 必修科目8単位を修得	・ 教養教育科目36単位を修得
				日本語表現Ⅱ	1	2		
				基礎数学	1	2		
				基礎英語A	1	2		
				基礎英語B	1	2		
				英語表現ⅠA	1	2		
				英語表現ⅠB	1	2		
				ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
				ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
			人間教育科目	外国語	実用英語A	2		
				実用英語B	2	2		
				英語表現ⅡA	2	2		
				英語表現ⅡB	2	2		
				職業英語A	3・4	2		
				職業英語B	3・4	2		
				日本語Ⅰ	1	2		
				日本語Ⅱ	1	2		
				日本語Ⅲ	1	2		
				日本語Ⅳ	2	2		
		情報とクリティカルシンキング		情報の世界	1	2		
				情報倫理	2	2		
				ヘルスリテラシー入門	1	2		
		人間		心理学	1	2		
				文学	1	2		
				歴史学	3・4	2		
				哲学	3・4	2		
		社会		経済学Ⅰ	1	2		
				経済学Ⅱ	2	2		
				法学	1	2		
			社会学	1	2			
			憲法	1	2			
			国際関係論	3・4	2			
		自然	線形代数Ⅰ	1	2			
			線形代数Ⅱ	2	2			
			関数の基礎	1	2			
			微分積分Ⅰ	1	2			
			微分積分Ⅱ	2	2			
			確率・統計Ⅰ	2	2			
			確率・統計Ⅱ	2	2			
			物理学	1	2			
	生物学	1	2					
	化学	1	2					
総合	健康とスポーツⅠ	1	1					
	健康とスポーツⅡ	1	1					
	健康とスポーツⅢ	1	1					
	健康とスポーツⅣ	1	1					
	日本事情	2	2					
	キャリアデザインⅠ	2	1					
	キャリアデザインⅡ	2	1					
	キャリアデザインⅢ	3	1					

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 36単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆医療情報学科 臨床工学専攻（カリキュラム（'20））【2020年度入学生～】

【教養教育科目】

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を う ち 年 次	単 位 数		備 考	
					必修	選択		
授 業 科 目 の 概 要	基 礎 教 育 科 目	教 養 基 礎	日本語表現Ⅰ	1		2	・ 必修科目4単位を修得	・ 教養教育科目23単位を修得
			日本語表現Ⅱ	1		2		
			基礎数学	1		2		
			基礎英語A	1		2		
			基礎英語B	1		2		
			英語表現ⅠA	1		2		
			英語表現ⅠB	1		2		
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2			
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2			
	外 国 語	実用英語A	実用英語A	2		2	・ 必修科目16単位を修得	
			実用英語B	2		2		
			英語表現ⅡA	2		2		
			英語表現ⅡB	2		2		
			職業英語A	3・4		2		
			職業英語B	3・4		2		
			日本語Ⅰ	1	2			
			日本語Ⅱ	1		2		
			日本語Ⅲ	1		2		
			日本語Ⅳ	2	2			
	情 報 と クリティカル シンキング	情報の世界	情報の世界	1		2		
			情報倫理	2	2			
			ヘルスリテラシー入門	1		2		
	人 間	心理学	心理学	1	2			
			文学	1		2		
			歴史学	3・4		2		
	社 会	法学	法学	3・4		2		
			社会学	1		2		
			憲法	1		2		
	自 然	関数の基礎	関数の基礎	3・4		2		
			微分積分Ⅰ	1		2		
			微分積分Ⅱ	1		2		
	総 合	確率・統計Ⅰ	確率・統計Ⅰ	2		2		
			確率・統計Ⅱ	2		2		
			物理学	1	2			
	総 合	生物学	生物学	1	2			
			化学	1	2			
			健康とスポーツⅠ	1		1		
	総 合	健康とスポーツⅡ	健康とスポーツⅡ	1		1		
			健康とスポーツⅢ	1		1		
			健康とスポーツⅣ	1		1		
			日本事情	1		1		
			キャリアデザインⅠ	2		2		
			キャリアデザインⅡ	2		1		
			キャリアデザインⅢ	2		1		
			臨床工学基礎セミナーⅠ	3		1		
			臨床工学基礎セミナーⅡ	1	1			
			臨床工学基礎セミナーⅢ	1	1			

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 23単位以上

単
位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程習
履
修
得
単
位
と
な一
授
業
覧
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

教職課程履修要項

目 次

1. 教職課程について	119
1. 1 履修するにあたって	119
1. 2 教職課程におけるカリキュラムと教職の意義	119
1. 3 本学で取得できる免許状の種類	120
1. 4 免許法で定める単位と本学で定める教職関連科目の単位	120
1. 5 教職課程の受講手続き	121
1. 6 教職課程年間スケジュール	122
1. 7 教職課程関連科目の履修登録	122
1. 8 教職課程開講科目	123
(1) 履修科目一覧	123
教科及び教科の指導法に関する科目 高一種免「商業」先端経営学科（2019年度入学生～）	123
高一種免「情報」先端経営学科（2020年度入学生～）	124
中一種免「数学」システム情報学科（2020年度入学生～）	125
高一種免「数学」システム情報学科（2020年度入学生～）	125
高一種免「情報」システム情報学科（2020年度入学生～）	126
教育の基礎的理解に関する科目等 中一種免・高一種免（2020年度入学生～）	127
中一種免・高一種免 教科又は教職に関する科目	128
中一種免・高一種免 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	128
2. 教育実習について	129
2. 1 教育実習の意義	129
2. 2 教育実習に対する心構え	129
2. 3 教育実習校の開拓（3年次）	129
2. 4 教育実習履修基準	130
2. 5 教育実習の履修手続き（4年次）	131
3. 介護等体験について	132
（中学校一種免許状希望者対象）	132
3. 1 介護等体験の意義	132
3. 2 介護等体験の注意事項	132
3. 3 介護等体験を行う時期	133
3. 4 介護等体験の実施施設	133
3. 5 介護等体験の内容	133
3. 6 介護等体験の費用	133
3. 7 介護等体験を臨むにあたって	133
4. 教育職員免許状授与申請について	134
4. 1 免許申請の概要	134

4. 2 一括申請手続き.....	134
5. 教員採用候補者選考検査について	135

1. 教職課程について

1. 1 履修するにあたって

学校教育の直接の担い手である教員は、社会的に高い期待が寄せられている専門的職業である。教員には、次のような資質と総合的な人間力が求められている。すなわち、

- ① 教育者としての使命感
- ② 人間の成長・発達についての深い理解
- ③ 生徒に対する教育的愛情
- ④ 教科をはじめとした深い専門的知識
- ⑤ 広く豊かな教養
- ⑥ それらを踏まえた実践的指導力 などである。

平成27年12月中央教育審議会（以下「中教審」という。）答申では「これからの教員に求められる資質能力」について以下の3つの力量を求める提言をした。

- ① 自律的に学び、生涯にわたって高めていく力量
- ② 主体的・対話的な深い学びの視点からの授業改善、道徳教育の充実、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童・生徒への対応等、新たな課題に対応できる力量
- ③ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組める力量

さらに同答申では、「教職は専門職と考えるべきである。それは厳しい不断の研究により得られ、かつ維持される専門的知識と特別の技能を教員に要求する公共の役務の一形態であり、またそれが児童生徒の教育と福祉に対する個人及び共同の責任感を要求するものである。」とされている。

教員を目指す学生は、自分が教員になったその日から一人前の教師として、学習指導・生活指導等、学校の教育活動全般において児童生徒・保護者に対し責任を負わなければならない。また、教員をめざす学生は、社会人としての見識、社会規範、責任感を身に付けておくことも必要である。教職課程の履修にあたり、学生諸君には教職に就くことの意味を深く考えることを自らに課してもらいたい。

1. 2 教職課程におけるカリキュラムと教職の意義

教育職員免許法改正および中教審答申と関わって、これからの教員に求められる資質・能力と教職関連科目について具体的に説明するので、教職を目指す学生に今日における教職の意義について考えてほしい。

平成28年の教育職員免許法改正により科目区分が「教科及び教職に関する科目」として大括り化されたことなどに伴い、2019年度入学生から本学の教職課程においては、以下の3つの科目群の科目を履修し修得しなければならない。

- ① 「教育職員免許法施行規則第66条の6に規定される科目」（以下「施行規則に定める科目」という。）
- ② 「教育についての専門的理解・指導法及び教育実践に関する科目」
- ③ 「教科及び教科の指導法に関する科目」

「施行規則に定める科目」は、どの教科の免許状取得を目指すかにかかわらず、共通の基礎教育として位置づけられ、従来から憲法及び体育が置かれている。さらに平成10年の教育職員免許法の改正で「情報機器の操作」と「外国語コミュニケーション」が履修すべき科目として定められた。それだけ新たな教職基礎教養として情報にかかわる知識と技能及びグローバル化を真に進めるための外国語を用いたコミュニケーション能力を身に付けることが、今日必要となってきたのである。

「教育についての専門的理解・指導法及び教育実践に関する科目」では、近年増加・蔓延する「不登校」や「高校中退」「いじめ」「学級崩壊」といわれる実態等々について広く学ぶ。しかし知識を得るとともに、生徒の成長・発達支援あるいは指導や相談といった実践に繋げていく力量の向上が教員には求められる。このことは教職課程の最も基礎の部分に当たる「教職概論」「教育原理」「教育心理学」はもとより「生徒指導」「学校教育相談」「教育方法論と総合的な学習の時間の指導法」の履修の意義にも通じるものである。

「教科及び教科の指導法に関する科目」では、教科の専門的知識や技能をもとに、各教科の指導法についても

深く実践的に学ぶことが求められ、各履修者が自主的に研鑽すべき内容であり、その範囲も広がったと見るべきである。教員の教科指導力は、生徒を引きつけ、主体的・対話的で深い学びの礎となる。教員の絶えざる授業改善により、児童生徒は、身に付けた基礎的な知識・理解を駆使し、「思考力」「判断力」「表現力」を伴う学びを通して「確かな学力」を実現することが可能となる。

1. 3 本学で取得できる免許状の種類

学 部	学 科	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科	
経 営 情 報 学 部	先 端 経 営 学 科	高等学校教諭一種免許状	商業	情報
	シ ス テ ム 情 報 学 科	中学校教諭一種免許状	数学	
		高等学校教諭一種免許状	数学	情報

免許状の種類は以下のとおり略記します。

免許状の種類	略記
高等学校教諭一種免許状	高一種免
中学校教諭一種免許状	中一種免

1. 4 免許法で定める単位と本学で定める教職関連科目の単位

(1) 全教科共通（1教科のみ取得の場合）

基礎資格：学士の学位を有すること

免許種類		中一種免（数学）		高一種免（全教科共通）	
		法定必要 単位数	本学での必要単位数	法定必要 単位数	本学での必要単位数
教科及び教科の指導法に関する科目		28	36	24	32
教育の基礎的理解に関する科目		10	12	10	12
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		10	12	8	10
教育実践に関する科目		7	7	5	5
大学が独自に設定する科目		4	0※	12	0※
計		59	67	59	59
教 育 職 員 免許法施行規則 第66条の6に 定める科目	日 本 国 憲 法	2	2	2	2
	体 育	2	2	2	2
	外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2	2	2	2
	情報機器の操作	2	2	2	2
計		8	8	8	8
合 計		67	75	67	67

※他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数が充当される

(2) 複数免許取得の場合（高一種免）

基礎資格：学士の学位を有すること

	法定必要単位数	本学での必要単位数	
		2科目取得	3科目取得
教科及び教科の指導法に関する科目	24	64	96
教育の基礎的理解に関する科目	10	12	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	10	
教育実践に関する科目	5	5	
大学が独自に設定する科目	12	0※	
計	59	91	123
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	2
	体育	2	2
	外国語コミュニケーション	2	2
	情報機器の操作	2	2
計	8	8	
合計	67	99	131

※他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数が充当される

1. 5 教職課程の受講手続き

提出書類	・教職課程受講願 ・教職課程受講申込書（指定欄に受講料の振込み領収書の写しを添付）
提出場所	教務課
提出日	指定された期日まで
受講料	40,000円 ・中一種免、高一種免同時取得または複数教科同時取得でも金額は変わりません。 ・1度納入したら、卒業まで有効です。 ・一旦納入した受講料は、返還しません。

※学費未納者は、教職課程を受講することができません。

教職課程履修要項

1. 教職課程について

教職課程について

教育実習について

介護体験について

申請書に免状授与

検査採用候補者選考

1. 6 教職課程年間スケジュール

	1 学 年	
4 月	◆教職課程説明会（教職課程希望者） ●教職課程願出願 ◆教職課程ガイダンス（教職課程希望者） ●教職課程申込書提出 ●教職課程受講料納付	
	2 学 年	
11 月	◆介護等体験説明会（中一種免）	
1 月	◆学校訪問説明会	
2 月	◆介護等体験事前指導（中一種免）	
	3 学 年	4 学 年
4 月	●介護等体験申込書提出（中一種免） ●介護体験料納付 教育実習校開拓（3月～5月） ●教育実習希望調査書提出 ●教育実習受け入れ内諾書提出	●教育実習履修申込書提出
5 月	■介護等体験（5日間＋2日間）（年度内） （中一種免）	教員採用検査受験手続き説明 教育実習事前指導 ■教育実習（2週間～3週間）（5月～8月）
6 月		●教員採用検查出願書類提出
7 月		◎教員採用検査（1次）
8 月	教育実習事後指導	▼教育実習事後指導（複数回）（教育実習終了時）
9 月		◎教員採用検査（2次）
10 月		◎教員採用検査登録発表
11 月		
12 月		教員免許状一括申請説明 ●教員免許状申込書提出
1 月		●教員一括申請受付
2 月	教育実習事前指導 ◆教育実習説明会	
3 月		教員免許状授与（学位記授与式）

■実習等 ◆説明会等 ●提出書類（教務課窓口） ◎北海道教育委員会

* 詳しいスケジュールは未定なので、掲示板で確認すること。

1. 7 教職課程関連科目の履修登録

履修登録は通常の授業科目の登録と一緒にを行います。指定された期日までに必ず履修登録してください。

(1) 履修登録をする際の注意

カリキュラムは入学年次のものが卒業まで適用されるため、時間割には学年に応じて複数のカリキュラムが存在します。

カリキュラム改正により、切り替わった新カリキュラムの科目を履修する場合、科目の読み替えが行われます。単位修得した新カリキュラムの科目を入学年度に応じたカリキュラムへ読み替えて成績が付与されます。読み替えの科目は18頁からの『科目読み替え対比表』で確認して履修してください。

1. 8 教職課程開講科目

(1) 履修科目一覧

・教科及び教科の指導法に関する科目

高一種免「商業」カリキュラム('20)【2020年度入学生～】

・経営情報学部 先端経営学科

科目名の○印は教職課程における必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左 記 に 対 応 す る 授 業 科 目				本学での必要単位数
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科 目 名	単位数	授業を行う年次	備考	
教科に関する専門的事項	商業の関係科目	1以上	簿記原理システム論Ⅰ	2	1	選択科目から26単位選択必修	26
			簿記原理システム論Ⅱ	2	1		
			コストマネジメント	2	3・4		
			コンピュータ会計	2	2		
			現代の財務会計論Ⅰ	2	2		
			経済学Ⅰ	2	2		
			経済学Ⅱ	2	2		
			経営学への招待	2	1		
			流通の仕組み	2	1		
			マーケティング論	2	2		
			流通システム論	2	3・4		
			ベンチャービジネス論	2	2		
			プロジェクトマネジメント	2	3・4		
			職業英語A	2	3・4		
			職業英語B	2	3・4		
	アントレプレナーシップ論	2	1				
職業指導	1以上	○職業指導	2	3・4		2	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	○商業科教育法Ⅰ	2	2・3		4	
		○商業科教育法Ⅱ	2	2・3			
法定単位数合計		24	必要修得単位数				32

教職課程について

教育実習について

介護体験について

申教職員に免許状授与

検教員採用候補者選考

教職課程履修要項

1. 教職課程について

- ・教科及び教科の指導法に関する科目
- 高一種免「情報」** カリキュラム（'20）【2020年度入学生～】
- ・経営情報学部 先端経営学科

科目名の○印は教職課程における必修科目
科目名の△印は教職課程における選択必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する授業科目				本学での必要単位数	
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科目名	単位数	授業を行う年次	備考		
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	1以上	△情報社会論	2	1		2	
			△情報倫理	2	2			
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	1以上	○コンピュータシステムⅠ	2	1		10	
			○コンピュータシステムⅡ	2	2			
			○ビジネスアプリケーションⅠ	2	1	実習を含む		
			○ビジネスアプリケーションⅡ	2	2	実習を含む		
			○組込みシステム基礎 ※	2	2	実習を含む		
	情報システム（実習を含む。）	1以上	○システム開発基礎Ⅰ	2	3・4	実習を含む	4	
			○情報システム学概論Ⅰ	2	2			
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	1以上	○ネットワークとセキュリティⅠ	2	3・4	実習を含む	4	
			○システム開発基礎Ⅱ	2	3・4	実習を含む		
	マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	1以上	○We b技術基礎	2	1	実習を含む	6	
			○画像処理 ※	2	3・4	実習を含む		
			○We bアプリケーション開発	2	3・4	実習を含む		
	情報と職業	1以上	○情報職業論	2	3・4		2	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		4以上	○情報科教育法Ⅰ	2	2・3		4
				○情報科教育法Ⅱ	2	2・3		
法定単位数合計		24	必要修得単位数				32	

※ システム情報学科開設科目の為、進級や卒業に必要な単位に算入されない。

・教科及び教科の指導法に関する科目

中一種免「数学」カリキュラム('20)【2020年度入学生～】

高一種免「数学」カリキュラム('20)【2020年度入学生～】

・経営情報学部 システム情報学科

科目名の○印は教職課程における必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左 記 に 対 応 す る 授 業 科 目				本学での必要単位数
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科 目 名	単位数	授業を行う年次	備考	
教科に関する専門的事項	代 数 学	1 以上	○線形代数Ⅰ	2	1		28
			○離散数学Ⅰ	2	2		
			○計算機科学概論	2	3・4		
	幾 何 学	1 以上	○線形代数Ⅱ	2	2		
			○離散数学Ⅱ	2	3・4		
			○幾何学入門	2	1		
			○オペレーションズリサーチ	2	3・4		
	解 析 学	1 以上	○微分積分Ⅰ	2	1		
			○微分積分Ⅱ	2	2		
			○データマイニング	2	3・4		
	「確率論，統計学」	1 以上	○確率・統計Ⅰ	2	2		
			○確率・統計Ⅱ	2	2		
	コンピュータ	1 以上	○情報科学基礎	2	2		
○人工知能			2	3・4			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	中学8以上 高校4以上	○数学科教育法Ⅰ	2	2・3	中学のみ 中学のみ	中学8 高校4	
		○数学科教育法Ⅱ	2	2・3			
		○数学科教育法Ⅲ	2	3			
		○数学科教育法Ⅳ	2	3			
法定単位数合計		中学28 高校24	必要修得単位数				中学36 高校32

教職課程履修要項

1. 教職課程について

- ・教科及び教科の指導法に関する科目
- 高一種免「情報」カリキュラム（'20）【2020年度入学生～】**
- ・経営情報学部 システム情報学科

科目名の○印は教職課程における必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左 記 に 対 応 す る 授 業 科 目				本学での必要単位数
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科 目 名	単位数	授業を行う年次	備考	
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	1以上	○情報倫理	2	2		2
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	1以上	○コンピュータシステムⅠ	2	1		8
			○コンピュータシステムⅡ	2	1		
			○プログラミング入門	4	1	実習を含む	
	情報システム（実習を含む。）	1以上	○システム開発基礎Ⅰ	2	1	実習を含む	6
			○情報システムの設計	4	3・4		
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	1以上	○システム開発基礎Ⅱ	2	2	実習を含む	4
			○ネットワークとセキュリティⅠ	2	2	実習を含む	
			ネットワークの構成と管理	2	3・4		
	マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	1以上	○We b技術基礎	2	1	実習を含む	6
○コンピュータグラフィックス			2	3・4	実習を含む		
○We bアプリケーション基礎			2	2	実習を含む		
情報と職業	1以上	○情報職業論	2	3・4		2	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		4以上	○情報科教育法Ⅰ	2	2・3	4	4
			○情報科教育法Ⅱ	2	2・3		
法定単位数合計		24	必要修得単位数				32

教職課程について

教育実習について

介護体験について

申教職
請員
に免
つ許
状授
て与

検教
査員
採用
に
候補
者選
考

- ・教育の基礎的理解に関する科目
- ・道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目
- ・教育実践に関する科目

中一種免・高一種免 カリキュラム('20)【2020年度入学生～】

経営情報学部 先端経営学科、システム情報学科

科目名の○印は教職課程における必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目					本学での必要 単位数
各科目に含めることが必要な事項	法定 単位数	科 目 名	開講年次	単位数		備 考	
				中 学	高 校		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育原理	1・2	2	2		12
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職概論	1・2	2	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育制度論	2・3	2	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2・3	2	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育論	1・2	2	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○教育課程論	2・3	2	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	○道徳教育の理論と実践	2・3	2		中学のみ	中学12 高校10
	総合的な学習の時間の指導法	○教育方法論と総合的な学習の時間の指導法	2	2	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）						
	特別活動の指導法	○特別活動論	2・3	2	2		
	生徒指導の理論及び方法	○生徒指導	1・2	2	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○学校教育相談	1・2	2	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○進路指導	2・3	2	2		
教育実践に関する科目	教育実習	○教育実習Ⅰ	4	1	1	事前・事後指導	中学7 高校5
		○教育実習Ⅱ	4	2	2		
		○教育実習Ⅲ	4	2	2	高校は選択	
	教職実践演習	○教職実践演習（中・高）	4	2	2		
法定単位数合計		中学27 高校23	本学での必要単位数合計				中学31 高校27

《注》本表の科目は、進級や卒業に必要な単位に算入されない。

教職課程について

教育実習について

介護体験について

申教職員に免許状授与

検教員採用候補者選考

教職課程履修要項

1. 教職課程について

中一種免・高一種免 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

{ 経営情報学部 先端経営学科
システム情報学科 } 共通

カリキュラム（'20）【2020年度入学生～】

※中一種免（数学）は2012年度入学生～

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目区分		左記に対応する授業科目				本学での必要単位数
科目名	単位数	科目名	単位数	授業を行う年次	備考	
日本国憲法	2	憲法	2	1		2
体育	2	健康とスポーツⅠ	1	1	いずれか2科目	2
		健康とスポーツⅡ	1	1		
		健康とスポーツⅢ（夏期集中）	1	1		
		健康とスポーツⅣ（冬期集中）	1	1		
外国語コミュニケーション	2	英語表現ⅠA	2	1		2
		英語表現ⅠB	2	1		
		英語表現ⅡA	2	2		
		英語表現ⅡB	2	2		
情報機器の操作	2	ICT入門	2	1		2
法定単位数合計 8単位		本学での必要修得単位数 8単位				

教職課程について

教育実習について

介護体験について

教職申請に免許状授与

教員採用候補者選考

2. 教育実習について

2. 1 教育実習の意義

教育実習は、4年次（5月～9月）に約2～3週間以上にわたり、学校現場で専門教科・科目の指導技術や学校の各種分掌業務及び生徒の実態など、学業指導全般についての指導助言を受けるものである。

教育実習は、教職課程のすべての履修と修得の総仕上げと位置づけられるもので、教員になるための必須条件である。

2. 2 教育実習に対する心構え

- (1) 教育実習は、何のために行うのか、その意義・目的を十分に認識しておくことが肝要である。
- (2) 教育実習は、教育委員会及び実習校の協力がなければ実施できないのは言うまでもないことである。
実習校は、諸君のために忙しいなか貴重な時間をさいて実習指導にあたるわけであるから、そのことを十分に踏まえて真剣な態度で教育実習に専念しなければならない。
- (3) 教育実習期間中は、実習校に勤務する教職員の一員となったつもりで、誠実に学校の教育方針を守り、学校長や指導教諭の指示に従って教育実習を行わなければならない。
- (4) 教育実習生といえども、生徒に対しては一人の教師として指導にあたるわけであるから、その立場にふさわしい言葉遣い・態度や身だしなみ等に気を配ることはもちろん、教育に対する情熱と生徒に対する愛情を基本とする教育愛の体得に努めなければならない。
「教わる立場」から「教える立場」を十分自覚してもらいたい。
- (5) 教育における政治的中立、公立学校における宗教的中立は民主主義の基本事項である。
教育活動において、特定の思想や政党の主張を一方的に取り上げることは厳に慎んでももらいたい。
- (6) 教育実習期間中、就職活動を行うために実習を休む学生が見受けられるが、実習校の授業運営に支障をきたすような行為は、慎むよう認識をあらためてほしい。

2. 3 教育実習校の開拓（3年次）

教育実習校は、2年次の1月に教職課程履修者がそれぞれの出身校または縁故紹介により希望する学校を訪問して、翌年の教育実習の依頼をする。

教育実習を依頼する場合には、電話などで済ませることなく、その学校を訪問して丁重にお願いするよう心がけてほしい。また、訪問する際には、服装・マナーなどには十分注意するようにしてもらいたい。

教育実習の内諾が得られると「教育実習内諾書」が本学に送られてくる。この段階で4年次の実習校が内定したことになる。

2. 4 教育実習履修基準

教育実習は、4年次に行われる必修科目であるが、この教育実習を履修するためには、次の条件を満たさなければならない。

中学校で教育実習を行う場合【2019年度入学生～】

履 修 科 目		条 件
①	卒業要件に含まれる科目	3年次終了までに卒業要件のうち 90単位以上 を修得していること。
②	教科及び教科の指導法に関する科目	3年次終了までに、必修科目を 30単位以上 修得していること。 但し、この修得単位の中に次の 4科目 を含めること。 「数学科教育法Ⅰ」「数学科教育法Ⅱ」 「数学科教育法Ⅲ」「数学科教育法Ⅳ」
③	・教育の基礎的理解に関する科目 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	3年次終了までに、必修科目を 16単位以上 修得していること。 但し、この修得単位の中に次の 3科目 を含めること。 「教職概論」「教育課程論」「生徒指導」
上記①～③の要件をすべて満たし、教員になる意志が明確で、教員採用選考検査を必ず受けようとする者。		

高等学校で教育実習を行う場合【2019年度入学生～】

履 修 科 目		条 件
①	卒業要件に含まれる科目	3年次終了までに卒業要件のうち 90単位以上 を修得していること。
②	教科及び教科の指導法に関する科目	3年次終了までに、必修科目を 26単位以上 修得していること。 但し、この修得単位の中に次の 2科目 を含めること。 「商業科教育法Ⅰ」＋「商業科教育法Ⅱ」 「数学科教育法Ⅰ」＋「数学科教育法Ⅱ」 「情報科教育法Ⅰ」＋「情報科教育法Ⅱ」 これらについてはいずれか4単位分までしかカウントしない。 ※教育実習で担当することを希望する教科の教育法を修得すること。
③	・教育の基礎的理解に関する科目 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	3年次終了までに、必修科目を 16単位以上 修得していること。 但し、この修得単位の中に次の 3科目 を含めること。 「教職概論」「教育課程論」「生徒指導」
上記①～③の要件をすべて満たし、教員になる意志が明確で、教員採用選考検査を必ず受けようとする者。		

※中学の教員免許を取得するには、教育実習の期間は3週間以上でなければならない。

高校の教員免許のみ取得希望者で、中学校で教育実習を行う場合は、「高等学校で教育実習を行う場合」の履修基準が適用されます。

2. 5 教育実習の履修手続き（4年次）

教育実習履修基準をクリアし実習を許可された学生は、次の手続きをすること。

提出書類	教育実習履修申込書
提出場所	教務課
提出日	指定された期日まで

教育実習の費用については、別途説明します。

教職課程について

教育実習について

介護体験について

申教職
職員
に免
つ許
状
い授
て与検教員
査採用
に候補
つ補者
い選
て考

3. 介護等体験について （中学校一種免許状希望者対象）

3. 1 介護等体験の意義

教員志願者に対し、高齢者や障害者に対する介護等の体験を義務づけることにより、**人の心の痛みのわかる人づくり、各人の価値観の相違を認められる心を持った人づくりの実現に資することを目的**としている。

3. 2 介護等体験の注意事項

道内の盲学校、聾学校若しくは養護学校又は社会福祉施設その他の施設で介護等体験を行う学生（科目等履修生及び卒業生を含む。）は、法律の趣旨を十分理解し、次の点に十分注意してください。

- 1 介護等体験は、将来教員となる強い熱意を持った小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者のために設けられた制度であり、単に免許状を取得するためだけの手段ではありません。障害者や高齢者と触れ合うことで、その体験を通して理解を一層深め、知識を身に付ける機会となるものです。
- 2 介護等体験に当たっては、日本国憲法及び教育基本法に示されている教育の理念や目的を深く認識し、人権尊重の精神に徹して、障害者や高齢者と接するよう心掛けてください。
障害者や高齢者の健全な発達や日常活動等を阻害するような言動などがないように注意してください。
- 3 介護等体験中は、実施施設の方針に従い、目的を持って積極的に取り組んでください。
- 4 実施施設の規則は、必ず守ってください。
- 5 介護等体験中に知り得た障害者や高齢者の個人情報、漏らしたりすることなどのないよう厳守してください。
- 6 実施施設の長は必要により、健康状態に関する診断書の提出や細菌培養検査の実施を求めることがあります。また、介護等体験中は、特に健康・安全に注意し、終始良好な体調のもとで取り組んでください。
- 7 介護等体験の実施期日については、実施施設の受入準備の都合等もあり、原則として変更できません。
なお、実施期日の決定後、やむを得ない事情によりその期日に介護等体験を行うことができなくなった場合は、大学を通じ、速やかに当該実施施設へ連絡してください。
- 8 介護等体験の証明書は、1 学生 1 枚です。介護等体験終了後、1 枚の証明書用紙に介護等体験を行ったそれぞれの特別支援学校及び福祉施設の長から証明を受けてください。
また、この証明書は、教育職員免許状授与願の添付書類として使用しますので、紛失することのないよう大切に保管してください。なお、終了後には教務課へ提出してください。

上記の点に著しく違反し、実施施設の正常な活動に支障を来すと当該施設の長が判断したときは、介護等体験の中止又は介護等体験の証明が行われなことがあります。

（介護等体験特例法第 1 条）

この法律は、義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる措置を講ずるため、小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与について教育職員免許法の特例等を定めるものとする。

3. 3 介護等体験を行う時期

原則として3年次に行う

3. 4 介護等体験の実施施設

- ・ 社会福祉施設等 6月～2月の間の月曜日～金曜日の連続した5日間
1日5～6時間程度社会福祉施設等の指定した時間帯
 - ・ 特別支援学校 連続した2日間
- 計7日間以上

3. 5 介護等体験の内容

一般的には以下のとおりですが、受入施設により異なります。

- ・ 障害者、高齢者に対する介護・介助、交流等の体験（障害者等の話相手、散歩の付添い等）
- ・ 受入施設職員の業務補助（掃除や洗濯など、障害者等と直接接しない場合を含む）等

3. 6 介護等体験の費用

- ・ 社会福祉施設等 10,000円（@2,000円×介護等体験日数5日間）
- ・ 特別支援学校 実費が必要になる場合があります。

3. 7 介護等体験を臨むにあたって

下記のガイダンスに参加し、かつ事前指導を受講しなければ、介護等体験に行くことはできない。

- ・ 介護等体験に行く前年度の11～12月 ガイダンス
- ・ 介護等体験に行く前年度の2月 事前指導（集中講義形式で実施）

4. 教育職員免許状授与申請について

4. 1 免許申請の概要

教育職員免許状は、基礎資格（学士の学位）と修得科目の単位認定を行って、北海道教育委員会に「教育職員免許状授与願」により願い出ることで、免許状が授与される。

その手続きについては、11月下旬のガイダンス等で説明する。申請の方法には大学が一括して申請する一括申請と卒業後に本人が申請する個人申請がある。特別な理由がある場合を除き一括申請することが望ましい。

4. 2 一括申請手続き

- (1) 教育職員免許状授与申請の申込書を教務課に提出する。……11月下旬
- (2) 「教育職員免許状授与願」を作成し、教務課に提出する。…… 1月中旬
 注；○北海道収入証紙（3,000円と300円の2枚、計3,300円分）を添付する。
 ○印鑑はシャチハタ以外のものを使用する
 ○氏名は戸籍に記載されている字体で記入しなければならない
 「学力に関する証明書」（一部200円）を教務課に申請する。…「授与願」提出時

- (3) 免許状授与……卒業式当日

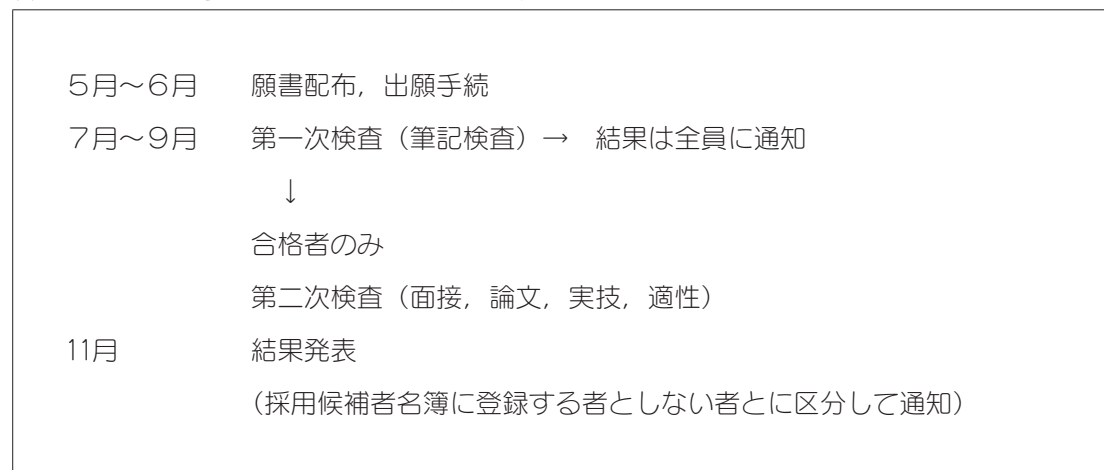
なお、詳細は11月下旬のガイダンス等で申請に必要な書類を配付し説明をする。

5. 教員採用候補者選考検査について

- (1) 公立高等学校の教員を希望する学生は、各都道府県または市の教育委員会が実施する「教員採用候補者選考検査」を受検しなければならない。

筆記検査、面接検査等に合格すると「採用候補者名簿」に登録され、この名簿に登録された者を対象として健康検査等が行われたうえ、公立高等学校の教員として採用される。

- (2) 願書配布から候補者名簿登録までの流れ



- (3) 私立高等学校教員の採用について

私立学校では、それぞれ独自の方法により、募集・採用を実施しているため一概には述べられないが、その採用方法は概ね次のように分けられる。

- 求人票・新聞広告などによる公募
- 当該学校の卒業生から志願者を募り選考
- 知人などの推薦・紹介
- 各都道府県の私学協会に履歴書等を委託し、私立学校に送付してもらう。
詳細は、各都道府県の私学協会に直接問い合わせること（連絡先については教務課まで）

学 科

学籍番号

氏 名

北海道情報大学

- 経営情報学部 先端経営学科
システム情報学科
- 医療情報学部 医療情報学科
診療情報管理専攻
臨床工学専攻
- 情報メディア学部 情報メディア学科
メディアデザイン専攻
メディアテクノロジー専攻

Hokkaido Information University

- Faculty of Business Administration and Information Science
Department of Business and Information Systems
Department of Systems and Informatics
- Faculty of Medical Informatics
Department of Medical Management and Informatics
Health Information Management
Clinical Engineering
- Faculty of Information Media
Department of Information Media
Media Design
Media Technology